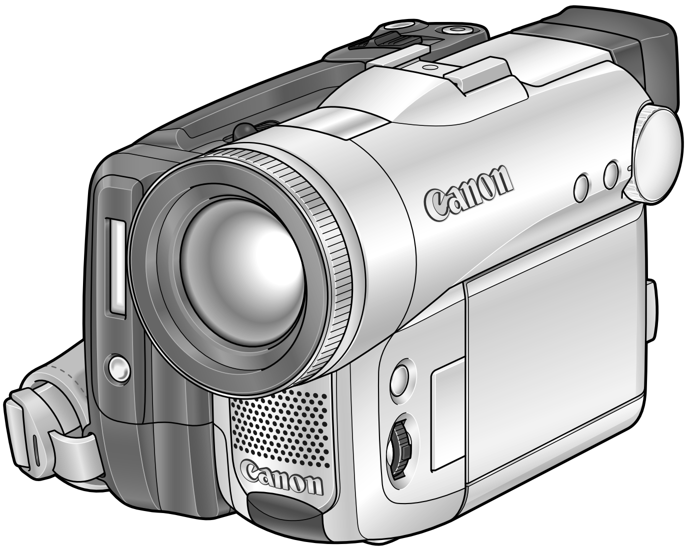
PUB. DIJ-197

Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

FV M30

使用説明書



以下の説明書もあわせてご覧ください。

・Digital Video Software 使用説明書



Mini DV Digital Video Cassette

BUBBLE JET DIRECT

DIRECT PRINT

PictBridge

CANON iMAGE GATEWAY

本書の使いかた

このたびは、キヤノンFV M30をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

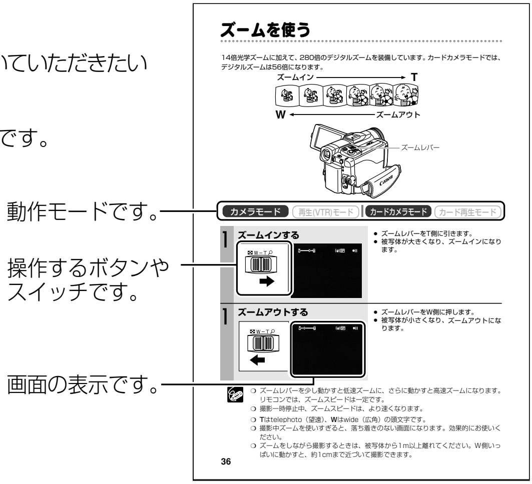
本書の記載について

：操作するうえで、守っていただきたいことです。

：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（📖 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。

：表示の点滅を示しています。



・文中の「画面」は、液晶画面またはファインダーの画面を表しています。
・文中の「カード」は、マルチメディアカードまたはSDメモリーカードを表しています。
・作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。

動作モードについて

動作モードは、電源スイッチとテープ/カード切換スイッチの位置で切り換えます。

動作モード	電源スイッチ	テープ/カード切換スイッチ	参照ページ
カメラモード	カメラ		30
再生(VTR)モード	再生（VTR）		39
カードカメラモード	カメラ		33
カード再生モード	再生（VTR）		41

・動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。
カメラモード ：使用できます。　カメラモード ：使用できません。

もくじ

はじめに

準備しよう

かんたん！

使いこなす

編集する

印刷する

パソコンに接続する

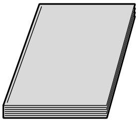
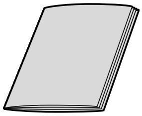
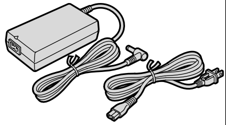
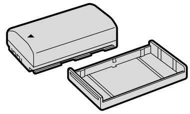
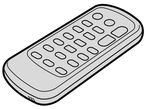
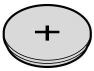
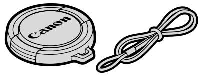
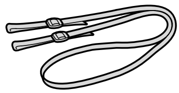
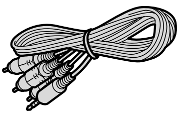
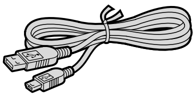
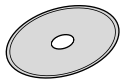
困ったときに

守ってほしいこと

お知らせ

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

FV M30 使用説明書 	Digital Video Software 使用説明書 	コンパクトパワー アダプター CA-570 電源コード 	バッテリーパック NB-2LH 
リモコン (ワイヤレスコントローラー) WL-D85 	コイン型リチウム電池 CR2025 （リモコン用） 	レンズキャップ/ レンズキャップ用ひも 	ショルダーストラップ SS-900 
ステレオビデオ ケーブル STV-250N 	USBケーブル IFC-300PCU 	マルチメディアカード MMC-16M 	ソフトウェアCD-ROM DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK 

必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラやテープ、カードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

長時間録画モードについて
長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

液晶画面やファインダーについて
液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

商標について
- "Mini DV" ロゴは商標です。
- "SD" ロゴは商標です。
- Macintosh, Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- HDVは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について：

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　火災　感電　破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。 煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですからおやめください。	プラグをコンセントから抜く
本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	プラグをコンセントから抜く
本機器内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。 特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	プラグをコンセントから抜く
風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。 水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。	風呂場、シャワー室での使用禁止
バッテリーパック内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。 そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。	水濡れ禁止
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。 感電の原因となります。	接触禁止

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。 火災、感電の原因となります。	強制
海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。 根元まで入れない場合、感電の原因となります。	強制
電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。	強制
電源コードを傷つけないでください。 **・加工したり、傷つけたりしないでください。** **・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。** **・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。** 電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	禁止
本機器の外装をはずさないでください。 内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	分解禁止
本機器を分解、改造しないでください。 発熱、火災、感電、けがの原因となります。	分解禁止
強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。 破損により、火災、やけど、けがの原因となります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となります。	禁止

⚠警告　火災　感電　破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
指定された充電器を使用してください。 DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や、変形して、火災、感電の原因となります。	強制
バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。 それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。	強制
バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。 バッテリーパックなどの「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。 持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください。	禁止
本機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパック、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで加熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。 バッテリーパックの破裂により、やけど、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。 皮膚の障害、失明、発火の原因となります。	禁止
バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。	禁止
コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。 万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。	強制
お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。 感電、けがの原因となります。	強制

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。 感電、けがの原因となります。	強制
自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。 交通事故の原因となります。	禁止
撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。 けがや交通事故の原因となります。	強制
本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	禁止
ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	禁止
本機器を、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。 外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。	禁止
直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所で使用や放置しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。	禁止
コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。 長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。	強制

⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。 内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。	禁止
指定されたバッテリーパックを使用してください。 それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。	強制
濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	強制
使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグをコンセントから抜く
テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。 テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。	強制
コード類は正しく配置してください。 電源コード、AVケーブルなどに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりして、けがの原因となることがあります。	強制
バッテリーパック、ショルダーストラップ、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。 緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。	強制
湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	禁止

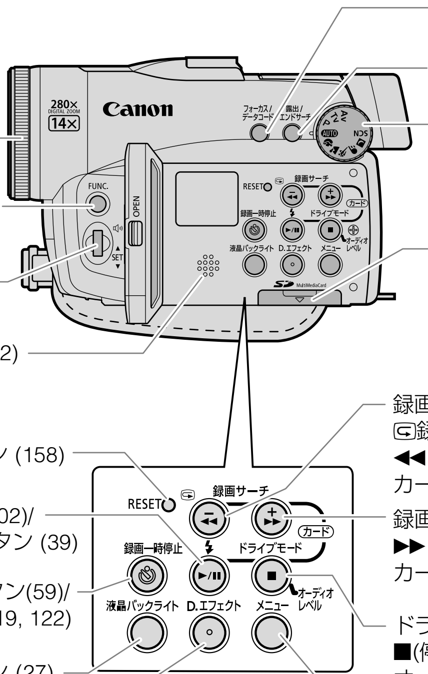
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。	指をはさまれないよう注意
飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。 機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。	強制
コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。 発熱により、やけどの原因となることがあります。	強制
フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。 目の近くでフラッシュを発光すると、視力障害を起こす恐れがあります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。	禁止
車の運転者などに向けて、フラッシュを発光したり、ミニビデオライトを点灯させたりしないでください。 事故の原因となります。	禁止
フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。 やけどの恐れがあります。	禁止

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

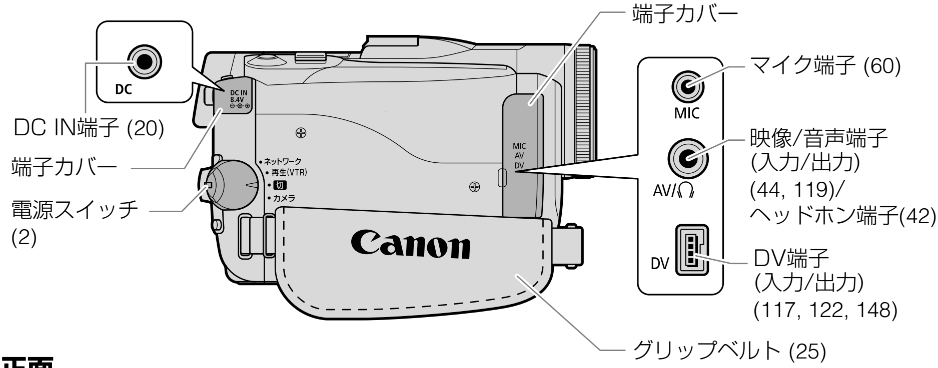
各部のなまえ

（　）内の数字は参照ページです。

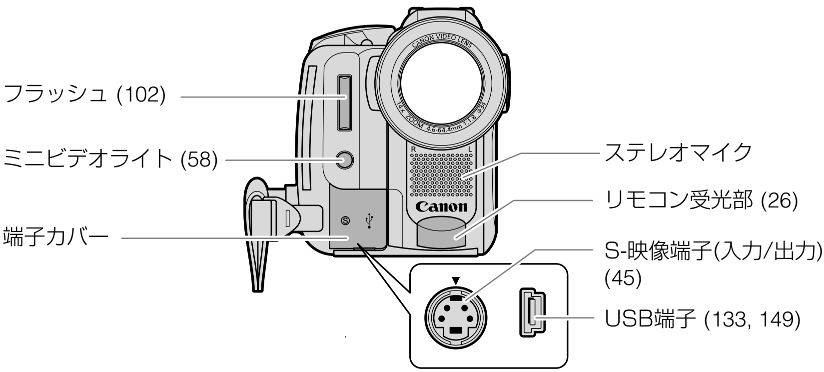
左面



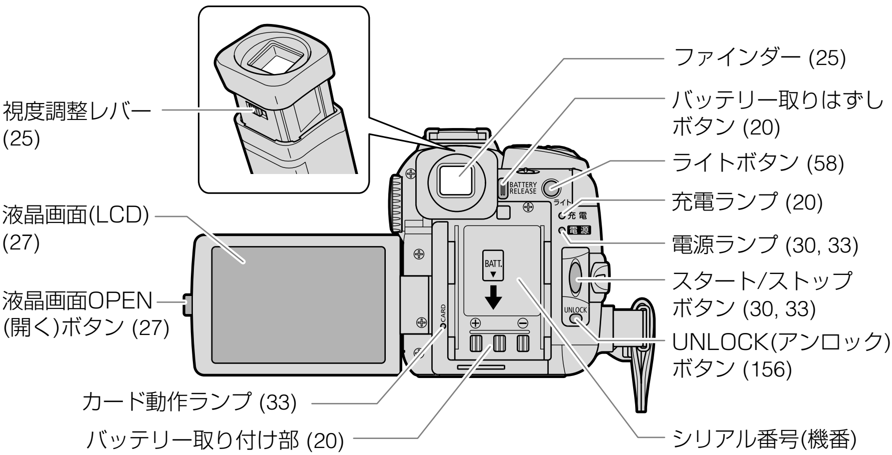
右面


DC
DC IN端子 (20)
端子カバー
電源スイッチ
(2)
端子カバー
マイク端子 (60)
MIC
映像/音声端子
(入力/出力)
(44, 119)/
ヘッドホン端子(42)
AV/
DV
DV端子
(入力/出力)
(117, 122, 148)
Canon
グリップベルト (25)

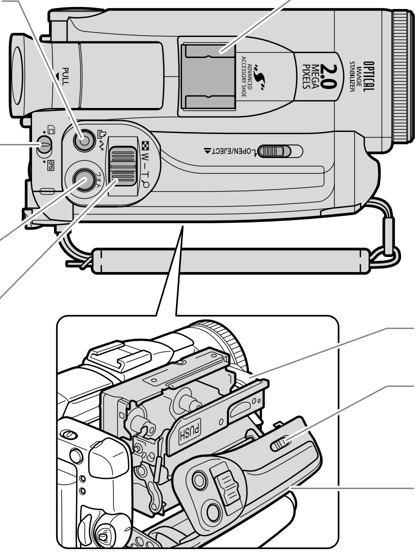
正面


フラッシュ (102)
ミニビデオライト (58)
端子カバー
ステレオマイク
リモコン受光部 (26)
S-映像端子(入力/出力)
(45)
USB端子 (133, 149)
Canon

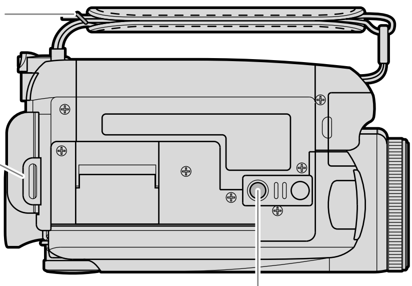
後面


視度調整レバー
(25)
液晶画面(LCD)
(27)
液晶画面OPEN
(開く)ボタン (27)
カード動作ランプ (33)
バッテリー取り付け部 (20)
ファインダー (25)
バッテリー取りはずし
ボタン (20)
ライトボタン (58)
充電ランプ (20)
電源ランプ (30, 33)
スタート/ストップ
ボタン (30, 33)
UNLOCK(アンロック)
ボタン (156)
シリアル番号(機番)
BATTERY
RELEASE
BATT.
UNLOCK
CARD

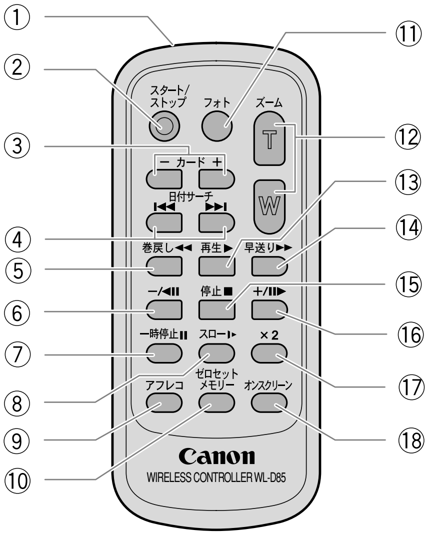
上面


(イージーダイレクト)ボタン (134, 151)
テープ/カード切換スイッチ (2)
フォトボタン (33)
ズームレバー (36)
アドバンストアクセサリーシュー (60)
カセット入れ (23)
OPEN/EJECT ⏏ (開く/カセット取り出し) スイッチ (23)
グリップカバー (23)
PULL
2.0 MEGA PIXELS
OPTICAL IMAGE STABILIZER
ADVANCED ACCESSORY SHOE
OPEN/EJECT
W T
PUSH

底面


ストラップ取り付け部 (25)
三脚ねじ穴 (38)

リモコン WL-D85（□ 26）

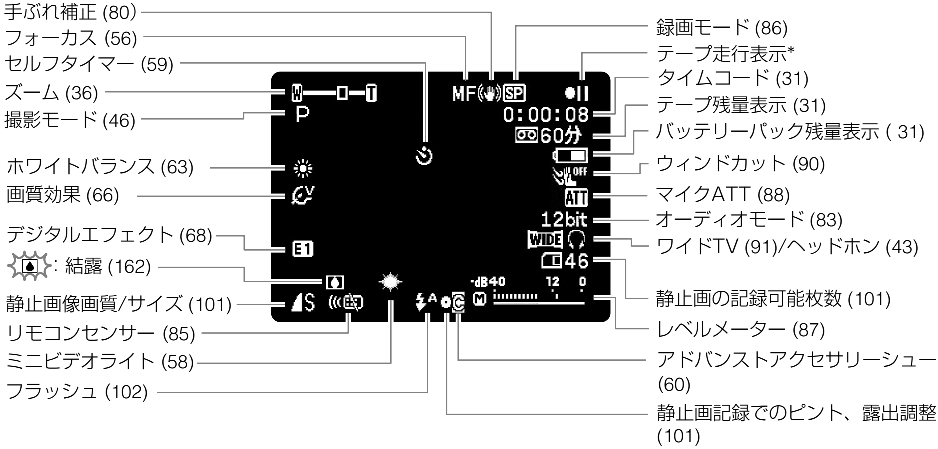


① 送信部 (26)	⑩ ゼロセットメモリーボタン (97)
② スタート/ストップボタン (30, 33)	⑪ フォトボタン (33)
③ カード＋／カード－ボタン (41)	⑫ ズームボタン (36)
④ 日付サーチボタン (98)	⑬ 再生ボタン (39)
⑤ 巻戻しボタン (39)	⑭ 早送りボタン (40)
⑥ 逆方向コマ送り/逆方向再生ボタン (40)	⑮ 停止ボタン (39)
⑦ 一時停止ボタン (40)	⑯ 正方向コマ送り/正方向再生ボタン (40)
⑧ スローボタン (40)	⑰ ×2ボタン (40)
⑨ アフレコボタン (129)	⑱ オンスクリーン (画面表示)ボタン (84)

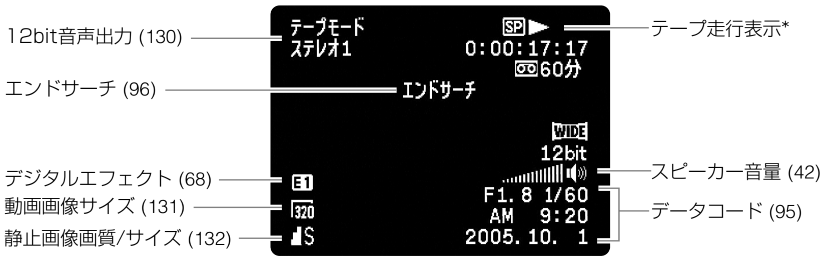
画面の表示

(　)内の数字は参照ページです。

カメラモード



再生（VTR）モード



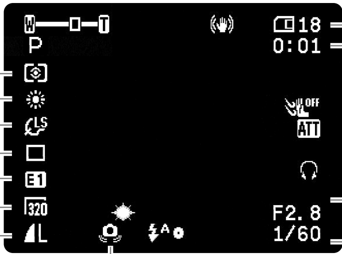
＊テープ走行表示

- ● ：録画
- ●II：一時停止
- ■ ：停止
- ▲ ：取出し
- ▶ ：再生
- ▶▶：早送り
- ◀◀：巻戻し

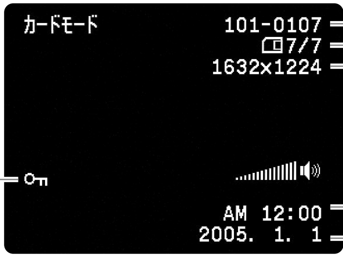
- ▶▶／◀◀ ：早送り再生／巻戻し再生 (40)
- ×2▶／◀×2：2倍速再生 (40)
- ×1▶／◀×1：1倍速再生 (40)
- I▶／◀I ：スロー再生 (40)
- II▶／◀II ：コマ送り再生 (40)
- ▶II／II◀ ：再生一時停止 (40)

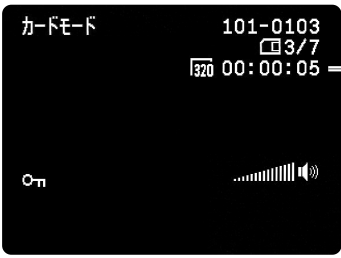
- ▶▶I／I◀◀ ：日付サーチ (98)
- ▶▶／◀◀ ：ゼロセットメモリー早送り／巻戻し (97)
- ●／●II ：アフレコ音声記録／記録一時停止 (128)

カードカメラモード



カード再生モード

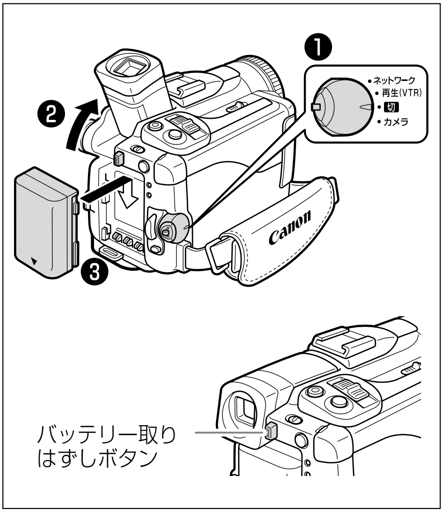




ステップ1　電源を準備する

本機は、バッテリーパック、または家庭用コンセントにつないで使用します。バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを取り付ける



❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ ファインダーを上げる

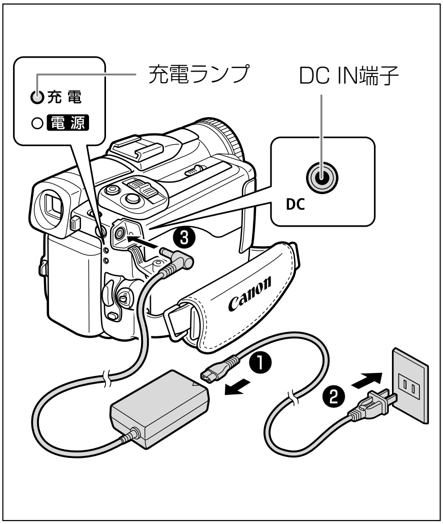
❸ バッテリーパックを押し付けながら、カチッとロックされるまで下にずらす

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（🕮 170）。

バッテリーパックを取りはずすときは

①ファインダーを上げる
②バッテリー取りはずしボタンを押しながら、バッテリーパックを上にずらす

バッテリーパックを充電する



❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

❸ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

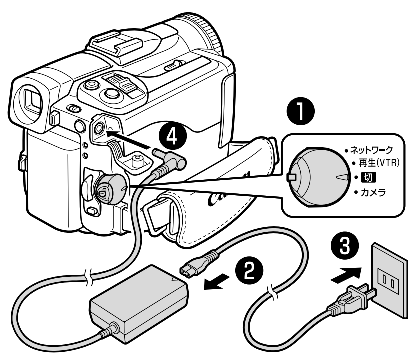
充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

コンパクトアダプターを抜くときは

①コンパクトパワーアダプターを本機から抜く
②電源プラグをコンセントから抜く
③電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。また、バッテリーパックは取り付けたまま使用しても、バッテリーパックは消耗しません。



❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

❹ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。

❍ DC IN端子には、指定された製品以外を絶対に接続しないでください。また、コンパクトパワーアダプターを指定された製品以外に接続しないでください。

❍ コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。

❍ バッテリーパックの充電中は、コンパクトパワーアダプターの電源コードを、コンセントから抜き差ししないでください。充電が停止したり、充電ランプが点灯してもバッテリーパックが正しく充電されていないことがあります。このような場合は、バッテリーパックを一度取りはずしてから、取り付けてください。また、充電中に停電が起きた場合も、同様の手順で充電し直してください。

次のページへ

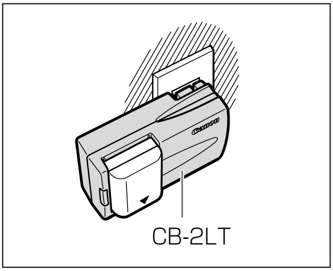
- コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になり、充電を中止します。
- ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
  0〜50%　：約1秒間隔で1回ずつ点滅
  50%以上：約1秒間隔で2回ずつ点滅
  100%　　：点灯
- バッテリーパックの充電時間とフル充電したときの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック		NB-2LH	NB-2L（別売）	BP-2L12（別売）	BP-2L14（別売）
本機での充電時間		約140分	約125分	約220分	約260分
連続撮影時間					
ファインダー使用時		約85分	約70分	約145分	約185分
液晶画面使用時	標準	約80分	約65分	約140分	約175分
	明るい	約75分	約60分	約130分	約165分
実撮影時間*					
ファインダー使用時		約45分	約35分	約80分	約100分
液晶画面使用時	標準	約45分	約35分	約80分	約100分
	明るい	約40分	約35分	約75分	約95分
再生時間		約115分	約90分	約200分	約245分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。

- 10℃〜30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電ランプが早い連続した点滅になり、充電を中止します。
- 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
- 別売のバッテリーチャージャーCB-2LTを使って充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。充電時間は、次のとおりです。

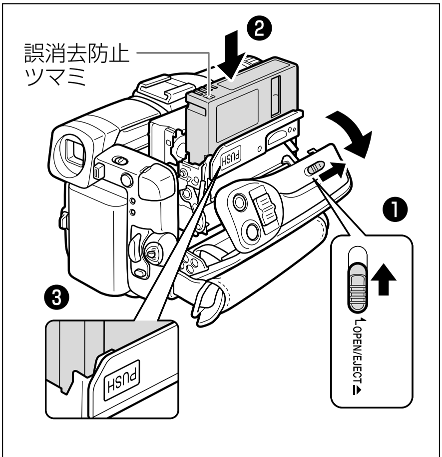
バッテリーパック	充電時間
NB-2LH	約90分
NB-2L（別売）	約80分
BP-2L12（別売）	約150分
BP-2L14（別売）	約170分



- **バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。**
  ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。

ステップ2　カセットを入れる

ビデオカセットは、Mini DVマークの付いたものをお使いください。



❶ OPEN/EJECT▲スイッチを押し、グリップカバーを止まるまで開く

カセット入れが自動的に開きます。

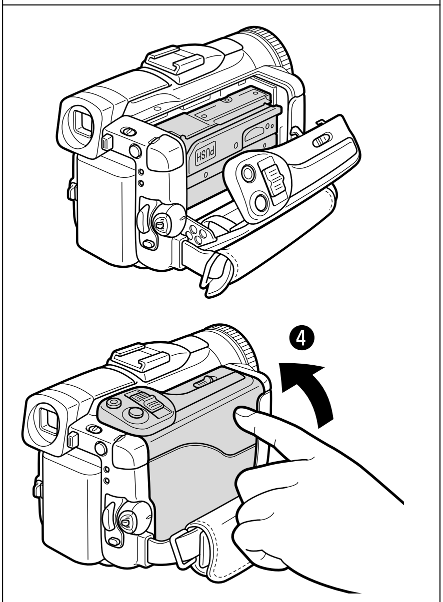
❷ カセットを入れる

- カセットの透明な窓をグリップ側に向け、誤消去防止ツマミを手前にして入れます。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐ引き抜きます。

❸ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める

カセット入れが自動的に収納されます。

❹ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを閉める



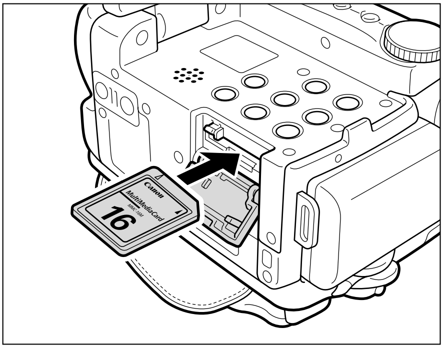
- ❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
- ❍ グリップカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

ステップ3　カードを入れる

本機は、マルチメディアカードとSDメモリーカード（ ）専用です。

カードの入れかた



❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ カバーを開ける

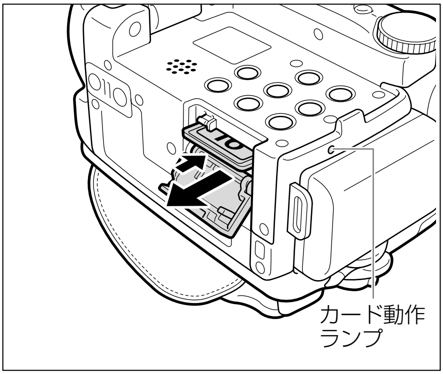
❸ カードをまっすぐ、奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じる

カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

カードの出しかた

カードを抜くときは、無理に出さないで、必ず❸の操作を行ってください。



❶ 電源スイッチを「切」にする

カード動作ランプが消えていることを確認してください。

❷ カバーを開ける

❸ カードの端を押す

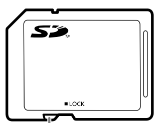
カードが出てきます。

❹ カードを抜く

❺ カバーを閉じる

- 付属のカード以外のカードを使用するときは、本機でフォーマットしてください（📖 116）。
- カードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。

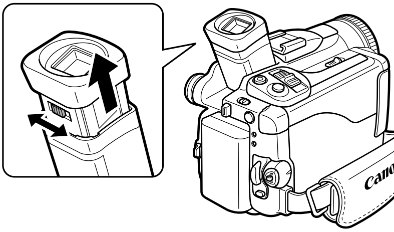
- SD（Secure Digital＝著作権保護システム）メモリーカードには、誤消去防止ツマミが付いています。
- すべてのカードの動作を保証するものではありません。



誤消去防止ツマミ

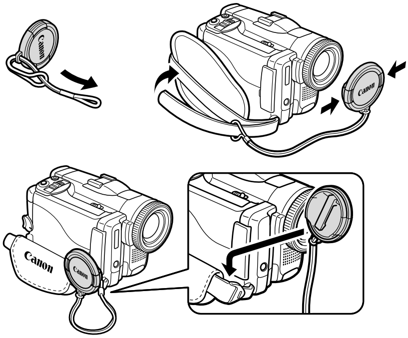
ステップ4　カメラの準備

ファインダーを調整する（視度調整）



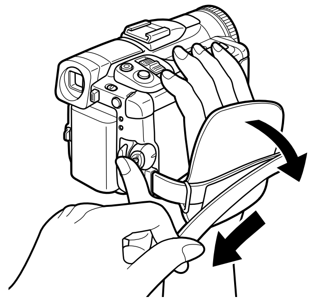
電源を入れ、ファインダーを止まるところまでまっすぐ引き出します。ファインダー内の表示がはっきり見えるように、視度調整レバーを動かして調整します。
ファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
ファインダーを収納するときは、押し込んでください。

レンズキャップを取り付ける



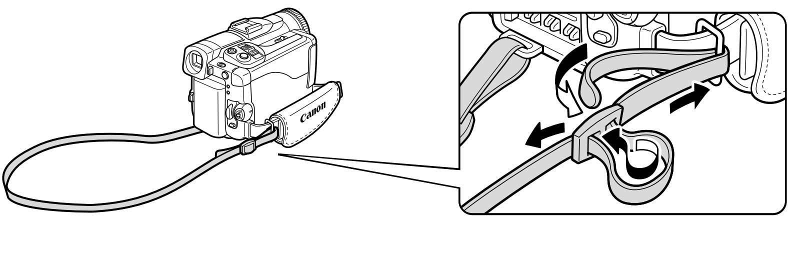
付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。
レンズキャップを取り付けたり、取りはずすときは、キャップのボタンを押します。
撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに引っ掛けておくと便利です。

グリップベルトを調整する



右手で本体を持ちながら、親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

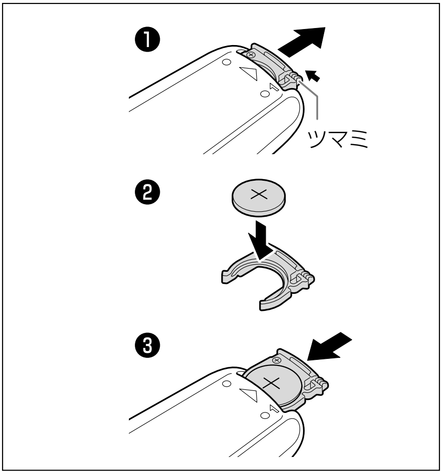
ショルダーストラップを取り付ける



ステップ5　リモコンを使う

電池の入れかた

リモコンは、コイン型リチウム電池CR2025で動作します。

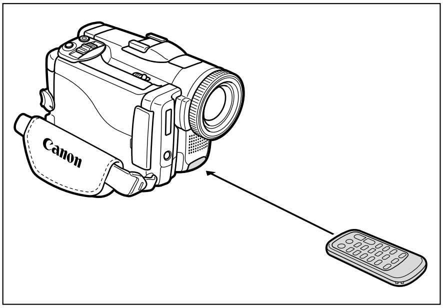


❶ **ツマミを矢印の方向に押しながら、電池入れを引き抜く**

❷ **電池を入れる**
電池の＋側を上にして、電池入れに入れます。

❸ **電池入れを取り付ける**

操作のしかた

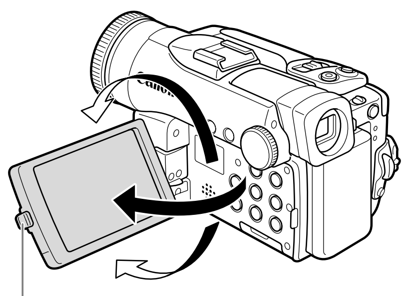


リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

- ❍ リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- ❍ リモコンで操作できないときは、メニューの「システム設定」で「リモコンセンサー」が「入」になっていることを確認してください（🕮 85）。
- ❍ リモコンのボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。

ステップ6　液晶画面を調整する（液晶バックライト、対面撮影）

液晶画面の角度を変える

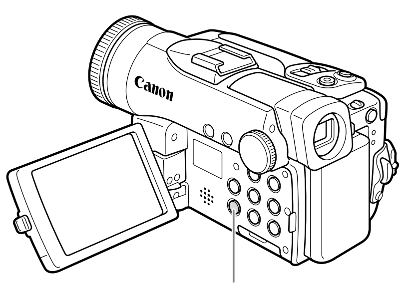


OPENボタンを押して、液晶画面を90゜まで開く

- ファインダー側に90゜まで回転できます。
- レンズ側に180゜まで回転できます（対面撮影）。

液晶画面全体を明るくする（液晶バックライト）

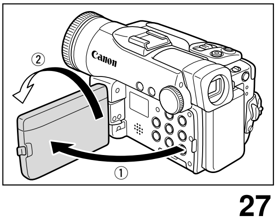
液晶画面の明るさを、「標準」と「明るい」に切り換えられます。屋外での撮影などに便利です。



液晶バックライトボタンを押す

ボタンを押すたびに、明るさが切り換わります。

- ❍ テープやカードに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさも変わりません。
- ❍ バッテリーパック使用時には、電源スイッチを切り換えても、液晶画面の明るさの設定は憶えています。
- ❍ 液晶画面を明るくしていると、バッテリーパックの使用時間が短くなります。
- ❍ 対面撮影では液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（□ 59）などで、ビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。

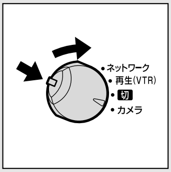


ステップ7　日時を設定する

日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定します。

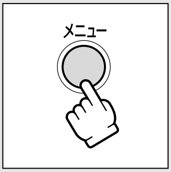
世界時計のエリアを選ぶ

1 電源を入れる



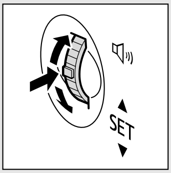
- 電源スイッチを、緑のボタンを押しながら、「カメラ」または「再生（VTR)」にします。

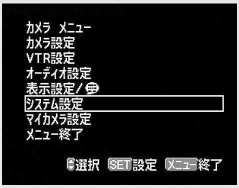
2 メニューボタンを押す



- メニューが出ます。

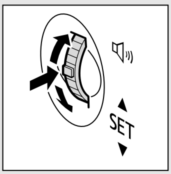
3 「システム設定」を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせる
②SETボタンをまっすぐ押す
- 「システム設定」サブメニューが出ます。

4 「エリア／サマータイム」を選ぶ



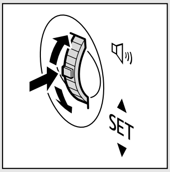


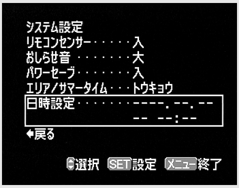
①SETボタンを上／下に押して、選択枠を「エリア／サマータイム」に合わせる
②SETボタンをまっすぐ押す
- 「エリア／サマータイム」だけの表示になります。
- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

③SETボタンをまっすぐ押す
- 「システム設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

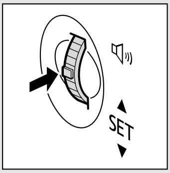
5 「日時設定」を選ぶ



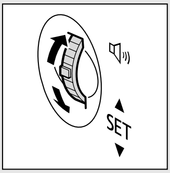


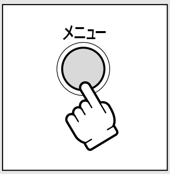
①SETボタンを上／下に押して、選択枠を「日時設定」に合わせる
②SETボタンをまっすぐ押す
- 「日時設定」だけの表示になります。

6 日付と時刻を設定する









例：2005年10月1日午前9時20分に設定する

①SETボタンをまっすぐ押して、項目を選ぶ
- 選んだ項目が点滅します。
- 押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。

②SETボタンを上／下に押して、数字を選ぶ

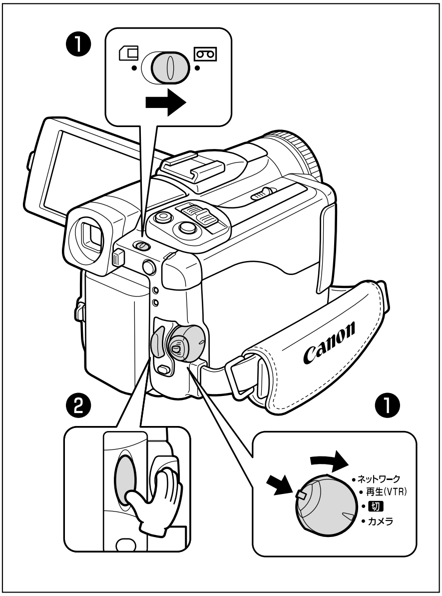
①と②の操作をくり返して設定します。

③時報に合わせて、メニューボタンを押す
- 内蔵時計が動き始めます。

本機を3ヶ月近く使わないでおくと、内蔵の充電式リチウム電池が放電して、日付／時刻の設定が解除されることがあります。その場合、内蔵のリチウム電池を充電してから設定し直してください（□ 172）。

テープに動画を撮る

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。



❶ カメラモードにする

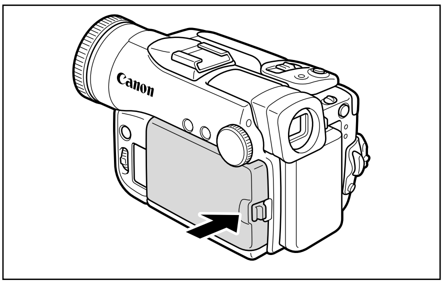
1．電源スイッチを「カメラ」にする
2．テープ/カード切換スイッチを「 」にする

● 電源スイッチは、緑色のボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。
● 電源ランプが点灯します。

❷ スタート/ストップボタンを押す

● 撮影（録画）が始まります。
● スタート/ストップボタンをもう一度押すと、撮影一時停止になります。

撮影が終わったら



❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ 液晶画面を垂直にしてから閉じる

カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

❸ レンズキャップを付ける

❹ カセットを取り出す

❺ バッテリーパックを取りはずす

❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。
❍ 屋外など周囲が明るい場所で撮影するときに液晶画面が見にくい場合は、ファインダーで見ながら撮影してください。

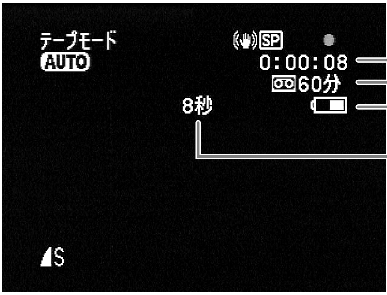
❍ 大きな音の近く（打上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは故障ではありません。録音レベルは手動でも調整できます（🕮 87）。

❍ **テープとヘッドの保護のため、撮影一時停止が約4分30秒続くと、停止状態になります。**

❍ **停止中、撮影を始めるときはスタート/ストップボタンを、撮影一時停止にするときは ⏲（セルフタイマー）ボタンを押してください。**

❍ **バッテリーパックを使用時は、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます（🕮 85）。電源が切れる約30秒前に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。電源が切れた場合は、電源を入れ直してください。**

テープ撮影中の画面の表示



①タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。

・本機はドロップフレーム方式を採用しています。ドロップフレーム方式では、30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC映像信号との間に生じるズレを自動的に補正し、より高精度の編集が可能です。

②テープの残量表示と「📼 END」の点灯

テープの残量時間を「分」で表示します。

撮影中は「📼」が動きます。

撮影中にテープがなくなると「📼 **END**」が点灯し、停止します。

・撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。

・テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。



・バッテリーパックが消耗すると「🔋」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。

・消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「🔋」が出ずに切れたりすることがあります。

・残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④お知らせタイマー

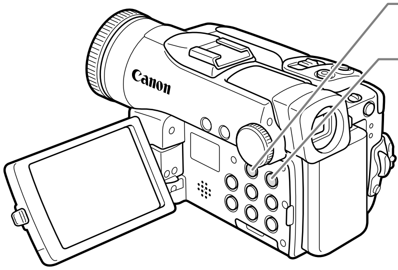
撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。

・1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影すると便利です。

次のページへ

テープに撮影した画像を確認する（録画チェック／録画サーチ）

最後に撮影した場面を確認できます（録画チェック）。また、撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます（録画サーチ）。

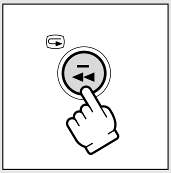


カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

録画チェック

1 撮影一時停止中

録画チェックボタンをポンと押す

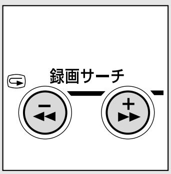


- 撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

録画サーチ

1 撮影一時停止中

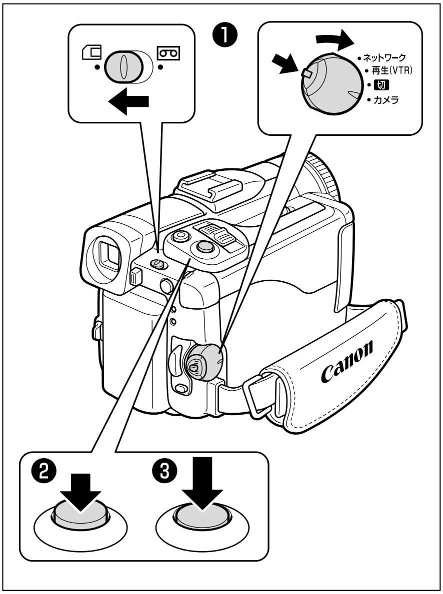
録画サーチ＋／－ボタンを押し続ける



- 押し続けている間、再生されます。ボタンを離すと、その場面で撮影一時停止になります。

カードに画像を記録する

静止画を記録する



❶ カードカメラモードにする

1. 電源スイッチを「カメラ」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「□」にする

- 電源スイッチは、緑色のボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。
- 電源ランプが点灯します。

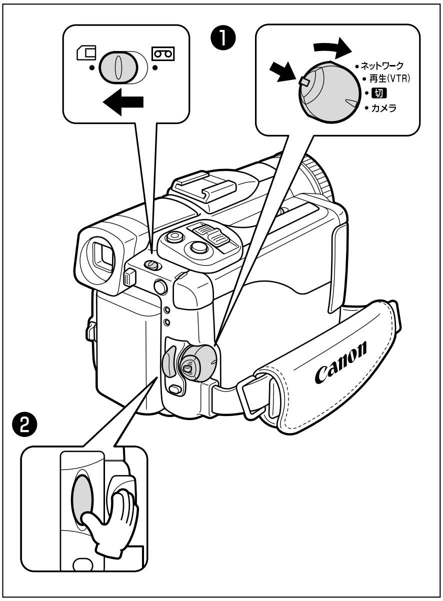
❷ フォトボタンを浅く押し続ける

- ピント調整が終わると、◎が緑色になり、緑色のAF枠が出ます。おしらせ音が鳴ります。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

❸ フォトボタンを深く押す

- ◎マークとAF枠が消えます。
- シャッター音と同時に、シャッターを切るように画面が一度途切れます。
- カード動作ランプが点滅します。

動画を記録する



❶ カードカメラモードにする

1. 電源スイッチを「カメラ」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「□」にする

- 電源スイッチは、緑色のボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。
- 電源ランプが点灯します。

❷ スタート/ストップボタンを押す

- カード動作ランプが点滅します。
- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、撮影は停止します。

次のページへ

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止ツマミがついています。SDメモリーカードが記録できる状態になっていることを確認してください。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。
❍ カードへの記録中は、カセットを出し入れしないでください。

❍ **AF枠について**
AFとは、Auto Focus（オートフォーカス）の略で、自動でピントを合わせることをいいます。本機では、被写体に応じて、9つのAF枠の中から、カメラが自動的にAF枠を選んでピントを合わせます。ピントを合わせたい被写体が中央になくても、ピントを合わせることができます（105）。
❍ 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、●が黄色くなります。フォトボタンを浅く押したまま、フォーカスリングを回してピントを合わせることをおすすめします。
❍ カードの画像枚数（Windows：1800枚以上、Macintosh：1000枚以上）により、パソコンに画像を取り込めないことがあります。その場合は、PCカードリーダーをお使いください。
❍ カードに1800枚以上の画像があるときは、PictBridge対応プリンターに接続できません。快適に操作するために、100枚以下にしてください。
❍ カードに静止画を記録するとき、❷の操作で、より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
❍ 被写体が明るすぎて露出オーバー（露出過多）になると、「露出オーバー」の表示が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-34UのNDフィルターを取り付けてください。
❍ カードに記録される動画の音声は、モノラルになります。
❍ SDメモリーカードに動画を記録するときは、キヤノン製または転送速度2MB/秒以上のSDメモリーカードを、本機でフォーマット直後にご使用になることをおすすめします。画像の書き込み速度が遅かったり、本機以外でフォーマットしたり、画像の記録／消去を何度もくり返しているカードの場合は、カードへの記録が中断されることがあります。
❍ カードへの動画の記録時間は、画像サイズや被写体によって異なります。
❍ Windows XPをお使いの場合、ビデオカメラをUSBケーブルを使ってパソコンに接続するときは、カードに記録する動画の連続撮影時間を320×240では約12分、160×120では約35分までにしてください。
❍ 本機をバッテリーパックで使用しているとき、撮影待機中には、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます（電源が切れる約30秒前に、画面中央に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます）。撮影を続けるときは、電源を入れ直してください。

静止画記録中の画面の表示



① 画質／画像サイズ表示

静止画の画質／画像サイズを表示します。

② カード静止画の記録可能枚数表示

記録可能枚数6枚以上： 6 緑色表示
記録可能枚数1〜5枚： 5 黄色表示*
記録可能枚数0枚： 0 赤色表示*

＊カード再生時はすべて緑色表示になります。

・記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

書き込み表示

静止画をカードに書き込んでいるときに、「▶」が出ます。

動画記録中の画面の表示



① 画像サイズ表示

動画の画像サイズを表示します。

② 書き込み表示

動画をカードに書き込んでいるときに、「▶」が出ます。

③ カード動画の記録可能時間表示

動画の記録可能な時間を「時：分」で表示します。
記録可能な時間が１分以下になると10秒単位で減ります。10秒以下では、１秒単位で減ります。

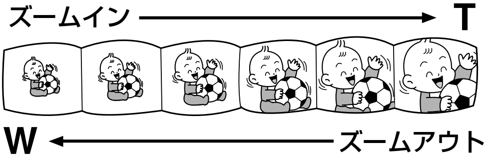
・記録可能時間表示は、記録時の状況により一定ではありません。記録時間が、実際の時間より長くなったり、短くなったりすることがあります。

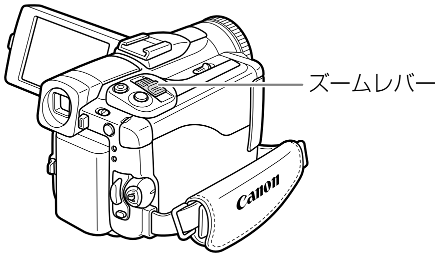
④ カード動画の記録時間表示

動画の記録時間を表示します。

ズームを使う

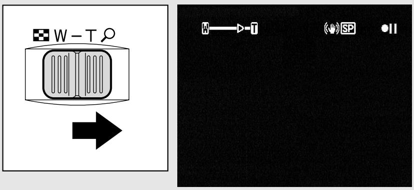
14倍光学ズームに加えて、280倍のデジタルズームを装備しています。カードカメラモードでは、デジタルズームは56倍になります。





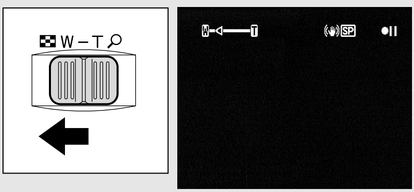
カメラモード 再生(VTR)モード **カードカメラモード** カード再生モード

1 ズームインする



- ズームレバーをT側に引きます。
- 被写体が大きくなり、ズームインになります。

1 ズームアウトする



- ズームレバーをW側に押します。
- 被写体が小さくなり、ズームアウトになります。

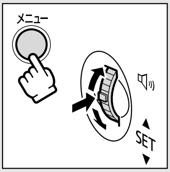
❍ ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。リモコンでは、ズームスピードは一定です。
❍ 撮影一時停止中、ズームスピードは、より速くなります。
❍ **T**はtelephoto（テレフォト）（望遠）、**W**はwide（ワイド）（広角）の頭文字です。
❍ 撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。
❍ ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいに動かすと、約1cmまで近づいて撮影できます。

デジタルズームを使う

デジタルズームを設定したときに、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタル領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画像が粗くなります。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1





①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カメラ設定」➤「デジタルズーム」➤ 設定内容を順に選ぶ
③メニューボタンを押す

❍ ズームレバーを操作すると、約4秒間、ズーム表示が出ます。デジタルズーム領域は、56倍までは水色、56倍から280倍までは青色で表示されます。
❍ 次の機能が設定されているときは、使用できません。
・ナイトモード
・マルチ画面
・スティッチアシスト撮影

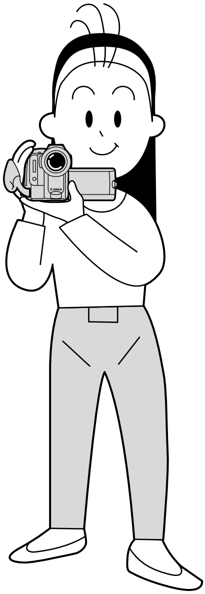
よりよい撮影のために

ビデオカメラ本体の持ちかた

ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

一番安定した構えかた

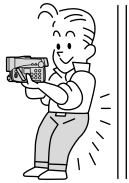
・ 右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
・ 左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。



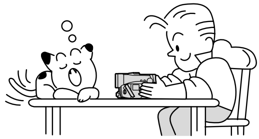
状況に合わせて構えかたを変えましょう。

液晶画面の角度を、姿勢に合わせて調整します。

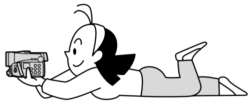
・ 壁に寄りかかる



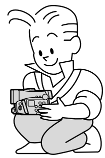
・ テーブルなどを利用して本体を置く



・ ひじをたてて地面に伏せる



・ 片膝立ちになる

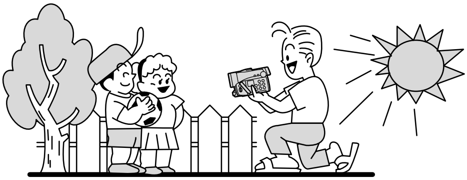


・ 三脚を使う



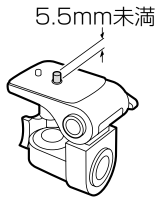
ライティング

屋外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。



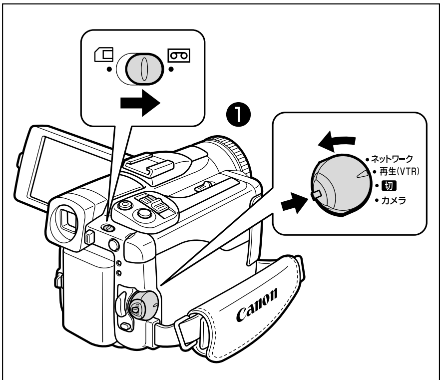
三脚を使うときは

・ 直射日光がファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ファインダーを太陽に向けないでください。
・ 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものを使用すると、本体を破損することがあります。

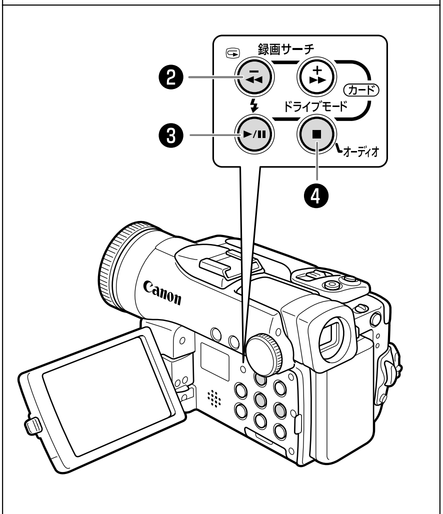


テープを再生する

再生画面がおかしいときは
ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。



❶ 再生（VTR）モードにする
1. 電源スイッチを「再生（VTR)」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「📼」にする
● 電源スイッチは、緑色のボタンを押しながら「再生（VTR)」に合わせます。
● 電源ランプが点灯します。



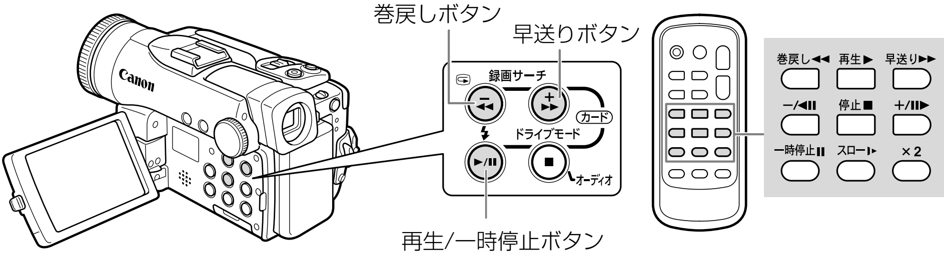
❷ ◀◀ボタンを押す
テープが巻戻ります。

❸ ▶/❚❚ボタンを押す
再生が始まります。

❹ ■ボタンを押す
再生が終わります。

○ 液晶画面を閉じると、ファインダーで再生画面を見ることができます。
○ **画面表示について**
再生時のタイムコードは、「時：分：秒：フレーム」で表示されます。また、テープ残量表示は、再生時間が15秒以下のとき、表示されないことがあります（📖31）。
○ 撮影したときの録音レベルを表示できます（📖87）。

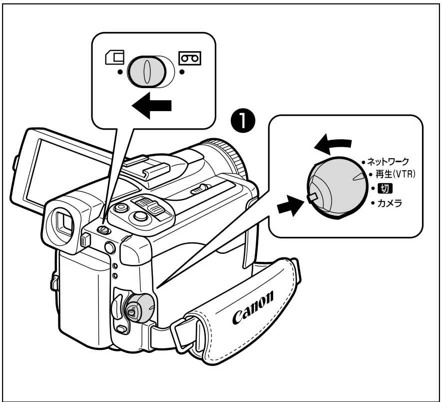
いろいろな再生



早送り再生 ▶▶	再生／早送り中に▶▶(早送り)ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中に◀◀(巻戻し)ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中に▶/II(一時停止)ボタンを押します。
逆方向再生 ◀×1	再生中にリモコンの−/◀IIボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
コマ送り再生 ◀II　II▶	再生一時停止中にリモコンの＋/II▶または−/◀IIボタンを押すと、押すたびに１コマずつ送られます。押し続けると連続コマ送りになります。
スロー再生 ◀I　I▶	再生／逆方向再生中にリモコンのスローI▶ボタンを押すと、通常の約1/3のスロー再生になります。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。
2倍速再生 ◀×2　2×▶	再生／逆方向再生中にリモコンの×2ボタンを押します。再生▶ボタンを押すと、ふつうの再生に戻ります。

- いろいろな再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
- 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
- 再生一時停止が約4分30秒以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。

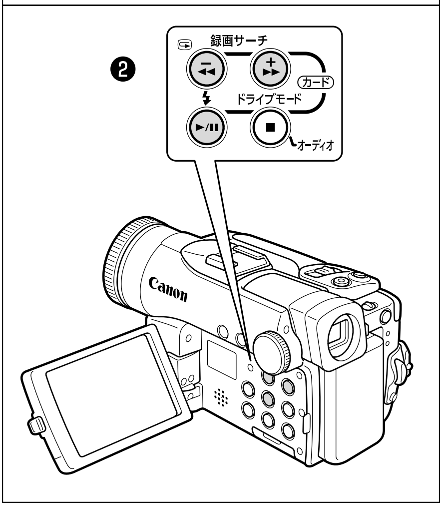
カードを再生する



➊ カード再生モードにする

1. 電源スイッチを「再生（VTR)」にする
2. テープ/カード切換スイッチを「□」にする

● 電源スイッチは、緑色のボタンを押しながら「再生（VTR)」に合わせます。



➋ カード＋／－ボタンを押す

動画の場合：▶/❚❚ボタンを押す

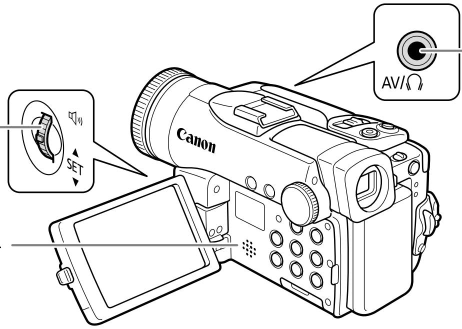
● 動画が再生され、再生が終わると最初の場面で静止画になって停止します。
● 再生中に▶/❚❚ボタンを押すと、その場面で再生一時停止になります。再生を再開するときは、もう一度▶/❚❚ボタンを押します。
再生中に■（停止）ボタンを押すと、その動画の最初の場面に戻ります。

❍ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだり、本機で記録した画像をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
❍ 本機以外のビデオカメラなどで記録した画像は、正しく再生されないことがあります。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶□）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破損する恐れがあります。
　・ カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
　・ 電源を切らない。電源スイッチやテープ/カード切換スイッチを切り換えない。
　・ バッテリーパックなどの電源を取りはずさない。

動画を再生中にカード＋／－ボタン（リモコンの早送り／巻戻しボタン）を押すと、押している間だけ8倍の早送り／巻戻しになります。

音量を調整する

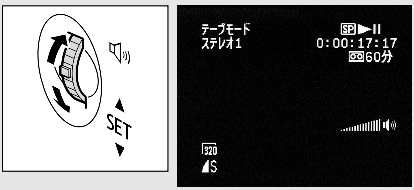
液晶画面で再生するときに、同時にスピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じるとスピーカーは切れます。ファインダーで見るときは、ヘッドホンを使って音声を聞きます。



スピーカーの音量を調整する

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | カード再生モード

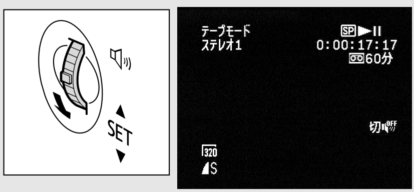
1 SETボタンを上／下に押す



- 音量表示が出ます。調整を終えると、約2秒後に表示は消えます。

音声の消しかた

1 SETボタンを下に押し続ける



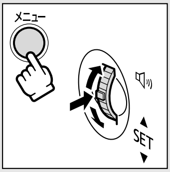
- 音量表示が消え、「切 OFF」が出ます。
- 再び音声を聞くときは、SETボタンを上に押します。

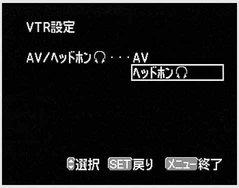
ヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホン端子は、映像/音声（AV）端子と共通です。ヘッドホンは、画面に「🎧」の表示が出ているときに使用できます。「🎧」が出ていない場合は、設定を変更します。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 **「AV/ヘッドホン🎧」の設定を「ヘッドホン🎧」にする**



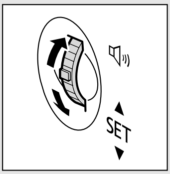


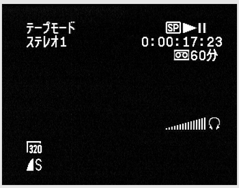
①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「VTR設定」➤「AV/ヘッドホン🎧」➤「ヘッドホン🎧」を順に選ぶ
③メニューボタンを押す
・「🎧」の表示が出ます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

2 再生中

SETボタンを上／下に押す





❍ 画面に「🎧」の表示が出ていないときは、ヘッドホンを接続しないでください。表示が出ていないときに、ヘッドホンを接続すると、雑音が出ます。
❍ ヘッドホンに設定しているときは、スピーカーから音声は出ません。

撮影時にも、ヘッドホンの音量を調整できます（📖 89）。

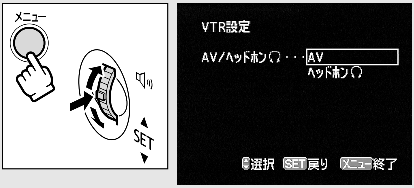
テレビで見る

映像/音声端子は、ヘッドホン端子と共通です。映像/音声端子を使うときに、画面に「🎧」の表示が出ている場合は、設定を変更します。

映像/音声端子を使う

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

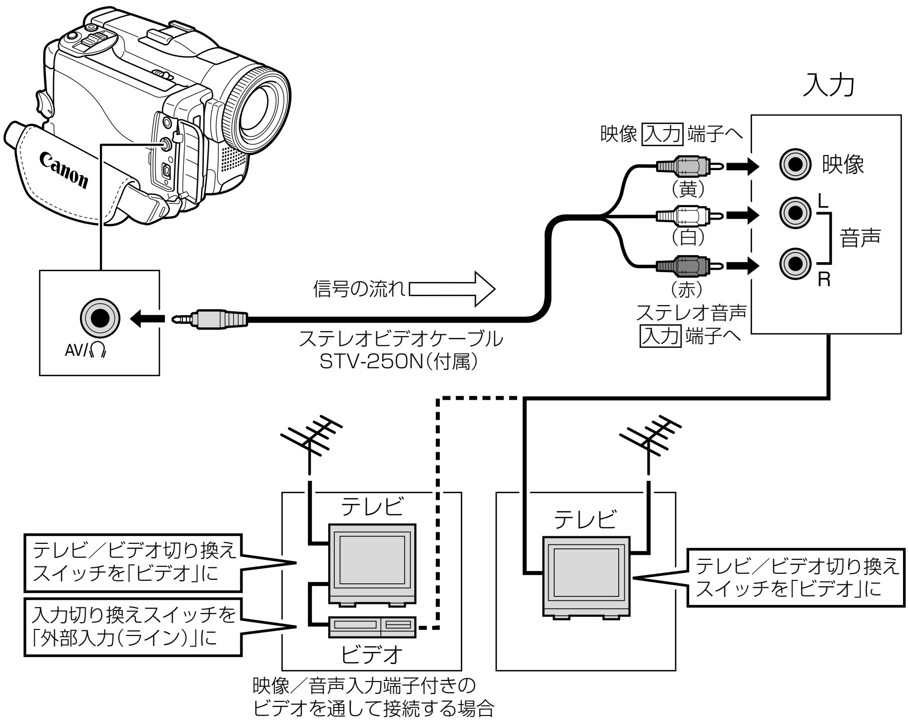
1



① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「VTR設定」➤「AV/ヘッドホン🎧」➤「AV」を順に選ぶ
③ メニューボタンを押す

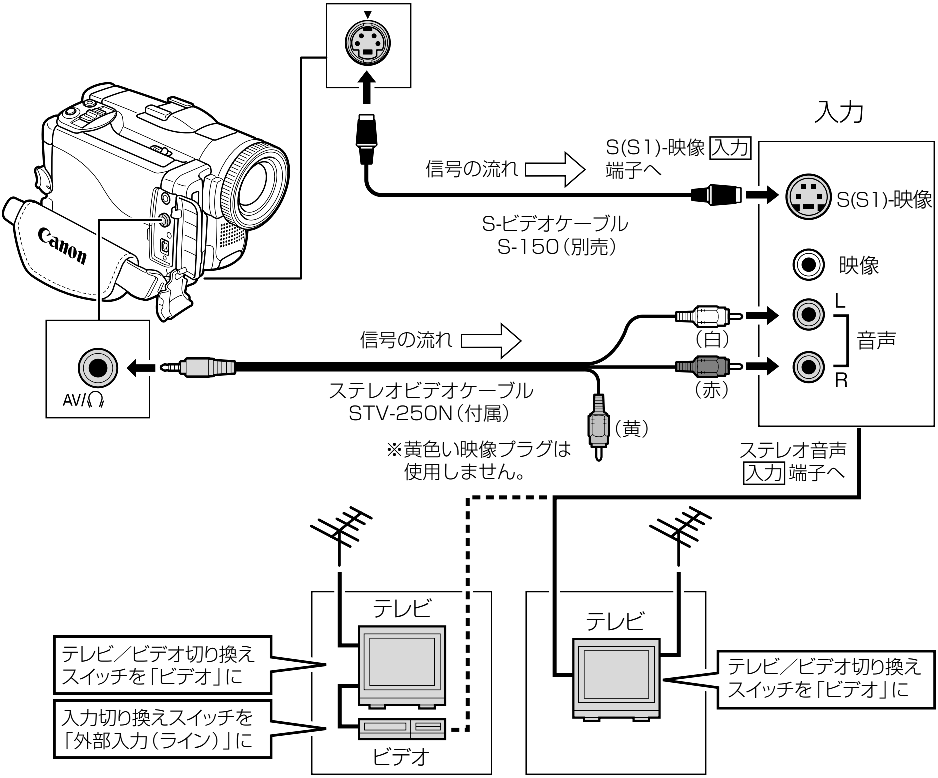
映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。



S(S1)-映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。



- 本機にコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
- 再生時には、S(S 1)-映像端子付きのテレビに接続してご覧になると、DV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。別売のS-ビデオケーブルが必要です。
- **S1-映像入力端子付きのテレビの場合**
  本機の「ワイドTV」機能（📖 91）で撮影した映像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。
- **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
  本機の「ワイドTV」機能（📖 91）で撮影した映像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選びます。

AUTO オート

すべてをカメラまかせ。スタート/ストップボタンを押すだけで、簡単に撮影できます。



クリエイティブゾーン

思いどおりのさまざまな撮影ができます。

P プログラムAE

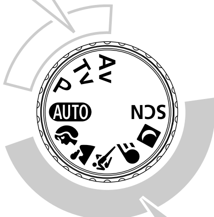
カメラまかせで撮影できますが、自分の好みに合わせて、いろいろな機能を活用できます(□ 50)。

Tv シャッタースピード優先AE

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさによって、適正な絞り数値が自動調整されます(□ 51)。

Av 絞り優先AE

絞り数値を設定すると、被写体の明るさによって、適正なシャッタースピードが自動調整されます(□ 53)。



イメージゾーン

被写体に合う条件をカメラまかせで撮影できます。

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせて撮るときに使います。



風景

広がりのある風景を撮るときに使います。



SCN スペシャルシーン

シーンによって6つの撮影モードが選べます(□ 49)。



スポーツ

テニスやゴルフなど、動きの速い被写体を撮るときに使います。



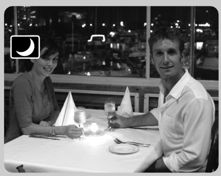
スローシャッター

動いている被写体をぶれさせたり（残像効果）、川の流れなどを撮影できます。

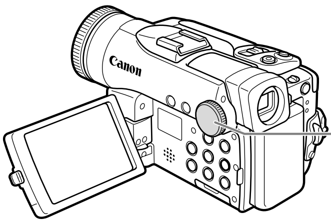


ナイト

暗い場所で撮るときに使います。2つの撮影モードが選べます(□ 48)。

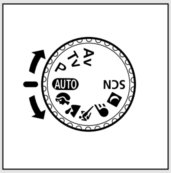


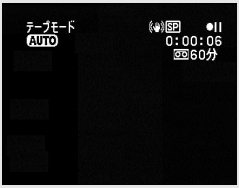
撮影モードの選びかた



カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1　モードダイヤルを回す





- 選んだモードの表示が出ます。

❍ 撮影モードを変えると、映像の明るさが一時的に大きく変化することがありますので、撮影中はモードを変えないでください。

❍ ポートレート
- ・ ズームを望遠（T）側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- ・ 再生すると、なめらかに見えないことがあります。

❍ 風景

ズームを広角（W）側にすると、より効果的に撮影できます。

❍ スポーツ

再生すると、なめらかに見えないことがあります。

❍ スローシャッター
- ・ カメラモードでは、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ・ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

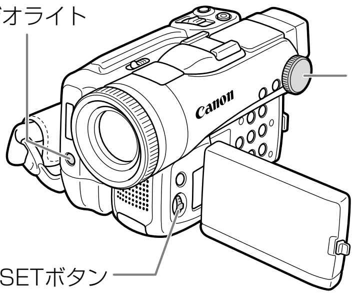
ナイトモードを使う

ナイト
多少暗めで照明が使えない場所で、被写体をカラーで明るく撮影できます。



スーパーナイト
ナイトで撮影できない真っ暗な場所でも、周囲の明るさによってミニビデオライトが自動的に点灯し、カラーで明るく撮影できます。

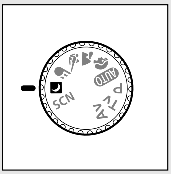


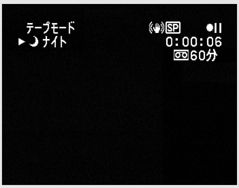


設定のしかた

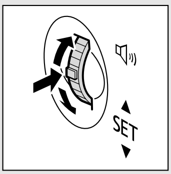
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

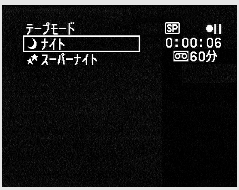
1 モードダイヤルを にする





2 ナイトモードを選ぶ





①SETボタンを押す
②SETボタンを上／下に押して、ナイトモードを選び、SETボタンをまっすぐ押す
● 選んだナイトモードの表示が出ます。

❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になることがあります。
❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
❍ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

SCN スペシャルシーンモードを使う

新緑/紅葉
新緑や紅葉、桜などをきれいに撮影できます。



スノー
冬のスキー場で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。



ビーチ
夏の海岸で照り返しが強くても被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。



夕焼け
夕焼けを色鮮やかに撮影できます。



スポットライト
スポットライトで照明されたシーンをきれいに撮影できます。



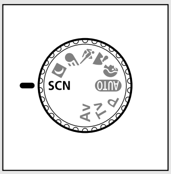
打上げ花火
打上げ花火をきれいに撮影できます。



設定のしかた

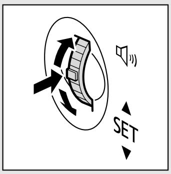
カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

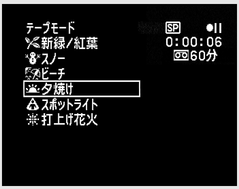
1 **モードダイヤルをSCNにする**





2 **シーンモードを選ぶ**





①SETボタンを押す
②SETボタンを上／下に押してシーンモードを選び、まっすぐ押す
- 選んだシーンモードの表示が出ます。

❍ スノー／ビーチ
・曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
・再生すると、なめらかに見えないことがあります。

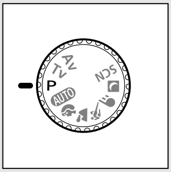
❍ 打上げ花火
手ぶれを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。カードカメラモードでは、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

P プログラムAEで撮る

被写体の明るさに応じて適正な露出を設定するために、カメラが自動的にシャッタースピードと絞り数値を設定します（プログラム）。**P** では、AUTO のようにカメラまかせで撮影できますが、すべての機能を使用できます。
AEは、Auto exposure（オートエクスポージャー）の略で、自動露出のことです。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 モードダイヤルを P にする





適正な露出を得られないときは、フラッシュを使ったり、測光方式を変えたりしてください。

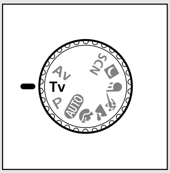
Tv シャッタースピードを決めて撮る(シャッタースピード優先AE)

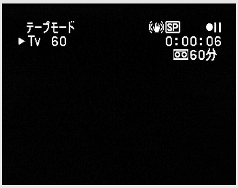
シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じて、カメラが適正な露出を設定するために必要な絞り数値を自動的に設定します。
シャッタースピードを速くすると、動きの速い被写体を瞬間でとらえることができます。シャッタースピードを遅くすると、流動感を表現できます。
Tvは、Time value（タイムバリュー）の略で、時間量のことです。
カメラモードで撮影するときの基本となるシャッタースピードは、1/60秒です。シャッタースピードを選ぶときの目安は、以下のとおりです。

カメラモード	カードカメラモード	
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	明るさが不足する場所で、被写体を明るく撮影するとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	自動車や列車などから外を撮影するときや、ジェットコースターなどの動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	−	晴天下で、テニスやゴルフなどのスポーツをしている人を撮影するとき。

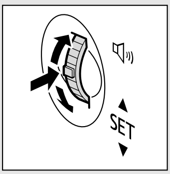
カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

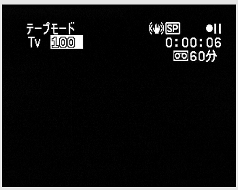
1 モードダイヤルをTv にする





2 シャッタースピードを設定する





① SETボタンをまっすぐ押す
② SETボタンを上／下に押して数値を決め、まっすぐ押す
- 数値は、分母のみ表示されます。

次のページへ

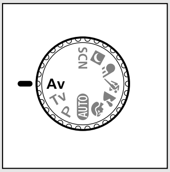
- 数値が点滅するときは、適正な露出になっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードを調整してください。
- 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。また、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 暗いところで撮影するときは、別売のビデオフラッシュライトVFL-1やビデオライトVL-3をお使いになることをおすすめします。
- カメラモードで1/1000秒以上の高速シャッターに設定しているとき、カードカメラモードに切り換えると、自動的に1/500秒になります。
- 1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。
- 高速シャッターのときは、画像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯の下での撮影について（カメラモード）
  モードダイヤルが AUTO 、**P** 、 のとき、蛍光灯のちらつきを検出して自動的にシャッタースピードが切り換わります。画面の明るさがちらつくときは、**Tv** を選び、1/100秒の高速シャッターを選んでください。

Av 絞り数値を決めて撮る（絞り優先AE）

絞り数値を設定すると、被写体の明るさに応じて、カメラが適正な露出を設定するために必要なシャッタースピードを自動的に設定します。
絞り数値：1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
絞り数値を小さくする（開く）と、背景をぼかした美しいポートレートが撮影できます。絞り数値を大きくする（閉じる）と、奥行きのある風景の手前から遠くまで鮮明に撮影できます。
Ａｖは、Aperture value（アパチャーバリュー）の略で、開口量のことです。

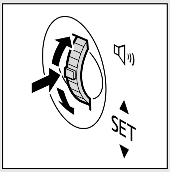
カメラモード 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** カード再生モード

1 モードダイヤルを Av にする





2 絞り数値を設定する





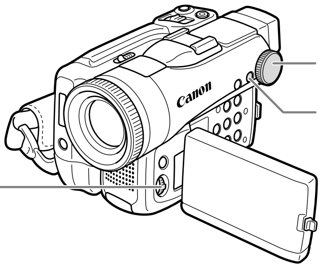
① SETボタンをまっすぐ押す
② SETボタンを上／下に押して数値を決め、まっすぐ押す

- シャッタースピードが自動的に設定されます。
- 数値が大きくなるほど、レンズの絞り径は小さくなります。

数値が点滅するときは、適正な露出になっていません。数値が点滅しなくなるまで、絞り数値を調整してください。

手動で明るさを変える（露出ロック／露出補正）

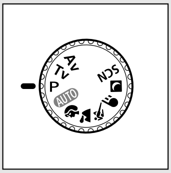
被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、露出の調整をします。
画面の明るさを変えて効果的な画創りができます。



露出を固定する（露出ロック）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

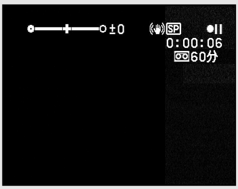
1 モードダイヤルを AUTO 以外にする



● 打上げ花火（スペシャルシーンモード）を設定しているときは、使用できません。

2 露出ボタンを押す





● 画面の明るさが固定（ロック）されます。
●「±0」の表示が出ます。
● 露出ロック中にズームを操作すると、画面の明るさが変わることがあります。

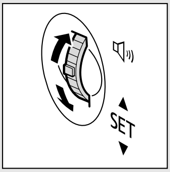
露出を補正する

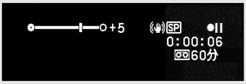
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

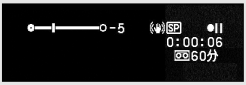
1

露出ロック中

SETボタンを上／下に押す



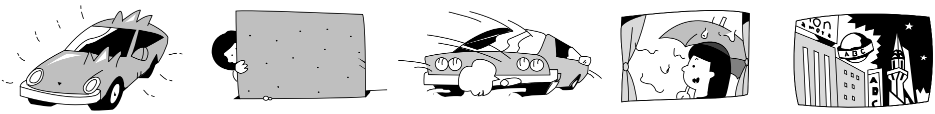




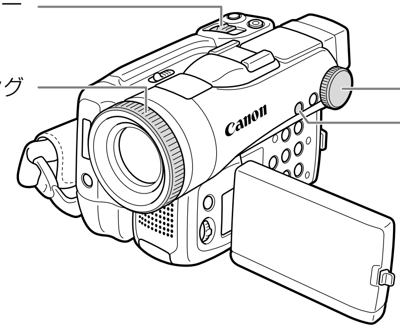
- SETボタンを上／下に押して、露出を補正します。
- 明るさによって調整できる範囲が変わり、露出ロック表示の長さも変わります。

手動でピントを合わせる

自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせます。自動ではピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。

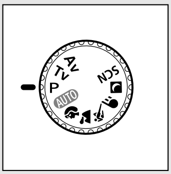


- 輝いたり、強い光が反射している
- 明暗の差や縦の線がない
- 動きが速い
- 水滴や汚れの付いたガラス越し
- 夜景

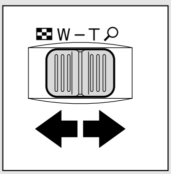


カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

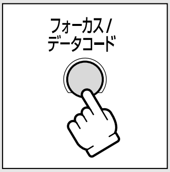
1 モードダイヤルを AUTO 以外にする

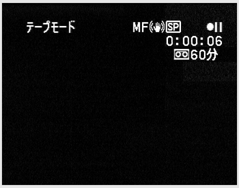


2 ズームレバーで被写体の大きさを決める



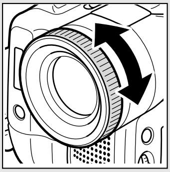
3 フォーカスボタンを押す





- 「MF」の表示が出ます。

4 フォーカスリングを回す



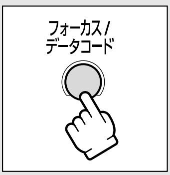
- フォーカスリングを回して、ピントを合わせます。
- フォーカスボタンをもう一度押すと、自動ピント合わせに戻ります。「MF」の表示が消えます。

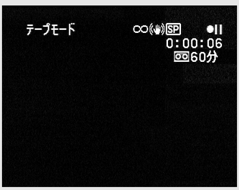
❍ モードダイヤルを AUTO にすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードにしたときは、手動のままです。
❍ 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

ピントを無限遠にして撮る

ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。

1 2の操作の後
フォーカスボタンを2秒以上押し続ける



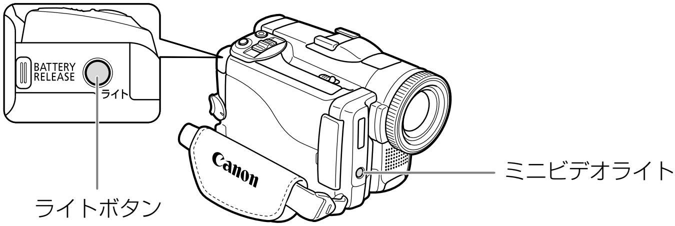


- ピントが無限遠になり、「∞」の表示が出ます。

「∞」の表示が出ているときに、ズームレバーまたはフォーカスリングを操作すると、「MF」に変わり、手動ピント合わせになります。

ミニビデオライトを使う

撮影モードに関係なく、いつでもミニビデオライトを点灯できます。



カメラモード 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** カード再生モード

1 ライトボタンを押す



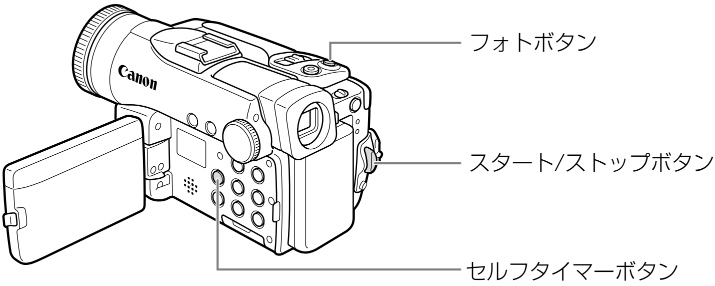


- 点灯中は「☼」の表示が出ます。
- ライトボタンを押すたびに、点灯／消灯が切り換ります。

スーパーナイトモードで、周囲の明るさによってミニビデオライトが自動的に点灯した場合は、ライトボタンを押しても消灯しません。

セルフタイマーを使う

セルフタイマーは、動画と静止画のどちらでも使用できます。



動画を撮影するとき

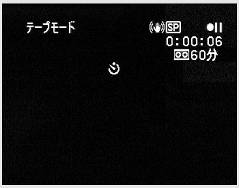
カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1

撮影一時停止中

⏲（セルフタイマー）ボタンを押す

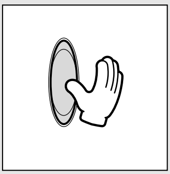




- 「⏲」の表示が出ます。

2

スタート/ストップボタンを押す



- 録画開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされます（リモコンの場合は2秒）。
- 静止画を撮影するときは、フォトボタンを押します（📖 33）。

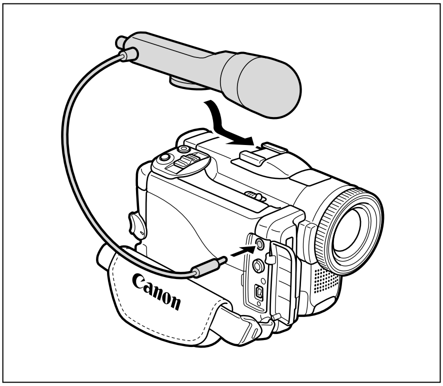


セルフタイマーを解除するときは、もう一度セルフタイマーボタンを押してください。撮影開始までの時間が表示されているときは、スタート/ストップボタン（動画のとき）、フォトボタン（静止画のとき）を押しても解除できます。また、電源を切ると解除されます。

外部マイクを使う

本機のアクセサリーシューに、別売の指向性ステレオマイクロホンDM-50や市販のアクセサリーシュー対応のマイクを取り付けられます。
詳しくは、マイクの説明書をご覧ください。

取り付けかた



❶ マイクをアクセサリーシューに取り付ける

❷ 市販のマイクの場合は、MIC端子に接続する

❍ **静かな場所で撮影するときは**

内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には、外部マイクをお使いになることをおすすめします。

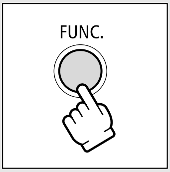
❍ **市販のマイクを使うときには**

- 電源内蔵タイプのマイク（コンデンサーマイク）をご使用ください。端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクを接続することが可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。
- 長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。

FUNC.ボタンで設定する

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定を FUNC.（ファンクション）メニューから変更できます。
メニュー項目は、FUNC. メニューの紹介（📖 62）をご覧ください。
例：「ホワイトバランス」を「太陽光」に設定する

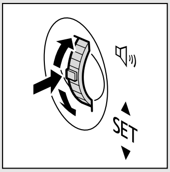
1 FUNC.ボタンを押す





- FUNC. メニューが出ます。

2 機能を選ぶ

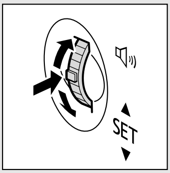




- 現在、設定されている機能のマークが出ています。

① SETボタンを上／下に押して、機能を選ぶ
② SETボタンをまっすぐ押す

3 設定内容を選ぶ

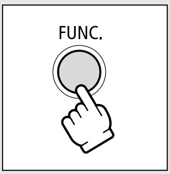




① SETボタンを上／下に押して、設定内容を選ぶ
② SETボタンをまっすぐ押す

- ホワイトバランスの「セット」、画質効果の「カスタム」、デジタルエフェクトの「マルチ画面」を設定する場合は、各説明ページをご覧ください。

4 FUNC.ボタンを押す



- FUNC. メニューが消えます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、紫色で表示されます。
❍ FUNC.ボタンを押すと、FUNC. メニューはいつでも終了します。

FUNC. メニューの紹介

設定できる機能は、動作モードにより異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

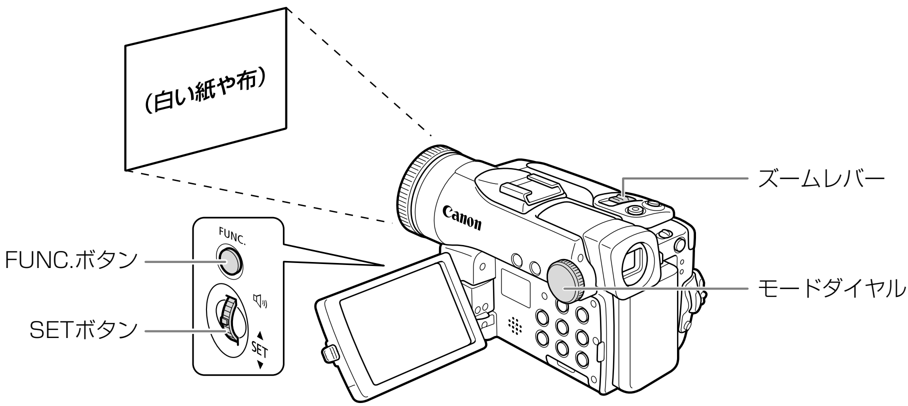
機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
測光方式	(**評価測光**)、(中央部重点平均測光)、(スポット測光)			○		104
ホワイトバランス	AWB(**オート**)、(太陽光)、(日陰)、(くもり)、(電球)、(蛍光灯)、(蛍光灯H)、(セット)	○		○		63
画質効果	(**効果切**)、(くっきりカラー)、(すっきりカラー)、(ソフト)、(美肌)、(カスタム)	○		○		66
ドライブモード	(**単写**)、(連写)、(高速連写)、(AEB)、(スティッチアシスト)			○		106 108
D.エフェクト設定	(**D.エフェクト OFF**)、(フェーダー)、(エフェクト)、(マルチ画面)、(カードミックス)	○				68
	(**D.エフェクトOFF**)、(フェーダー)、(エフェクト)、(マルチ画面)		○			
	(**D.エフェクトOFF**)、(シロクロ)			○		
静止画記録	OFF(**静止画記録切**)、S(ファイン/640×480)、S(ノーマル/640×480)	○				101
動画画像サイズ	320(**320×240**)、160(160×120)		○	○		99
静止画像画質	S(スーパーファイン/640×480)、S(**ファイン/640×480**)、S(ノーマル/640×480)		○			132
静止画サイズ／画質	L(**1632×1224**)、M(1280×960)、S(640×480)			○		99
	(スーパーファイン)、(**ファイン**)、(ノーマル)			○		
画像消去*	**キャンセル**、消去			○	○	113
スライドショー	キャンセル、**スタート**				○	111
画像プロテクト*	切、**入**			○	○	114
プリント指定	0〜99枚				○	145
送信指定	切、**入**				○	154

* カードカメラモードでは、静止画を撮影した直後に、FUNC.ボタンを押して設定します。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

蛍光灯や太陽光など、光が変わることによる色の微妙な変化を調整します。

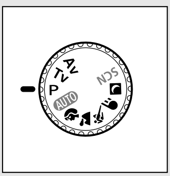
AWB（オート）	自動的に自然な色合いに調整するとき。
（太陽光）	晴天の屋外
（日陰）	日陰
（くもり）	曇天
（電球）	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
（蛍光灯）	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯
（蛍光灯H）	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯
（セット）	さまざまな光源で「白」を白く調整するとき。



設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

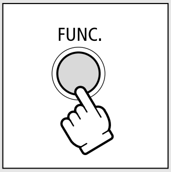
1 モードダイヤルをAUTO、SCN以外にする



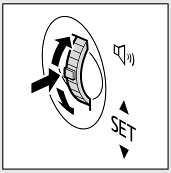
次のページへ

使いこなす　●　設定を変える　①

2 FUNC.ボタンを押す



3 ホワイトバランスマーク ➤ 設定内容を順に選ぶ



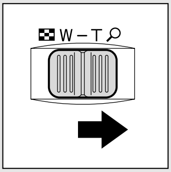


- ホワイトバランスマークは、現在設定されている内容が表示されます。

①SETボタンを上／下に押して内容を選び、まっすぐ押す

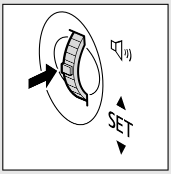
- セットの場合は、SETボタンを上／下に押して「」を選び、手順4へ進みます。

4 セットを選んだ場合のみ
①ズームレバーをT側に引く



- 白い紙や布を画面いっぱいに写します。
- 操作5が終わるまで、白い紙を写し続けてください。

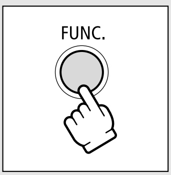
②SETボタンを押す



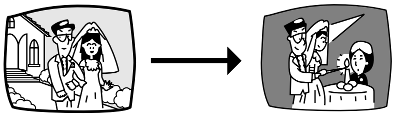


- が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わります。

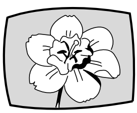
5 FUNC.ボタンを押す



- ❍ 通常の屋外では、「オート」での撮影をおすすめします。
- ❍ 蛍光灯の種類によっては、「蛍光灯」および「蛍光灯H」では色合いを最適にできないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「オート」または「セット」で調整してください。
- ❍ 一度設定したホワイトバランス「セット」は、電源を切っても憶えています。
- ❍ 以前設定した「セット」にしたいときは、手順3で「セット」を選んだ後に、SETボタンを押さずにFUNC.ボタンを押します。
- ❍ **「セット」を行う場合**
  - ・ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ゆっくりとした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。
  - ・ 照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
  - ・ メニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。
- ❍ 次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「セット」で調整をしてください。



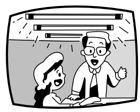
・ 照明条件が急に変わるとき



・ クローズアップ撮影をするとき



・ 単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき



・ 水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

画質を効果的に処理する（画質効果）

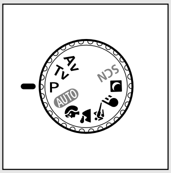
画質を効果的に処理して撮影できます。

OFF（画質効果切）	画質効果を使わないとき。	
V（くっきりカラー）	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにしたいとき。	
N（すっきりカラー）	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにしたいとき。	
LS（ソフト）	輪郭の強調を抑えたいとき。	
SD（美肌）	肌をなめらかに表現して、よりきれいに見せたいとき。	
C（カスタム）	明るさ、コントラスト、シャープネス、色の濃さを自由に設定したいとき。	
	明るさ	（－）暗め、（＋）明るめ
	コントラスト	（－）明暗差を弱め、（＋）明暗差を強め
	シャープネス	（－）輪郭強調を控えめ、（＋）輪郭強調を強め
	色の濃さ	（－）薄め、（＋）濃いめ

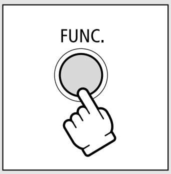
設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

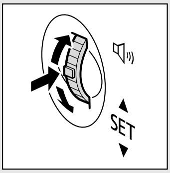
1 モードダイヤルを AUTO 、SCN 以外にする



2 FUNC.ボタンを押す



3 画質効果マーク ➤ 設定内容を順に選ぶ



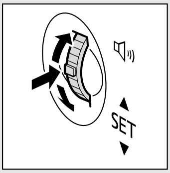


- 画質効果マークは、現在設定されている内容が表示されます。

① SETボタンを上／下に押して内容を選び、まっすぐ押す

4 カスタムを選んだ場合

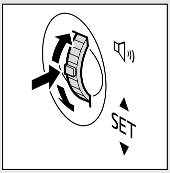
①カスタム機能を選ぶ





① SETボタンを上／下に押して内容を選び、まっすぐ押す

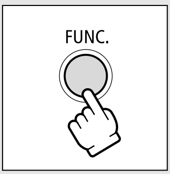
②カスタム機能を調整する





① SETボタンを上／下に押して設定し、まっすぐ押す
② 調整が終わったら、SETボタンを上／下に押して「決定」を選び、まっすぐ押す

5 FUNC.ボタンを押す



- 選んだ設定内容のマークが出ます。

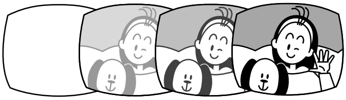
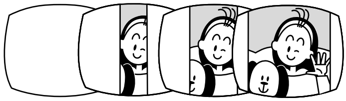
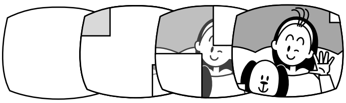
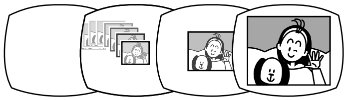
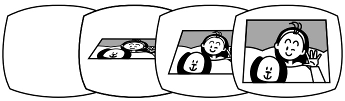
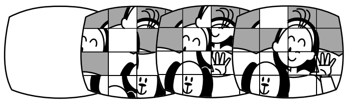
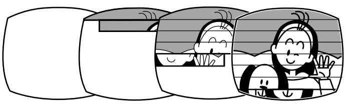
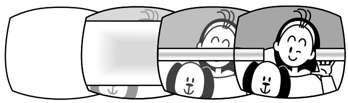
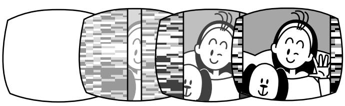
「美肌」は、人物を大きく撮影するときに使うと効果的です。画面の中の肌色に近い部分があるときも、ソフトに表現されます。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

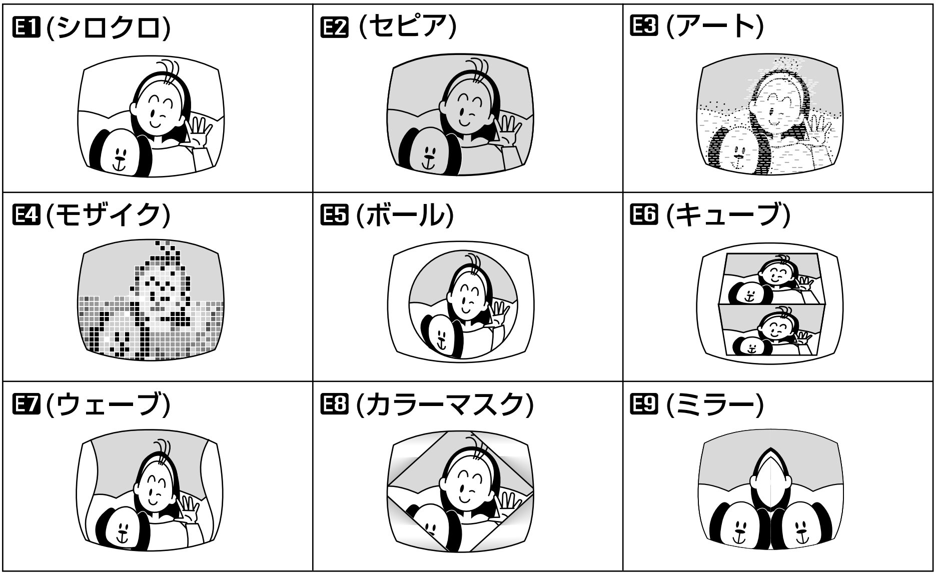
デジタルエフェクト機能には、フェーダーとエフェクト、マルチ画面、カードミックス（□ 74）があります。

フェーダー：テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます（□ 70）。

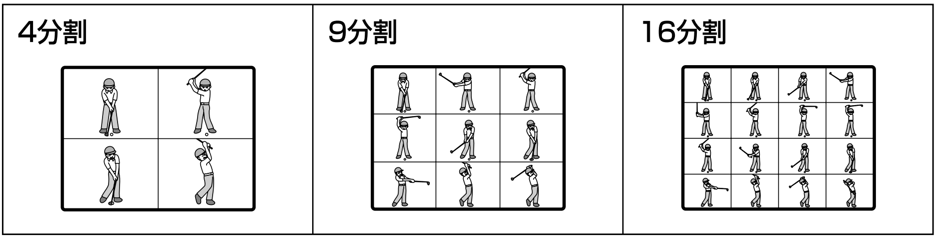
フェードイン →：白い画面から徐々に映像と音声を出す。
← フェードアウト：映像と音声を徐々に消す。

F1 (オートフェード) 	F2 (ワイプ) 
F3 (コーナーワイプ) 	F4 (ジャンプ) 
F5 (フリップ) 	F6 (パズル) 
F7 (ジグザグ) 	F8 (ビーム) 
F9 (タイド) 	

エフェクト：色を変えたり、特殊効果を加えることができます（📖 71）。



マルチ画面：画面を4／9／16分割して、静止画を表示します。また、静止画にして取り込むスピードを選択できます（📖 73）。



動作モードによって、使用できる機能が異なります。

	カメラモード		再生（VTR）モード	カードカメラモード	カード再生モード
	動画	静止画			
フェーダー	○	×	○	×	×
エフェクト	○	×	○	「シロクロ」のみ	×
マルチ画面	○	×	○	×	×

○：使用できます。×：使用できません。

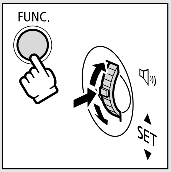
フェーダーの操作のしかた

フェードイン：撮影一時停止中または再生一時停止中に使う
フェードアウト：撮影中または再生中に使う

撮影時にフェーダーを使用するときは、モードダイヤルを AUTO 以外にします。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

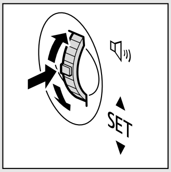
1 フェーダーを選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、デジタルエフェクトマーク ➤「フェーダー」を順に選ぶ
- デジタルエフェクトマークは、現在設定されている内容が表示されます。

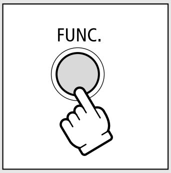
2 フェーダーの種類を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して設定するフェーダーの種類を選び、まっすぐ押す
- フェーダー機能が、アニメーションで表示されます。
- 画面に映像が出ているときは、効果を確認できます。

3 FUNC.ボタンを押す

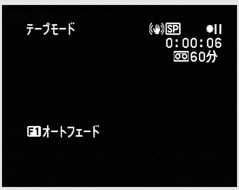


- 選んだフェーダーのマークが表示されます。

4 D.エフェクトボタンを押す

①





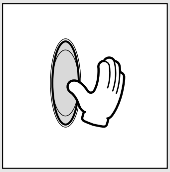
- 表示が緑色に変わります。
- D.エフェクトボタンをもう一度押すと、フェーダーは解除されます。

② **カメラモードの場合**

フェードイン 撮影一時停止中

フェードアウト 撮影中

スタート/ストップボタンを押す



- フェードインの場合：撮影が始まり、映像が徐々に現れます。
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、撮影一時停止になります。

再生（VTR）モードの場合

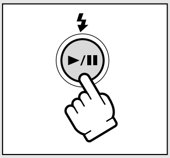
フェードイン 再生一時停止中

再生ボタンを押す

- フェードインの場合：再生が始まり、映像が徐々に現れます。

フェードアウト 再生中

一時停止ボタンを押す



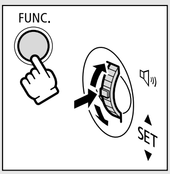
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、再生一時停止になります。

エフェクトの操作のしかた

音声はそのまま記録されます。
カードカメラモードでは、「シロクロ」のみ使用できます（🕮 72）。
撮影時にエフェクトを使用するときは、モードダイヤルをAUTO以外にします。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 エフェクトを選ぶ

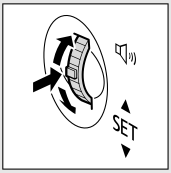




① FUNC.ボタンを押す
② SETボタンを使って、デジタルエフェクトマーク ➤「エフェクト」を順に選ぶ
- デジタルエフェクトマークは、現在設定されている内容が表示されます。

次のページへ

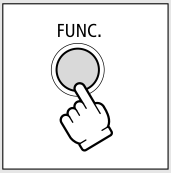
2 エフェクトの種類を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して設定するエフェクトの種類を選び、まっすぐ押す
- エフェクト機能が、アニメーションで表示されます。
- 画面に映像が出ているときは、効果を確認できます。

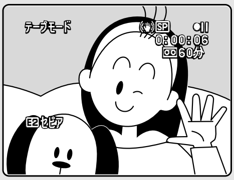
3 FUNC.ボタンを押す



- 選んだエフェクトのマークが表示されます。

4 D.エフェクトボタンを押す

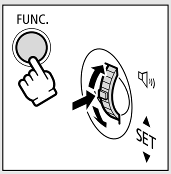




- 表示が緑色に変わり、画面がその効果になります。再生（VTR）モードの場合、テープを再生してから、D.エフェクトボタンを押します。
- D.エフェクトボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** | カード再生モード

1 シロクロを選ぶ

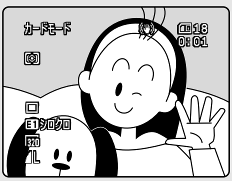




①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、「D.エフェクト設定」➤「シロクロ」を順に選ぶ
③FUNC.ボタンを押す
- 「E1」が表示されます。

2 D.エフェクトボタンを押す





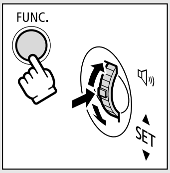
- 表示が緑色に変わり、画面が白黒になります。

マルチ画面の操作のしかた

マルチ画面は、遊園地やスポーツシーンなどで動いている被写体を一度に最大16画面連続して表示できます。テニスやゴルフのスイングなどをチェックするときに便利です。音声はそのまま記録されます。
分割する画面数（4／9／16）や静止画にして取り込むスピード（マニュアル／はやい／ふつう／おそい）を選べます。
撮影時にマルチ画面を使用するときは、モードダイヤルをAUTO、 以外にします。
再生時にマルチ画面を使用するときは、再生一時停止にします。「画面スピード」が「マニュアル」のときは、スロー再生中にも使用できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

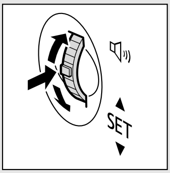
1 「マルチ画面」を選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、デジタルエフェクトマーク ➤「マルチ画面」を順に選ぶ
- デジタルエフェクトマークは、現在設定されている内容が表示されます。

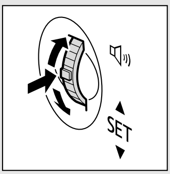
2 取り込みスピードを選ぶ

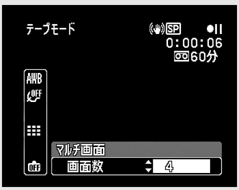




①SETボタンを上／下に押して「画面スピード」を選び、まっすぐ押す
②SETボタンを上／下に押して設定するスピードを選び、まっすぐ押す
- 画面を取り込むスピードの目安は、次のとおりです。
  - ・マニュアル：手動で映像を取り込む
  - ・はやい：4フレームごと
  - ・ふつう：6フレームごと（撮影モードが のときは、8フレームごと）
  - ・おそい：8フレームごと（撮影モードが のときは、12フレームごと）

3 画面数を選ぶ

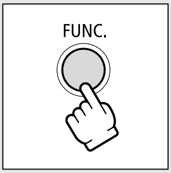




①SETボタンを上／下に押して「画面数」を選び、まっすぐ押す
②SETボタンを上／下に押して設定する画面数を選び、まっすぐ押す
③SETボタンを上／下に押して「決定」を選び、まっすぐ押す

次のページへ

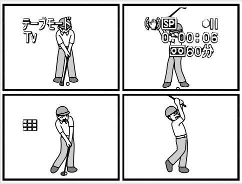
4 FUNC.ボタンを押す



- 「⊞」が表示されます。

5 D.エフェクトボタンを押す





- 表示が緑色に変わります。
- 画面スピードが「マニュアル」以外の場合：選んだスピードで選んだ画面数の画像を取り込みます。取り込み完了後、D.エフェクトボタンを押すと、マルチ画面は解除されます。
- 画面スピードが「マニュアル」の場合：D.エフェクトボタンを押すごとに画像を取り込みます。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消えます。
  D.エフェクトボタンを１秒以上押し続けると、最後の映像から順に解除されていきます。

画面スピードが「マニュアル」以外の場合、再生（VTR）モードでマルチ画面を取り込んでいるときに、テープの走行で使う操作ボタン（再生/一時停止ボタンなど）を押したり、日付サーチ（リモコン操作）をすると、マルチ画面は解除されます。

画像を合成する（カードミックス）

カードに記録してある静止画とカメラで撮影している映像を合成し、テープに記録できます。付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているタイトルやフレーム、アニメーションなどのサンプル画像（📖 77）を使って、ビデオを楽しく演出できます。
カードに記録した動画と、カメラで撮影している映像は合成できません。

カードクロマキー



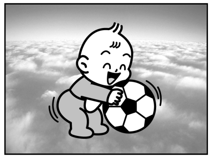
イラストやフレームの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の青い部分にカメラで撮影している映像が写ります。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整

カードルミキー



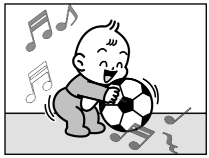
イラストやタイトルなどの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している映像が写ります。
ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラクロマキー



静止画とカメラの映像を合成します。
カーテンなど青い背景の前で撮影します。被写体など青以外の部分が静止画の上に写ります。
ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画面の青い部分の調整

カードアニメーション



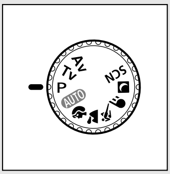
アニメーションとカメラの映像を合成します。
アニメーションの動きは、コーナー（画面の左上と右下に表れる）／ストレート（画面の上下に表れる）／ランダム（画面の中を動き回る）から選べます。
ミックスレベルの調整：青い部分の調整

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | カード再生モード

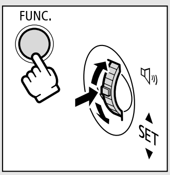
1 DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKから、カードにサンプル画像を追加する

- 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「カードにサンプル画像を追加する」をご覧ください。

2 モードダイヤルを AUTO 以外にする



3 カードミックスを選ぶ



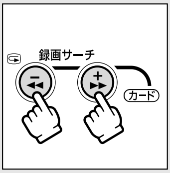


①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、デジタルエフェクトマーク ➤「カードミックス」を順に選ぶ

- デジタルエフェクトマークは、現在設定されている内容が表示されます。

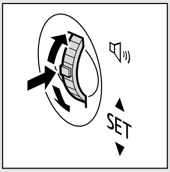
次のページへ

4 カードの静止画/アニメーションを選ぶ



● カード＋／－ボタンを押します。

5 ミックスタイプを選ぶ

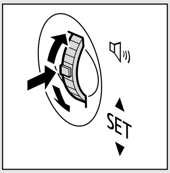




①SETボタンを上／下に押して「ミックスタイプ」を選び、まっすぐ押す
②SETボタンを上／下に押して内容を選び、まっすぐ押す
● 合成された画面になります。

カードアニメーションを選んだ場合

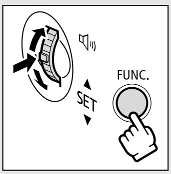
アニメーションタイプを選ぶ





①SETボタンを上／下に押して、アニメーションの動きを選び、まっすぐ押す
● 合成された画面になります。

6 ミックスレベルを調整する





①SETボタンを上／下に押して「ミックスレベル」を選び、まっすぐ押す
● 画面を見ながら、SETボタンを上／下に押して調整します。
②調整が終わったら、SETボタンをまっすぐ押す
③SETボタンを上／下に押して「決定」を選び、まっすぐ押す
④FUNC.ボタンを押す
●「カードミックス」が表示されます。

7 D.エフェクトボタンを押す





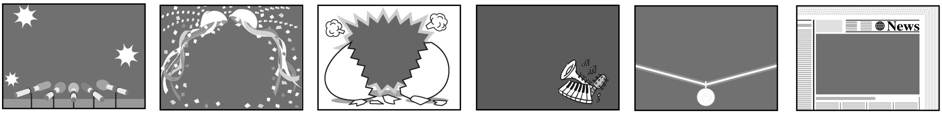
● 表示が緑色に変わり、合成された画面になります。

❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「D.エフェクト OFF 」に設定します。
❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。
❍ DVケーブルを接続し、テープを再生してダビングするとき（DV出力）、デジタルエフェクトは使用できません。

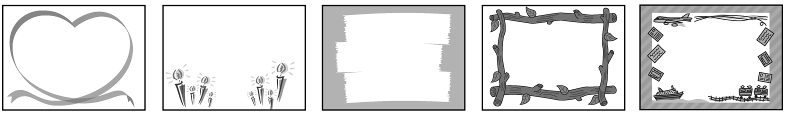
サンプル画像

付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKには、次のようなサンプル画像（例）が入っています。

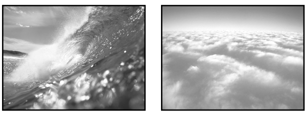
カードクロマキー用



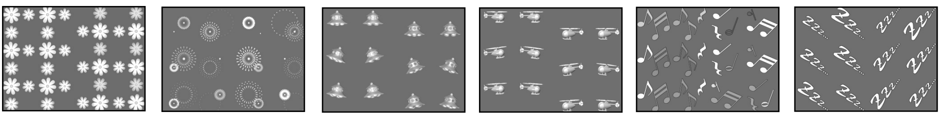
カードルミキー用



カメラクロマキー用



カードアニメーション用

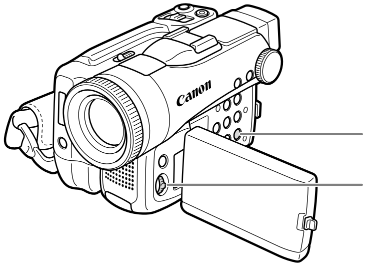


付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っている画像データは、お買い上げになったビデオカメラでの画像合成を個人で楽しむ目的以外には使用しないでください。

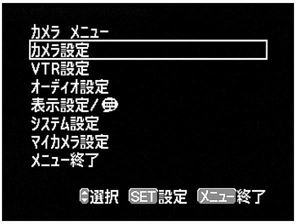
PhotoEssentials - イメージライブラリ
PhotoEssentialsは、使用権/著作権、肖像権の問題のない高品質なイメージ画像を収録したCD-ROMで、広告宣伝、カタログ、レポート、マルチメディアドキュメント、Webサイト、本、パッケージなどの幅広い用途にお使いいただけます。PhotoEssentialsについてより詳しい情報をお知りになりたい方は、下記にご連絡ください。
株式会社データクラフト（http://www.datacraft.co.jp）

メニューボタンで設定する

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニューの紹介（□ 80）をご覧ください。



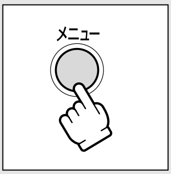
メニュー画面下部の表示は、本体上のボタンを表しています。



選択	SETボタンを上／下に押して、設定内容を選びます。
SET 設定	SETボタンをまっすぐ押して、設定します。
SET 戻り	SETボタンをまっすぐ押して、前のメニューに戻ります。
メニュー 終了	メニューボタンを押して、メニューを終了します。

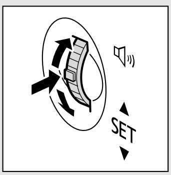
例：「デジタルズーム」を「280×」に設定する

1 メニューボタンを押す



- メインメニューが出ます。

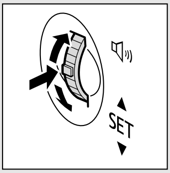
2 項目を選ぶ

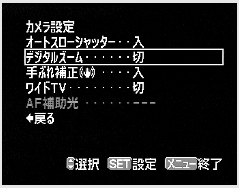




① SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する項目に合わせる
② SETボタンをまっすぐ押す
- 選んだ項目のサブメニューが出ます。

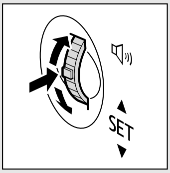
3 機能を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する機能に合わせる
②SETボタンをまっすぐ押す
● 選んだ機能だけの表示になります。

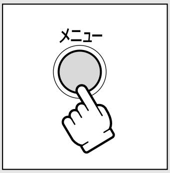
4 設定内容を選び、設定する





①SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する設定内容に合わせる
②SETボタンをまっすぐ押す

5 メニューボタンを押す



● メニューが消えます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、紫色で表示されます。
❍ メニューボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

メニュー メニューの紹介

設定できる機能は、動作モードにより異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。

各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。📖 欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

カメラ設定

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
オートスローシャッター	**入**、切	○		○		–
デジタルズーム	**切**、56×、280×	○				37
	切、56×			○		
手ぶれ補正	**入**、切	○		○		–
ワイドTV	入 WIDE、**切**	○				91
AF補助光	**オート**、切	○		○		103
フォーカス優先	**入**、切			○		–
ND	**オート**、切			○		–
静止画確認時間	切、**2秒**、4秒、6秒、8秒、10秒			○		110

オートスローシャッター　暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒（カードカメラモードでは1/15秒）までのスローシャッターになります。
- カードカメラモードでは、フラッシュを「発光禁止」に設定します。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ぶれ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

手ぶれ補正　ズームの望遠側で撮影するときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

- 手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 暗いところで、ナイトモードで撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
- モードダイヤルが AUTO のときは、解除できません。
- 三脚などを使って撮影するときやビデオカメラを左右に動かして撮影するときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。

フォーカス優先　フォトボタンを押したときに、ピントが合ってから静止画を記録します。

- ❍ フォトボタンを押してすぐに静止画を記録したいときに、「切」を選びます。
- ❍「切」を選んだとき、AF枠は出ません。
- ❍ 次の撮影モードを選んでいるときは、設定できません。
  - ・AUTO
  - ・打上げ花火　（スペシャルシーンモード）

ND　光量を抑えるNDフィルターを自動で入れます。

カード設定

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
番号リセット	する、**しない**		○	○		–

番号リセット　カードを入れ換えたときの、カードに記録する画像のファイル番号の付けかたを選びます。

- ❍ カードに記録した画像は、自動的に0101～9900までのファイル番号が付き、１つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。
- ❍「する」：　ファイル番号は、101-0101から始まります。すでに、カードに画像が記録されているときは、その続きの番号になります。
- ❍「しない」：　ファイル番号は、最後に記録した画像の続き番号から始まります。カード内のファイル番号が大きいときは、その続き番号になります。パソコンで管理するときなどに便利です。
- ❍ 通常は、「しない」に設定しておくことをおすすめします。

カード実行

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
プリント指定全消去	**いいえ**、はい				○	146
送信指定全消去	**いいえ**、はい				○	155
画像全消去	**いいえ**、はい				○	113
フォーマット	**キャンセル**、実行				○	116

カード実行（インデックス画面のとき）

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
➡ 画像プロテクト	画像プロテクト				○	114
➡ プリント指定	プリント指定設定画面へ				○	145
➡ 送信指定	送信指定設定画面へ				○	154

VTR設定

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
録画モード	**SP**、LP	○	○			86
AV/ヘッドホン	**AV**、ヘッドホン	○	○	○	○	43, 44
AV➡DV/	入、**切**		○			126

オーディオ設定

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
バイリンガル	**メイン＋サブ**、メイン、サブ		○			–
アフレコ入力	**音声入力**、マイク入力		○			128
ウィンドカット	**オート**、切 OFF	○	○	○		90
マイクATT	入 ATT 、**切**	○		○		88
マイクレベル	**オート**、マニュアル	○				87
12bit音声出力	**ステレオ1**、ステレオ2、ミックス/1：1、ミックス/バリアブル		○			130
ミックスバランス	–		○			130
オーディオモード	16bit、**12bit**	○	○			–
音量	▁▂▃▄▅▆▇、切 OFF	○		○		89

バイリンガル　二重音声で記録したテープを再生するときに、音声を切り換えます。

「メイン＋サブ」　ステレオ音声または主＋副音声を再生します。
「メイン」　左音声または主音声を再生します。
「サブ」　右音声または副音声を再生します。

オーディオモード　音声記録モードを切り換えます。

- 「16bit」では、ステレオ音声が高音質で記録できます。
- 撮影後、アフレコしたいときは、「12bit」で撮影してください。

表示設定

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	📖
液晶明るさ調整	–	○	○	○	○	–
液晶対面ミラー	**入**、切	○		○		–
オンスクリーン	**入**、切	○		○		–
	入、**切**		○		○	
再生時文字表示	**入**、切		○		○	–
日付オート表示	入、**切**		○			–
レベルメーター	入、**切**		○			88
データコード	**日時**、カメラデータ、日時＆カメラデータ		○			95
日時選択	日付、時刻、**日付＆時刻**		○		○	95
言語	DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL(スペイン語)、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO(イタリア語)、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、繁體中文（繁体中国語）、한국어(ハングル語)、**日本語**	○	○	○	○	–
日時スタイル	例）**2005.1.1　AM12:00**、1.JAN.2005　12:00 AM、JAN. 1.2005　12:00 AM	○	○	○	○	–
デモモード	**入**、切	○		○		–

液晶明るさ調整　液晶画面の明るさを調整します。

- SETボタンを上／下に押して調整します。
- テープやカードに記録されたり、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

液晶対面ミラー　対面撮影のときに、液晶画面上の映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。

❍ 液晶画面には、テープやカードの動作とセルフタイマーの表示のみ出ます。ファインダーには、通常の表示が出ます。

オンスクリーン　画面情報を、本機に接続したテレビ画面に表示します。

❍ リモコンのオンスクリーンボタンでも操作できます。

再生時文字表示　再生時に、液晶画面に文字が出ます。

「切」にすると

❍ 液晶画面での再生時にデータコード以外の文字を消します（再生ズーム中とデジタルエフェクト実行中、オーディオレベル表示中、(FUNC.) メニュー表示中を除きます）。
❍ 本体を操作中に表示は出ますが、操作が終わると約2秒後に消えます。
❍ 一部の警告文を除き、接続しているテレビ画面上の文字も消します。

日付オート表示　テープを再生し始めたとき、または再生中に日付／エリアが変わったときに約6秒間日付が出ます。

❍「再生時文字表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間出ます。

言語　画面に表示する言語を変えます。

❍ 画面下の SET と メニュー は、変わりません。

日時スタイル　日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

デモモード　デモンストレーション（機能紹介）をします。

❍ コンパクトパワーアダプターを使用時に、本機にカセットとカードを入れずに「入」を選んでSETボタンをまっすぐ押したとき、またはカセットとカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。
❍ デモモードを終了するときは
いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはカードを入れる

システム設定

機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	
リモコンセンサー	**入**、切	○	○	○	○	−
おしらせ音	**大**、小、切	○	○	○	○	−
パワーセーブ	**入**、切	○		○		−
エリア/サマータイム	−	○	○	○	○	28
日時設定	−	○	○	○	○	29

リモコンセンサー　リモコンセンサーを受け付け、本機を操作します。

おしらせ音　電源を入れたり、セルフタイマーを使ったり、結露などの警告を知らせるときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ　バッテリーパックを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。電源が切れる約30秒前に、「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。

マイカメラ設定

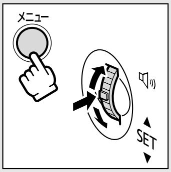
機能	設定内容	カメラ	再生(VTR)	カードカメラ	カード再生	
起動画面作成	−				○	92
起動画面選択	切、CANONロゴ、ユーザー設定				○	
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定	○	○	○	○	
シャッター音						
操作音						
セルフタイマー音						

録画モードを選ぶ

SP（標準）モードまたはLP（長時間）モードが選択できます。LPモードは、SPモードの録画時間の1.5倍になります。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

1





①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「VTR設定」➤「録画モード」➤ 設定内容を順に選ぶ
③メニューボタンを押す
- 「SP」または「LP」の表示がでます。

- **LPモードで記録したテープは、アフレコできません。**
- **LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。**
  大切な撮影にはSPモードをお使いください。

- 本機でLPモードで録画したテープをほかのデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。

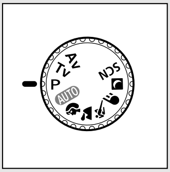
録音レベルを調整する（オーディオレベル）

内蔵マイクや外部マイクの音量を調整して、録音できます。また、再生中に録音レベルを表示して確認できます。

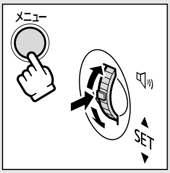
録音レベルを手動で調整する

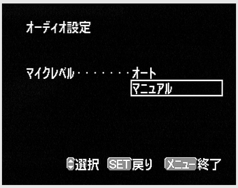
カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | カード再生モード

1 モードダイヤルを AUTO 以外にする



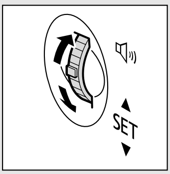
2 「マイクレベル」の設定を「マニュアル」にする

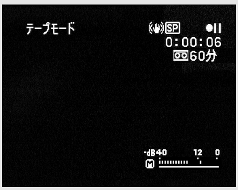




① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「マイクレベル」➤「マニュアル」を順に選ぶ
③ メニューボタンを押す
- レベルメーターが出ます。
- 音量調整位置を示す緑色のバーが出ていないときは、オーディオレベルボタンを押します。

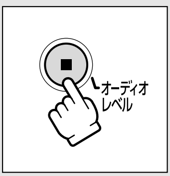
3 SETボタンを上／下に押す





- 緑色のバーは、右に行くほどマイクレベルが上がり、左に行くほどマイクレベルは下がります。
- レベルメーターが、12より右の位置で時々点灯するように調整します。
- レベルメーターの 0 で赤く点灯するときは、音が歪むことがあります。

4 調整が終わったら、オーディオレベルボタンを押す



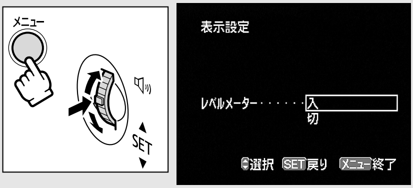
- 緑色のバーが消えます。

次のページへ

再生中に録音レベルを表示する

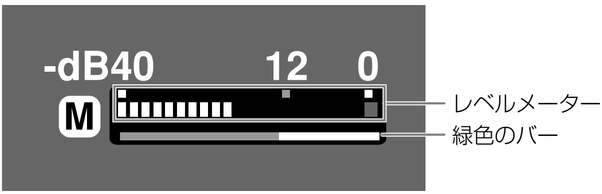
カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 「レベルメーター」の設定を「入」にする



①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「表示設定」➤「レベルメーター」➤「入」を順に選ぶ
③メニューボタンを押す

❍ **レベルメーターについて**
「マイクレベル」が「オート」のときは、オーディオレベルボタンを押すたびに、レベルメーターの表示が出たり、消えたりします。



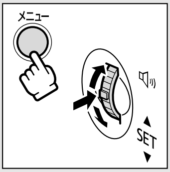
❍ 録音レベルは、緑色のバーが出ているときに調整できます。調整が終わったら、録音レベルが不用意に変わらないように緑色のバーを消しておくことをおすすめします。
❍ モードダイヤルが AUTO のとき、録音レベルは自動調整になります。
❍ データコードを表示中、レベルメーターは表示されません。
❍ 録音レベルを調整したり、「マイクATT」機能を使うときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします。
❍ **レベルメーターが適切に点灯しているのに音声が歪むとき**
モードダイヤルを AUTO 以外にし、メニューで「マイクATT」を「入」にしてください。「マイクATT」機能は、カードカメラモードでも使用できます。
*ATTはAttenuator（アッテネーター）の略で、信号を小さくする減衰器のことです。

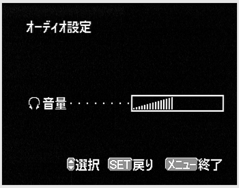
撮影時にヘッドホンの音量を調整する

ヘッドホン端子は、映像/音声（AV）端子と共通です。ヘッドホンは、画面に「🎧」の表示が出ているときに使用できます。「🎧」が出ていない場合は、設定を変更します（📖 43）。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

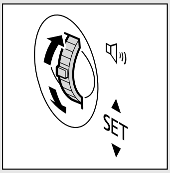
1 **「🎧音量」を選ぶ**





① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「🎧音量」を選ぶ

2 **SETボタンを上／下に押す**



風音を低減して撮る（ウィンドカット）

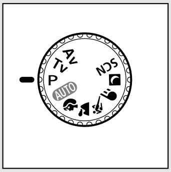
風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。
風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

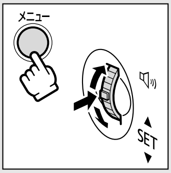
カメラモードの場合

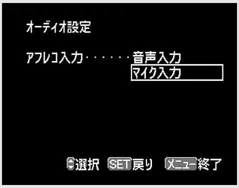
モードダイヤルを AUTO 以外にする



再生（VTR）モードの場合

「アフレコ入力」の設定を「マイク入力」にする

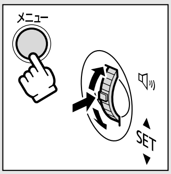


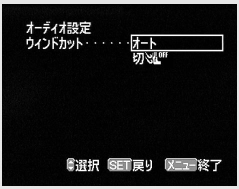


①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「アフレコ入力」➤「マイク入力」を順に選ぶ
③メニューボタンを押す

2

設定内容を選ぶ





①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「ウィンドカット」➤ 設定内容を順に選ぶ
③メニューボタンを押す
- 「切」を選ぶと「 」の表示が出ます。

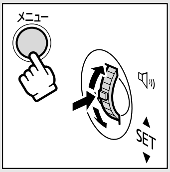
内蔵マイク以外では、ウィンドカットは使用できません。

ワイド画面で撮る（ワイドTV）

ワイドテレビ（画面の横、縦の比率が16：9）用機能を使うと、CCDをより広く活用して、通常よりも広い範囲を、より高画質で撮影できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1





①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カメラ設定」➤「ワイドTV」➤「入 WIDE 」を選ぶ
③メニューボタンを押す
- 画面に「 WIDE 」の表示が出ます。
- 液晶画面では、ワイド画面になります。ファインダーでは、縦に伸びた映像になります。

「入」にして撮影したテープをテレビで再生するときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくは、テレビの説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横、縦の比率が4：3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1-映像入力端子やビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換わります（📖45）。

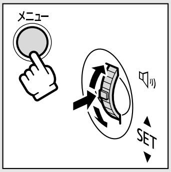
マイカメラ機能を使う

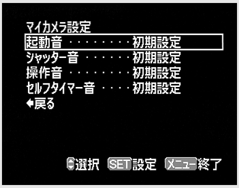
本機では、起動画面と起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の設定（マイカメラ）を変更できます。また、カードに記録した静止画を使って、起動画面を作成できます。

マイカメラの設定を変える

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

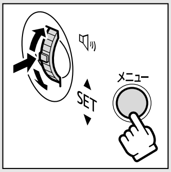
1 機能を選ぶ

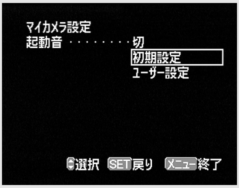




①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「マイカメラ設定」➤ 機能を順に選ぶ
- 起動画面を選択するときは、カード再生モードにします。

2 設定内容を選ぶ





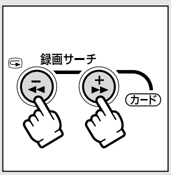
①SETボタンを上／下に押して設定内容を選ぶ
- 「切、初期設定、ユーザー設定」の選択画面になります。
  カード再生モードで「起動画面選択」を選ぶと、「切、CANONロゴ、ユーザー設定」の選択画面になります。
- 選んだ音や起動画面が確認できます。メニューで「おしらせ音」が「切」のときは、音は確認できません。

②メニューボタンを押す

起動画面を作成する

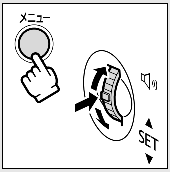
カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

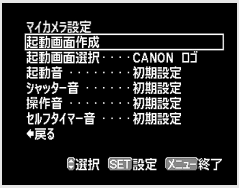
1 起動画面にする静止画を選ぶ



- カード ＋ ／ − ボタンを押します。

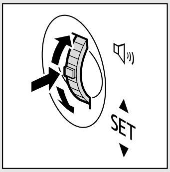
2 「起動画面作成」を選ぶ

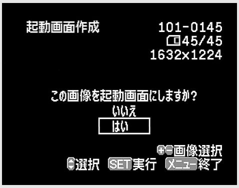




①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「マイカメラ設定」➤「起動画面作成」を順に選ぶ

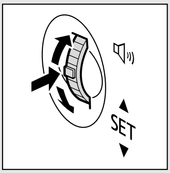
3 「はい」を選ぶ

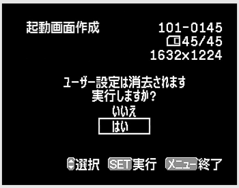




①SETボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押す

4 「はい」を選び、実行する



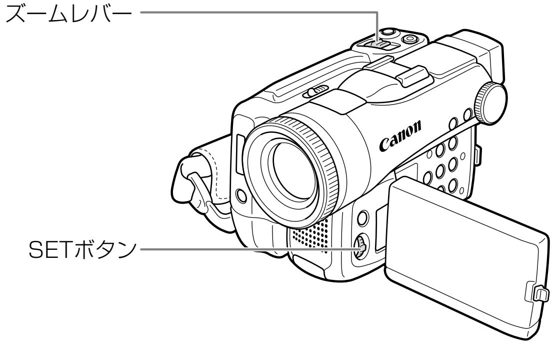


①SETボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押す
- 再生している静止画が「ユーザー設定」に記録されます。
- 記録されていた起動画面は消去されます。
- メニューボタンを押すと、メニューが消えます。

❍ 設定内容の中にある「ユーザー設定」は、付属のソフトウェア（ZoomBrowser EXまたはImageBrowser）を使ったり、CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードすることで、新しい起動画面や音を登録して変更できます。詳しくは、Digital Video Software使用説明書をご覧ください。
❍ 起動画面に設定した静止画のオリジナルの画像データは、パソコンなどに保存しておいてください。

画面を拡大する（再生ズーム）

再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する位置を上下、左右に移動できます。

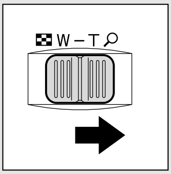


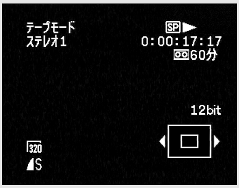
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

再生中

ズームレバーをT側に引く

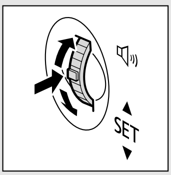




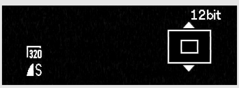
- 画面中央が2倍に拡大され、拡大している位置を示す枠が出ます。
- さらに拡大するときは、ズームレバーをT側に引きます。縮小するときは、ズームレバーをW側に押します。
- 拡大できない画像のときは、「 」の表示が出ます。

2

SETボタンを上／下に押す





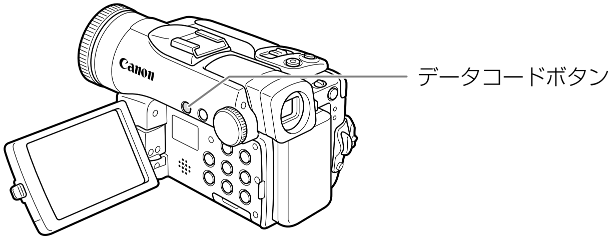


- 画面が移動します。
- SETボタンをまっすぐ押すと、画面の移動する方向（上下または左右）を切り換えられます。
- 拡大している枠が消えるまで、ズームレバーをW側に押すと、画面は元に戻ります。

カードに記録した動画は、再生中に画面を拡大できません。

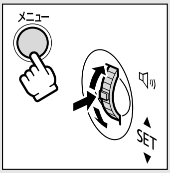
撮影情報を表示する（データコード）

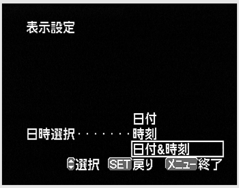
本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピードと絞り値（F値））が自動的に記録されます。撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。
テープを再生するときには、データコードの内容を選んで表示できます。



カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

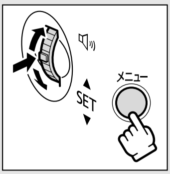
1 日時の表示内容を選ぶ

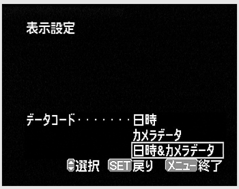




①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「表示設定」➤「日時選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。
- カード再生モードのとき、3の操作へ進んでください。

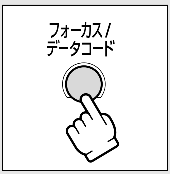
2 データコードの表示内容を選ぶ

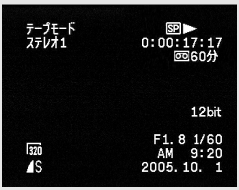




①SETボタンを使って、「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
②メニューボタンを押す

3 データコードを表示する



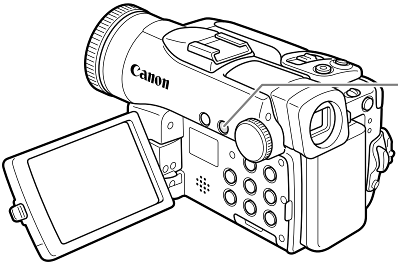


- テープを再生し、データコードボタンを押します。
- カード再生モードでは、データコードボタンを押すと、日付／時刻のみ表示されます。
- もう一度ボタンを押すと、表示は消えます。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

最後の場面を探す（エンドサーチ）

テープを再生した後に、最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。



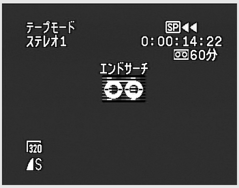
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1

テープ停止中

エンドサーチボタンを押す



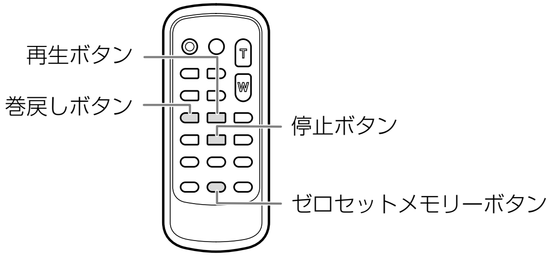


- 「エンドサーチ」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと、中止します。

❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。
❍ アフレコを行ったときの最後の場面では、エンドサーチは働きません。

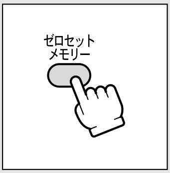
見たい場面に戻る（ゼロセットメモリー）

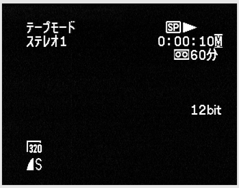
あとでもう一度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。リモコンで操作します。



カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

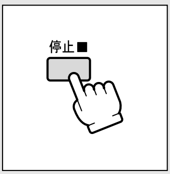
1 再生中 ゼロセットメモリーボタンを押す



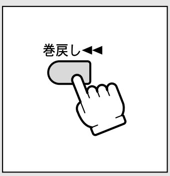


- あとで見たい場面が出てきたら、ゼロセットメモリーボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、「M」の表示が出ます。
- ゼロセットメモリーボタンをもう一度押すと、設定が解除されます。

2 再生が終わったら、停止ボタンを押す



3 巻戻しボタンを押す

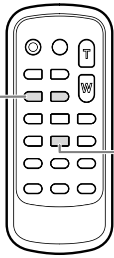


- カウンター表示に「－」がついているときは、早送りボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、「M」が消えます。

タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリーを設定した場面で正しく停止しないことがあります。

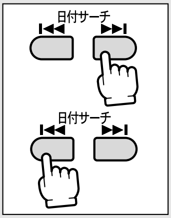
撮影日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（📖 95）を使って、撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。リモコンで操作します。



カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 日付サーチ⏮／⏭ボタンを押す





- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになります。
- サーチを止めるときは、停止ボタンを押します。

❍ 日付サーチを行うときは、1日/1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。

画質や画像サイズを選ぶ

カードに記録する静止画の画質、静止画／動画の画像サイズを選びます。

静止画像画質		S（スーパーファイン）、（ファイン）、（ノーマル）
画像サイズ	静止画	L（1632×1224）、M（1280×960）、S（640×480）
	動画	320（320×240）、160（160×120）

本機では静止画はJPEG（ジェーペグ）圧縮、動画はMotion JPEG（モーション ジェーペグ）圧縮で記録します。
画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のカードに記録できる静止画の枚数や動画の記録時間は異なります。記録できる枚数や時間の目安は、次のとおりです。（「128MB、512MBカード」は、SDメモリーカードの場合です。）

静止画が記録できる枚数

画像サイズ	画質	記録枚数			1枚あたりのデータ量
		付属のカード	128MBカード	512MBカード	
1632×1224	スーパーファイン	約10枚	約85枚	約350枚	約1360KB
	ファイン	約15枚	約135枚	約545枚	約880KB
	ノーマル	約25枚	約250枚	約1000枚	約480KB
1280×960	スーパーファイン	約15枚	約140枚	約555枚	約850KB
	ファイン	約25枚	約215枚	約860枚	約560KB
	ノーマル	約45枚	約395枚	約1585枚	約300KB
640×480	スーパーファイン	約85枚	約690枚	約2740枚	約176KB
	ファイン	約115枚	約955枚	約3770枚	約120KB
	ノーマル	約185枚	約1525枚	約6035枚	約72KB

動画が記録できる時間

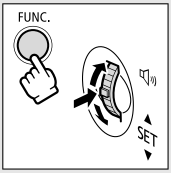
画像サイズ	記録時間			1秒あたりのデータ量
	付属のカード*	128MBカード	512MBカード	
320×240	約10秒（約1分）	約8分	約32分	約250KB／秒
160×120	約30秒（約2分）	約17分	約67分	約120KB／秒

* 付属のカードの場合、記載時間は1回の記録時間です。（　）内は、カード1枚あたりの合計時間です。

静止画の画質と画像サイズを選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　|　**カードカメラモード**　カード再生モード

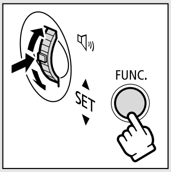
1 画像サイズを選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、静止画画質・画像サイズマーク ➤ 画像サイズを選ぶ
③SETボタンを押す
- 右下の数字は、カードに記録できる目安の枚数です。

2 画質を選ぶ



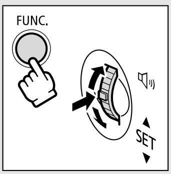


①SETボタンを使って、画質を選ぶ
②FUNC.ボタンを押す

動画の画像サイズを選ぶ

カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　**カードカメラモード**　カード再生モード

1





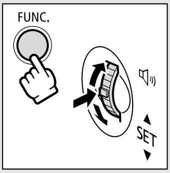
①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、動画画像サイズマーク ➤ 設定内容を選ぶ
③FUNC.ボタンを押す
- 右下の数字は、カードに記録できる目安の時間です。

テープ撮影中にカードに記録する

テープに動画を撮影中に、テープに記録している映像を同時にカードに静止画で記録できます。カードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。画質は選べます。

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | カード再生モード

1 「静止画記録」の設定を選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、静止画記録マーク ➤ 設定内容を選ぶ
③FUNC.ボタンを押す

2 動画撮影中 フォトボタンを深く押す



● 画面は動画のまま、静止画がカードに記録されます。

使いこなす ● デジタルカメラ機能

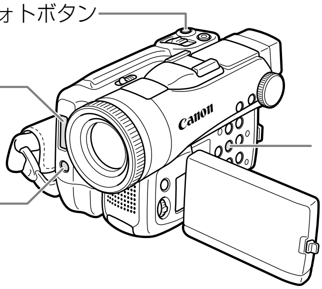


❍ カードカメラモードで640×480の画像サイズで記録するときより、画質は劣ります。
❍ デジタルエフェクト実行中は、カードに記録できません。
❍ メニューで「ワイドTV」を「入」に設定していると、カードには記録できません。

フラッシュを使う

フラッシュを使うと、夜景や室内など、周囲が暗い場所でも静止画をきれいに撮影できます。
さらに、夜や暗い室内などでフラッシュを使って人物を撮影したときに、目が赤く映る「赤目現象」を出にくくします（赤目緩和機能）。

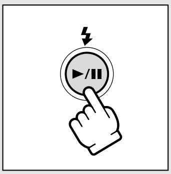
⚡A（オート）	被写体の明るさによって、自動的に発光します。
👁（赤目緩和オート）	「オート」に加えて、撮影前、赤目緩和用にミニビデオライトが点灯します。
⚡（強制発光）	被写体の明るさに関係なく、発光します。
⊘⚡（発光禁止）	発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所で撮影するときなどに使います。



カメラモード 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** カード再生モード

撮影モードは、打上げ花火（スペシャルシーンモード）以外に設定します。

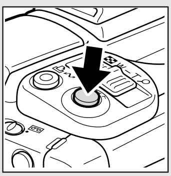
1 ⚡（フラッシュ）ボタンを押す

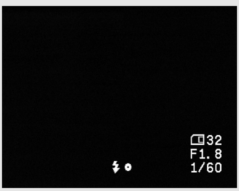




- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。「⚡A」のみ、約4秒後に消えます。

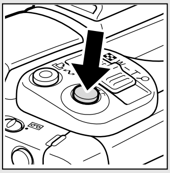
2 フォトボタンを浅く押し続ける





- 「⚡」が緑色で表示されます。
- カメラモードのときは、「静止画記録」を「切」以外に設定し（📖 101）、撮影一時停止中に使います。

3 **フォトボタンを深く押す**



● フラッシュが発光します。

別売のビデオフラッシュライトVFL-1を使う

本機では、内蔵フラッシュよりも強い光を発光する、VFL-1を使用できます。フラッシュの設定のしかたは、内蔵フラッシュと同じです。取り付けかたや使いかたについては、VFL-1の説明書もあわせてご覧ください。

- ❍ フラッシュ撮影可能距離は、約1〜2m（VFL-1の場合は1〜4.5m）です。撮影条件により、距離は変わります。
- ❍ 連写では、フラッシュの光量が減りますので、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- ❍「◎」では、写される人が赤目緩和用のミニビデオライトの発光を見ていないと効果がありません（VFL-1の場合は、撮影前に最初に発光されるフラッシュ発光）。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。
- ❍ 次の場合、フラッシュは発光しません。
  - ・「⚡A」と「◎」の場合、露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
  - ・「⚡A」と「◎」の場合、カメラモードで1/2000秒の高速シャッターを設定しているとき。
  - ・動画を記録しているとき。
  - ・ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
- ❍「⚡」の場合、カメラモードで1/2000秒の高速シャッターを設定しているときは、1/1000秒になり、フラッシュを発光します。
- ❍ 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを使うことをおすすめしません。ワイドコンバーターやテレコンバーターの影が映ります。
- ❍ 次の場合は、フラッシュの設定を変更できません。
  - ・露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
  - ・スティッチアシストモードで2枚目以降を撮影しているとき。
- ❍ スティッチアシストモードでは「◎」は選べません。
- ❍ 本機に別売のビデオライトVL-3またはVFL-1を取り付けて、それぞれの電源を「OFF」以外にしているとき、内蔵フラッシュは発光しません。
- ❍ **AF補助光について**

  フォトボタンを浅く押すと、被写体の明るさによって、ピントを合いやすくするために、AF補助光としてミニビデオライトが点灯することがあります。
  - ・AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
  - ・レストランや劇場などの公共の場所では、周囲への配慮を心がけてお使いください。

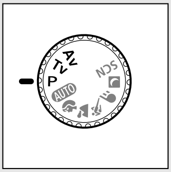
測光方式を選ぶ

（評価測光）	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を分割して測光します。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主な被写体を常に適正な露出にします。
（中央部重点平均測光）	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
（スポット測光）	画面中央部のスポット測光枠（[　]）内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに使います。

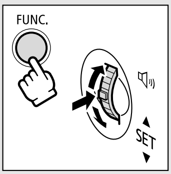
設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 モードダイヤルをP 、Tv 、 Av のいずれかにする



2 測光方式を選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、測光方式マーク ➤ 設定内容を順に選ぶ
- 測光方式マークは、現在設定されている内容が表示されます。

③FUNC.ボタンを押す
- スポット測光を選んだ場合は、「[　]」が出ます。

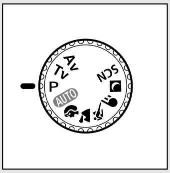
ピントの合わせかたを変える

AF（オートフォーカス）枠の選びかたを変えて、撮影できます。

自動選択（AiAF）	撮影状況によって、9つのAF枠の中から、自動的にAF枠を選んでピントを合わせます。
中央1点	9つのAF枠のうち、中央のAF枠でピントを合わせます。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

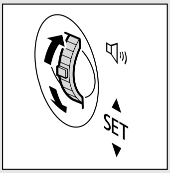
カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 モードダイヤルを AUTO 以外にする



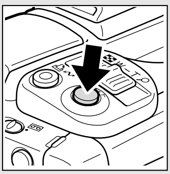
- 打上げ花火（スペシャルシーンモード）を設定しているときは、使用できません。

2 SETボタンを上／下に押す



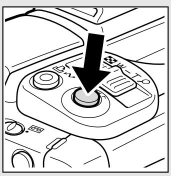
- 「自動選択」の場合は、画面に大きな枠が出ます。
- 「中央1点」の場合は、画面中央に枠が出ます。

3 フォトボタンを浅く押す



- ピントを合わせる枠が出ます。

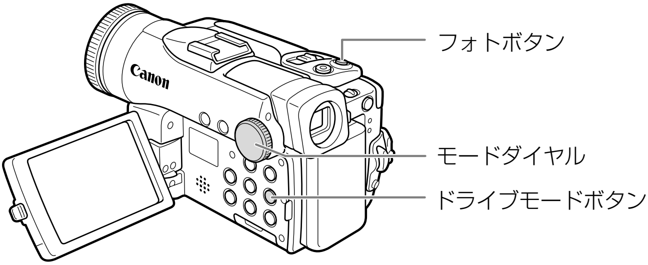
4 フォトボタンを深く押す



デジタルズームを使用時は、AF枠は中央１点に固定されます。

ドライブモードを選ぶ（連写／高速連写／AEB）

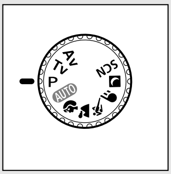
（連写） （高速連写）	フォトボタンを押し続けている間、連続撮影できます（記録枚数については、次ページをご参照ください）。
（AEB）	自動的に露出を約1／2段変えて、3枚の静止画を連続撮影します。標準、暗め、明るめの順で撮影し、最適な露出の静止画を簡単に選べます。 AEBは、Auto Exposure Bracketing（オート エクスポージャー ブラケッティング）の略です。
（単写）	フォトボタンを押すと、1枚の静止画を撮影します。



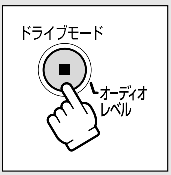
設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 モードダイヤルを AUTO 以外にする



2 ドライブモードボタンを押す





- ボタンを押すたびに、表示が変わります。
- 選んだ設定の表示が出ます。

❍ FUNC. メニューからも設定できます（📖 61）。
❍ FUNC. メニュー表示中は、ドライブモードボタンは使用できません。

連写／高速連写で撮影する

1 フォトボタンを浅く押す



- ピントを合わせます。

2 フォトボタンを深く押し続ける

- フォトボタンを押し続けている間、静止画が連続でカードに記録されます。

❍ 1回の連写で記録できる最大枚数

静止画像サイズ	1秒あたりの記録枚数		連続記録可能枚数
	連写	高速連写	
1632×1224	約2枚	約3枚	約10枚
1280×960	約3枚	約5枚	約10枚
640×480	約3枚	約5枚	約60枚

＊記録できる枚数や1秒あたりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

❍ が出ているときは、１秒あたりの連写枚数が少なくなります。

❍ 内蔵およびビデオフラッシュライトVFL-1（別売）のフラッシュ発光時、連写／高速連写は約2枚/秒になります。

自動的に露出を変えて撮影する（AEB）

1 フォトボタンを浅く押す



- ピントを合わせます。

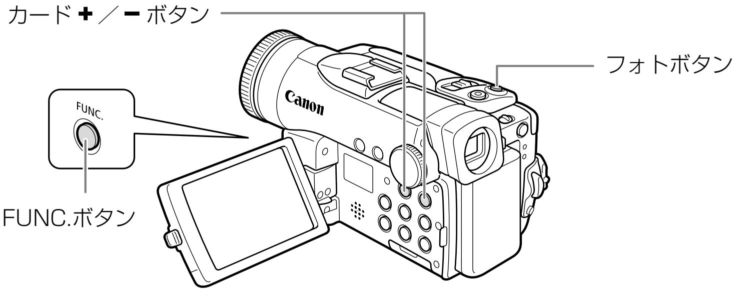
2 フォトボタンを深く押す

- 露出を変えた3枚の静止画が、自動的にカードに記録されます。

AEBでは、3枚連続して記録されますので、カードに十分な空き容量があることを確認してください。

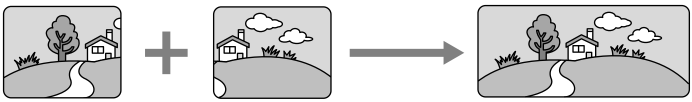
パノラマ写真を撮る（スティッチアシスト）

撮影した静止画を、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているソフトウェア（PhotoStitch）を使ってパソコンでつなぎ合わせて（スティッチ）、パノラマ写真を作成できます。



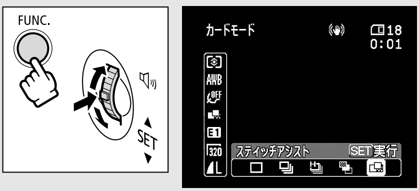
撮影する

パソコンで静止画をつなぎ合わせるときは、隣の静止画にある同じ被写体を探し出して重ね合わせます。重ね合わせやすいように特徴のある被写体（目印になる被写体）を入れて撮影してください。



カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

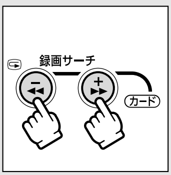
1 スティッチアシストを選ぶ



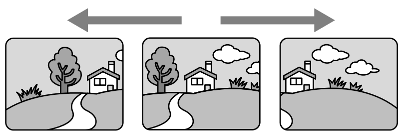
① FUNC.ボタンを押す
② SETボタンを使って、ドライブモードマーク ➤「スティッチアシスト」を順に選ぶ
- ドライブモードマークは、現在設定されている内容が表示されます。

③ SETボタンをまっすぐ押す
- スティッチアシスト画面が出ます。

2 カード＋／－ボタンを押す



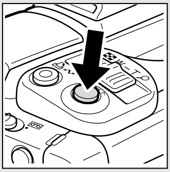
- 撮影方向を選びます。

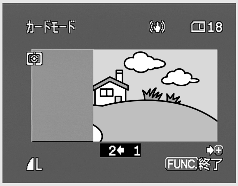


3 撮影モード、ズームを被写体に合わせて設定する

- 必要なときは手動ピント合わせ、露出補正も操作します。
- 2枚目以降の撮影では、撮影モード、ズーム、露出補正の設定は操作できません。

4 フォトボタンを押す





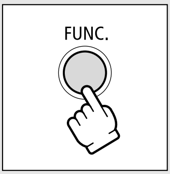
- 最初の静止画を撮影します。
- 画面に撮影している方向と撮影枚数の表示が出ます。

5 撮影した静止画と一部が重なるように、次の静止画を撮影する



- 重なる部分は多少ずれても、パソコンでつなぎ合わせるときに修整されます。
- カード − ボタンを押すと撮影した静止画に戻りますので、撮影し直せます（左方向に撮影しているときは、カード ＋ ボタンを押してください）。
- 最大26枚まで撮影できます。

6 撮影が終わったら、FUNC.ボタンを押す



- スティッチアシスト画面が消えます。
- パノラマ写真の作成のしかたについては、付属のDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

❍ 静止画の重なる部分は、画面の幅の30%〜50%にします。また、上下のズレは、画面の上下の10%以内であれば、自動修整できます。
❍ 重なる部分には動いている被写体が入らないようにしてください。
❍ 被写体が遠くにある静止画と近くにある静止画を合成すると、合成画像がゆがんだり、被写体が二重になることがあります。
❍ ドライブモードボタンを押すと操作が終了するため、ボタンを押さないでください。

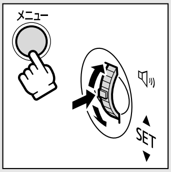
記録した静止画を確認する（静止画確認時間）

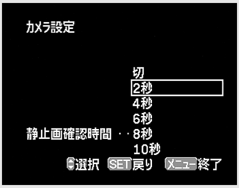
カードに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間（2、4、6、8、10秒）を設定できます。

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1



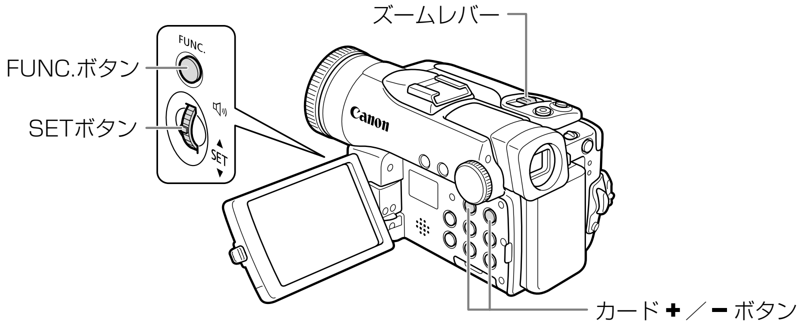


①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カメラ設定」➤「静止画確認時間」➤ 設定内容を順に選ぶ
③メニューボタンを押す

❍ 静止画記録時に、フォトボタンを深く押し続けている間も、記録した静止画を確認できます。
❍ 静止画記録時に静止画を確認している間、または静止画記録直後にFUNC.ボタンを押すと、画像消去（📖 113）、画像プロテクト（📖 114）ができます。
❍ ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。

画像を見る／探す（スライドショー、インデックス画面、カードジャンプ機能）

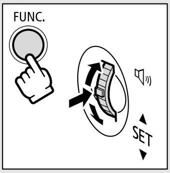
本機では、画像を連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を一度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい画像をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。



画像を順番に再生する（スライドショー）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 スライドショーを選ぶ





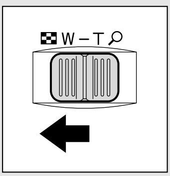
①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、（スライドショー）➤「スタート」を順に選ぶ

- SETボタンをまっすぐ押すと、出ている画像から順番に再生します。
- 停止ボタンを押すと、スライドショーを終了します。

インデックス画面で画像を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 静止画再生中／動画停止中
ズームレバーをW側に押す

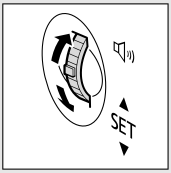




- 6つの画像が出るインデックス画面になります。

次のページへ

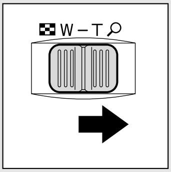
2 SETボタンを上／下に押す





- 「☞」を再生したい画像に合わせます。
- カード＋ ／－ ボタンでインデックス画面を切り換えられます。

3 ズームレバーをT側に引く



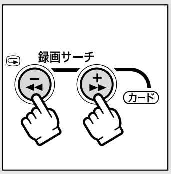
- インデックス画面が終了し、選んだ1枚の画像が画面に出ます。

画像をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

1枚ずつ再生せずに、離れた画像まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した画像の合計枚数（全枚数）と再生している画像が何枚目になるか（表示番号）を表しています（ （表示番号）／（全枚数））。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 カード＋ ／－ ボタンを押し続ける





- ボタンを押している間、表示番号のみが連続的に変わります。
- ボタンを離すと、表示番号の画像が画面に出ます。

画像を消去する（画像消去）

不要になった画像を1枚消去したり、すべての画像を一度に消去したりできます。

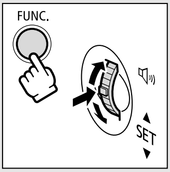
一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に画像を確認してください。

- ❍ プロテクト設定している画像は消去できません。
- ❍ 動画は、最初の場面が静止画で表示されているときに消去できます。動画を再生中／再生一時停止中は、消去できません。

画像を1枚消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　**カード再生モード**

1





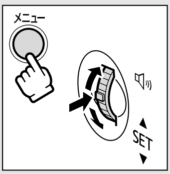
①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、（画像消去）➤「消去」を順に選ぶ
- SETボタンをまっすぐ押すと、画像が消去されます。

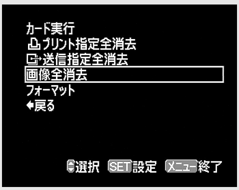
③FUNC.ボタンを押す
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後にFUNC.ボタンを押して設定します。

画像を全て消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

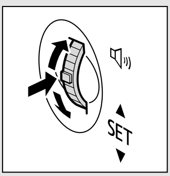
1 「画像全消去」を選ぶ

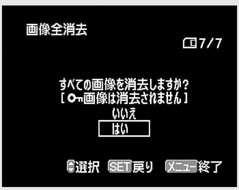




①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カード実行」➤「画像全消去」➤ 設定内容を順に選ぶ

2 「はい」を選び、消去する





①SETボタンを使って「はい」を選び、まっすぐ押す
- （プロテクトした）画像を除いたすべての画像が消去されます。
- 消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。
- メニューボタンを押すと、メニューが消えます。

画像を保護する（画像プロテクト）

大切な画像を誤って消去しないようにするために、画像に誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。

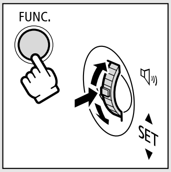
プロテクト設定をしても、カードをフォーマットするとすべての画像は消去されます。

動画は、最初の場面が静止画で表示されているときにプロテクトを設定できます。動画の再生中／再生一時停止中には、設定できません。

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　**カード再生モード**

1





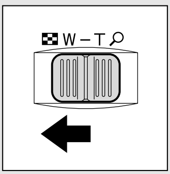
①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、（画像プロテクト）➤「入」を順に選ぶ
- SETボタンをまっすぐ押すと、が出て、消去できなくなります。

③FUNC.ボタンを押す
- カードカメラモードの場合、静止画を確認している間、または静止画記録直後にFUNC.ボタンを押して設定します。
- 設定を解除するときは②で「切」を選びます。

インデックス画面を使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

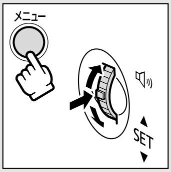
1 **ズームレバーをW側に押す**





- インデックス画面になります。
- プロテクトする画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2 📖 111）。

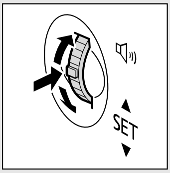
2 「➡ O┳ 画像プロテクト」を選ぶ





①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カード実行」➤「➡ O┳ 画像プロテクト」を順に選ぶ

3 画像をプロテクトする





- SETボタンをまっすぐ押すと「O┳」が出て、消去できなくなります。もう一度押すと、解除できます。
- SETボタンを上／下に押すと、他の画像を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

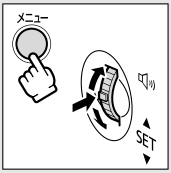
カードを初期化する（フォーマット）

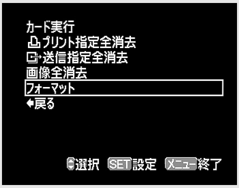
フォーマットは、新しいカードを使うときや、「カードエラーです」というお知らせ表示が出たときに行います。また、カードに記録した画像などの情報すべてを消去するときにも行います。

- ❍ フォーマットを行うと、プロテクト設定した画像まで、すべての情報が消えてしまいます。
- ❍ フォーマットして一度消去した画像などは、もとに戻せません。
- ❍ 付属のカード以外のカードを使用するときは、本機でフォーマットしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

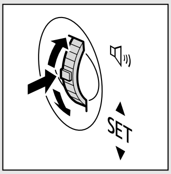
1 「フォーマット」を選ぶ

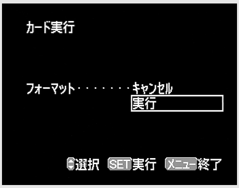




①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カード実行」➤「フォーマット」を順に選ぶ

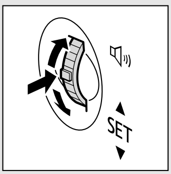
2 「実行」を選ぶ

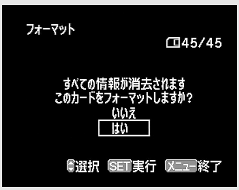




①SETボタンを上／下に押して「実行」を選び、まっすぐ押す
- フォーマットを中止するときは「キャンセル」を選んで、SETボタンをまっすぐ押してください。

3 「はい」を選び、フォーマットする





①SETボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押す
- カードはフォーマットされ、すべての情報が消去されます。

ダビングする

本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング編集できます。また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。

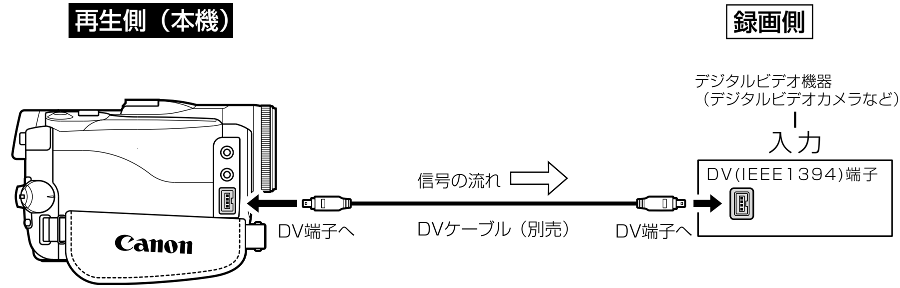
接続のしかた

① 映像/音声端子付きビデオ／S（S1）-映像端子付きビデオへ録画する

接続のしかたは、 44をご覧ください。

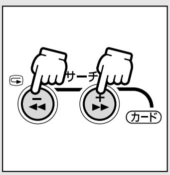
② DV端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

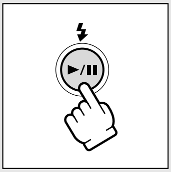
カメラモード ／ **再生(VTR)モード** ／ カードカメラモード ／ カード再生モード

1	**本機** **再生（VTR）モードにする**	● 再生するカセットを入れます。 ● 映像/音声端子を使うときは、設定を確認します（ 44）。
2	**録画機** **録画用カセットを入れ、録画一時停止状態にする**	
3	**本機** **巻戻しボタン／早送りボタンを押して、再生を始める少し手前の位置を探す** 	

次のページへ

編集する

4 本機 再生ボタンを押す

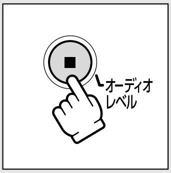


- 再生が始まります。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える

7 本機 停止ボタンを押す



- 再生が終わります。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。

❍ DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣化します。

DV端子付きビデオへ録画する場合

❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

❍ DV（IEEE1394）端子を持つすべてのビデオ機器との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、S-映像端子、映像／音声端子を使用してください。

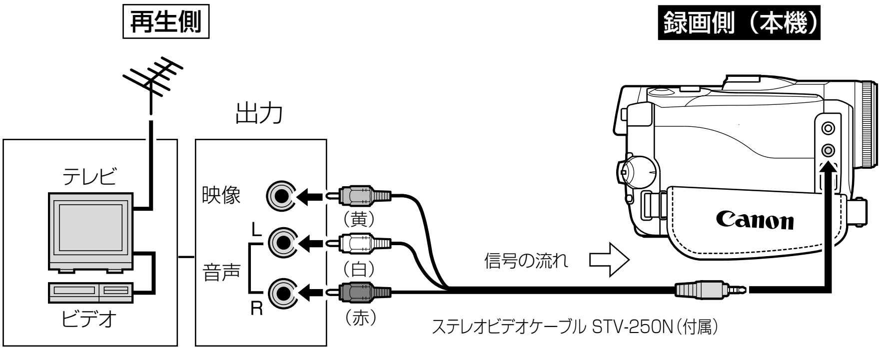
録画する（アナログ入力）

本機を使って、ほかのビデオの映像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。本機のS-映像端子、映像/音声端子にほかの映像機器を接続して映像を入力することを、アナログ入力といいます。アナログ入力する映像は、カードにも記録できます。また、映像の一場面を、静止画にしてカードに記録することもできます。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の説明書もあわせてご覧ください。
S-映像端子付きビデオと接続することもできます（📖 45）。



操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1 **本機** **再生（VTR）モードにする**

- 録画用カセットを入れます。

2 **再生機** **再生するカセットを入れる**

3 **本機** **録画一時停止ボタンを押す**

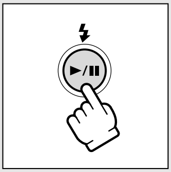


- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

次のページへ

4 再生機　**再生を始める**

5 本機　**録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す**



- 録画が開始されます。

6 本機　**停止ボタンを押す**



- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機　**再生を終える**

アナログ入力する映像をカードに記録する

カードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。静止画の画質と動画の画像サイズは選べます。

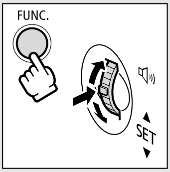
カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード

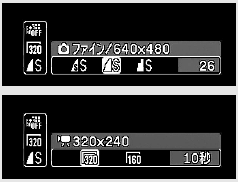
1 本機　**再生（VTR）モードにする**

- カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。

2 本機　**「AV→DV/⇔」の設定を「入」にする（□ 126）**

3 本機 画質や画像サイズを選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、

静止画質マーク ➤ 設定内容を選ぶ
または
動画画像サイズマーク ➤ 設定内容を選ぶ

③FUNC.ボタンを押す

4 再生機 再生するカセットを入れ、再生を始める

5

静止画の場合

① フォトボタンを浅く押し続ける



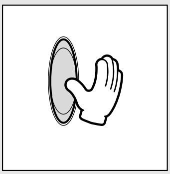
- 画面が静止画になり、画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示されます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

② フォトボタンを深く押す

- カード動作ランプが点滅します。

動画の場合

スタート/ストップボタンを押す



- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、記録は停止します。

❍ アナログ入力をするとき、ヘッドホンは使用できません。
❍ 接続した機器からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります（例：コピー不可の著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等）。

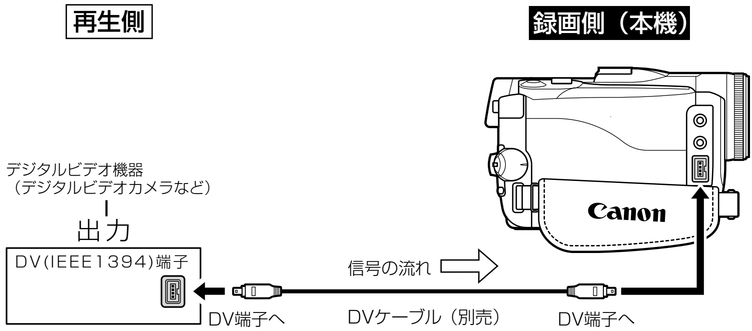
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
❍ カードに記録したときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「ワイドTV」で撮影した映像をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。

DV録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集できます。
本機のDV端子にほかの映像機器を接続して映像を入力することを、DV入力といいます。DV入力する映像は、カードにも記録できます。また、映像の一場面を、静止画にしてカードに記録することもできます。

接続のしかた

接続するほかの映像機器の説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 **本機** **再生（VTR）モードにする**

- 録画用カセットを入れます。
- 「AV→DV」の表示が出ているときは、メニューで「AV→DV/ 」の設定を「切」にします（📖 126）。

2 **再生機** **再生するカセットを入れる**

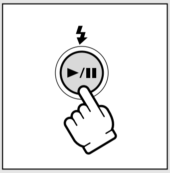
3 **本機** **録画一時停止ボタンを押す**



- 画面で映像を確認できます。

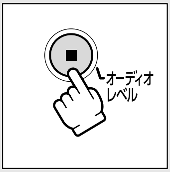
4 再生機 **再生を始める**

5 本機 **録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す**



- 録画が開始されます。

6 本機 **停止ボタンを押す**



- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機 **再生を終える**

DV入力する映像をカードに記録する

カードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。静止画の画質と動画の画像サイズは選べます。

カメラモード | **再生(VTR)モード** | カードカメラモード | カード再生モード

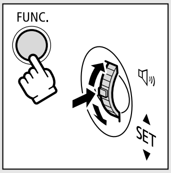
1 本機 **再生（VTR）モードにする**

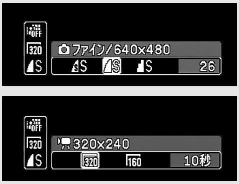
- カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。
- 「AV→DV」の表示が出ているときは、メニューで「AV→DV/USB」の設定を「切」にします（📖 126）。

編集する

次のページへ

2 本機 画質や画像サイズを選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、

静止画質マーク ➤ 設定内容を選ぶ
または
動画画像サイズマーク ➤ 設定内容を選ぶ

③FUNC.ボタンを押す

3 再生機 再生するカセットを入れ、再生を始める

4

静止画の場合

① フォトボタンを浅く押し続ける



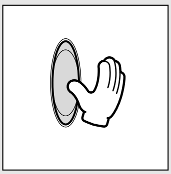
- 画面が静止画になり、画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示されます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

② フォトボタンを深く押す

- カード動作ランプが点滅します。

動画の場合

スタート/ストップボタンを押す



- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、記録は停止します。

❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
❍ 本機のUSB端子には何も接続しないでください。
❍ 同じ端子でも、信号の方式が異なる場合があります（🕮 161）。DV端子から入力して本機で記録できる信号は、DV 方式のSD方式で、SPまたはLPモードで記録された場合のみです。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
❍ カードに記録したときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「ワイドTV」で撮影した映像をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。

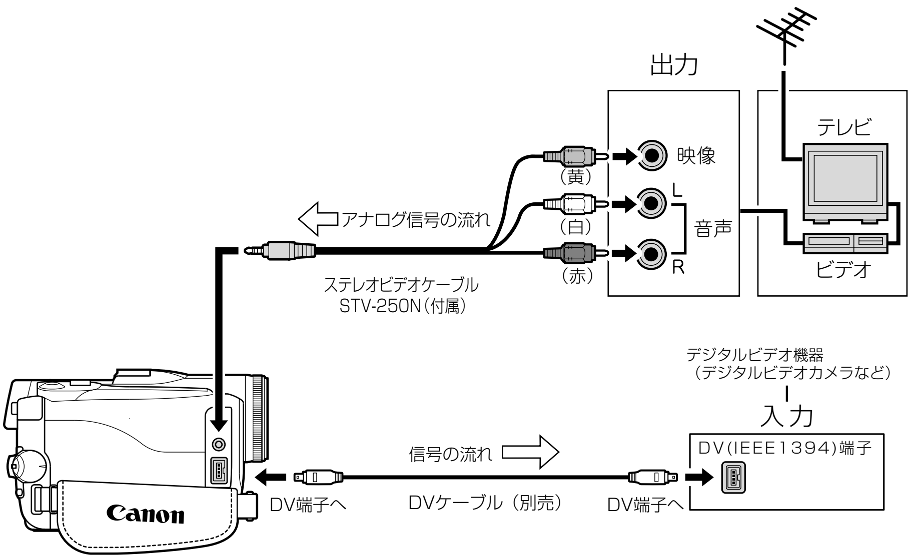
アナログ信号をデジタル信号に変える（アナログ-デジタル変換）

本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用端子になります。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから入力する

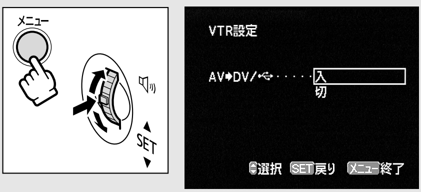
接続は、各機器の電源を切って行います。DVカセットは、本機から取り出しておきます。接続するほかの映像機器の説明書もあわせてご覧ください。
S-映像端子付きビデオと接続することもできます（□ 45）。



設定のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1



① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「VTR設定」➤「AV→DV/⇔」➤ 設定内容を順に選ぶ
③ メニューボタンを押す
● 「入」を選ぶと、「AV→DV」の表示が出ます。

- ❍ ヘッドホンは使用できません。
- ❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります（例：コピー不可の著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等）。
- ❍ 通常は「AV→DV/USB」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。
- ❍ DV（IEEE1394）端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ Windows XP/Hi-Speed USB2.0をお使いのかたは、Canon USB Videoドライバーをインストールすることで、USB端子を使用してパソコンに出力できます（□ 149）。

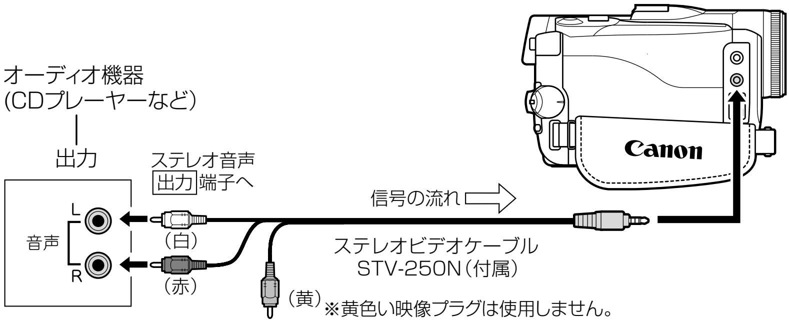
音声を追加する（アフレコ）

本機は、撮影したテープにあとから音声を追加できます。CDプレーヤーなどのオーディオ機器などから録音したり（音声入力）、本機の内蔵マイク、または外部マイクを使って音声を録音します（マイク入力）。リモコンで操作します。

接続のしかた

① 映像／音声端子に接続してアフレコする場合（音声入力）

接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。



② マイクを使ってアフレコする（マイク入力）

接続のしかたは、 📖 60をご覧ください。

操作のしかた

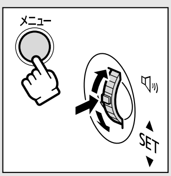
カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード

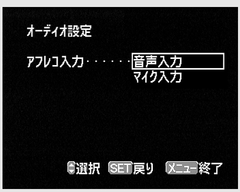
1 本機に撮影済みカセットを入れる

- 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用します。

2 再生（VTR）モードにする

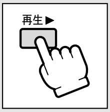
3 アフレコする方法を選ぶ





① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「アフレコ入力」➤ 設定内容を順に選ぶ
③ メニューボタンを押す

4 再生ボタンを押して、音声を追加する場面の開始位置を探す

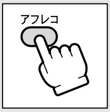


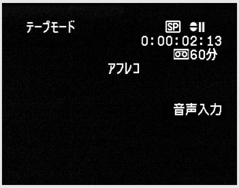
- 音声を追加する場面を探すときに、いろいろな再生機能を使うと便利です（□ 40）。

5 一時停止ボタンを押す



6 リモコンのアフレコボタンを押す





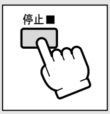
- 「アフレコ」の表示が出ます。

7 一時停止ボタンを押す



- アフレコが始まります。
- 「マイク入力」を選んだときは、マイクに向かって話してください。
  「音声入力」を選んだときは、オーディオ機器を再生してください。

8 アフレコを終了する位置で、停止ボタンを押す



❍ 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録された部分があると、アフレコが中断されます。

❍ 内蔵マイクを使用するときは、MIC端子に何も接続せず、アドバンストアクセサリーシューには別売の指向性ステレオマイクロホンDM-50を接続しないでください。DM-50を使用するときは、MIC端子には何も接続しないでください。

❍ DV端子を使ってアフレコはできません。

❍ 次の場合、音質が劣化することがあります。
・ほかのビデオカメラで録画されたテープでアフレコしたとき
・テープの同じ場所で3回以上くり返してアフレコしたとき

次のページへ

- ❍ 映像は、液晶画面で確認できます。
- ❍「音声入力」の場合、S-映像端子を使って接続したテレビでも確認できます。アフレコする音声は、内蔵スピーカーで確認できます。
- ❍「マイク入力」の場合、映像/音声端子を使って本機をテレビに接続すると、映像はテレビ画面で、音声はテレビに接続したヘッドホンで確認できます。S-映像端子を使ってテレビに接続すると、映像はテレビで、音声は本機に接続したヘッドホンで確認できます。
- ❍ あらかじめアフレコを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからアフレコすると、その位置で自動的に停止します。

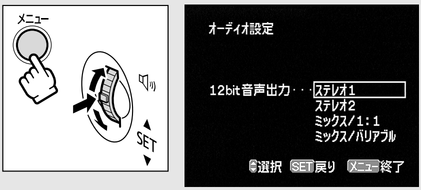
アフレコした音声を再生する(12bit記録テープ)

撮影時の音声とアフレコした音声を切り換えられます。また、2つの音声を同時に再生することもできます。

ステレオ1	撮影時の音声のみ再生する
ステレオ2	アフレコされた音声のみ再生する
ミックス／1：1	ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
ミックス／バリアブル	ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

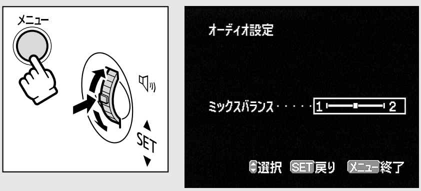
1



① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「12bit音声出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
③ メニューボタンを押す
- 選んだ設定内容の表示が出ます。

「ミックス／バリアブル」を選んだ場合

1



① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「オーディオ設定」➤「ミックスバランス」を順に選ぶ
- ステレオ1とステレオ2のバランスは、SETボタンを上／下に押して調整します。

③ メニューボタンを押す

一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切ると12bit音声出力は「ステレオ1」に戻ります。

テープの映像をカードに記録する

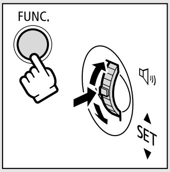
テープに記録されている映像を、カードに記録できます。映像の1場面を静止画として、カードに記録することもできます。

テープの映像を記録する

動画サイズは選べます。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1　動画サイズを選ぶ

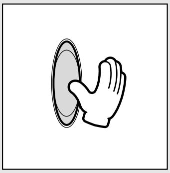




①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、動画サイズマーク ➤ 設定内容を選ぶ
③FUNC.ボタンを押す

2　再生／再生一時停止中

スタート/ストップボタンを押す



- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、記録は停止します。

編集する

❍ テープの映像をカードに記録し始めたときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「ワイドTV」で撮影した動画をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。

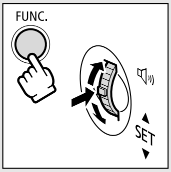
次のページへ

テープの映像を静止画として記録する

カードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。画質は選べます。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード

1 静止画の画質を選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、静止画質マーク ➤ 設定内容を選ぶ
③FUNC.ボタンを押す

2 フォトボタンを浅く押し続ける

テープ再生中

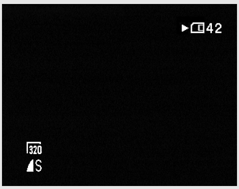




- 画面に記録可能枚数などのカードの情報が表示され、再生一時停止になります。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐに静止画記録が始まります。

3 フォトボタンを深く押す





- カード動作ランプが点滅します。
- 再生一時停止中にフォトボタンを深く押しても、静止画を記録できます。

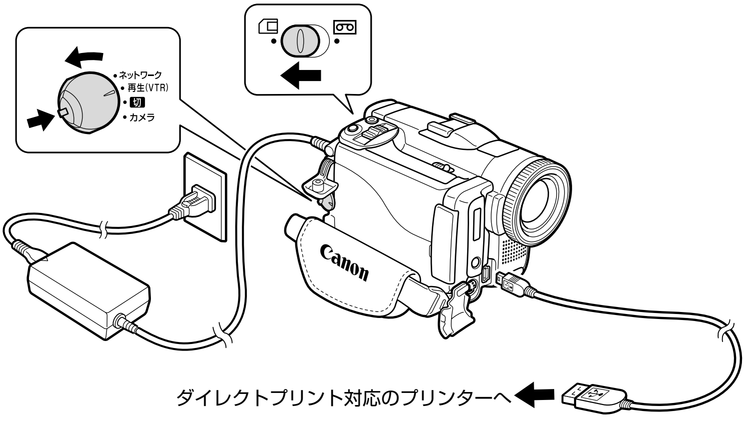
❍ テープの映像をカードに記録し始めたときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍「ワイドTV」で撮影した動画をカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。

静止画を印刷する（ダイレクトプリント）

別売のダイレクトプリント対応のプリンターを接続すると、パソコンを使用することなくカードに記録した静止画を簡単な操作で、きれいに印刷できます。また、プリント指定による連続印刷ができます（145）。
本機で使用できるプリンターは、次のとおりです。

キヤノン製プリンター	PictBridge対応SELPHY　CPシリーズ／PIXUSシリーズ／SELPHY DSシリーズ	PictBridge
	Bubble Jet ダイレクト対応PIXUSシリーズ	BUBBLE JET DIRECT
	CPダイレクト対応CPプリンター	DIRECT PRINT
キヤノン製以外のPictBridge対応プリンター		PictBridge

ダイレクトプリント対応のプリンターと接続する



1 本機

電源スイッチを「切」にし、静止画を記録したカードを入れる

2 プリンター

電源を入れる

3 本機

カード再生モードにする

印刷する

次のページへ

4 接続ケーブルで、本機とプリンターを接続する



- 本機の画面に が点滅した後、 、 または が表示されます。
  動画や本機で再生できない静止画のときには、表示されません。
- （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に表示されます。

本機とプリンターを接続したときに、 が点滅し続ける（約1分以上）場合、または ／ ／ が表示されない場合、ビデオカメラとプリンターの接続が正しくありません。このような場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してから接続ケーブルを接続してください。

- ❍ 印刷できない画像のときは、「 」が表示されます。
- ❍ 接続ケーブルについては、プリンターの説明書をご覧ください。
  キヤノンCPプリンターCP-10／CP-100には、接続ケーブルが2本付属しています。本機と接続するときは端子に「 」がついているケーブル（DIF-100）を使います。
- ❍ 本機にはコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用コンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- ❍「印刷する」の画面のイラストは、接続しているプリンターによって異なります。

（イージーダイレクト）ボタンを使って印刷する

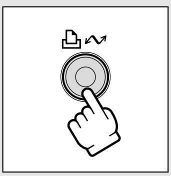
静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、 ボタンを押すだけで印刷できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 印刷する静止画を選ぶ

静止画再生中（1枚）

2 ボタンを押す

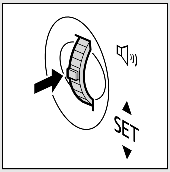


- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 印刷中は ボタンが点滅し、終了すると点灯します。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード＋／－ボタンで静止画を選んでください。

印刷設定を選んで印刷する

印刷枚数やペーパーサイズなどの印刷設定を選んで印刷できます。印刷設定の内容は、接続するプリンターによって異なります。

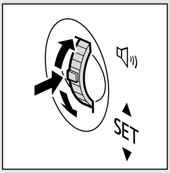
1 SETボタンをまっすぐ押す



- 印刷設定画面が出ます。
- プリンターによっては、「処理中...」の表示が出た後に、印刷設定画面が出ます。

2 印刷設定を選ぶ（📖 137）

3 「プリント」を選び、SETボタンを押す



- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード ＋／－ ボタンで静止画を選んでください。

- ❍ 次のような場合、静止画がダイレクトプリント対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
  - ・ パソコンで作成／加工した静止画をカードに書き込んだとき
  - ・ 本機で記録したカードの静止画をパソコンで直接加工したとき
  - ・ カードの静止画のファイル名を変更したとき
  - ・ 本機以外のビデオカメラなどで画像を記録したカードを本機に入れたとき
- ❍ 印刷中に、次の操作はしないでください。
  - ・ テープ/カード切換スイッチを切り換える
  - ・ ビデオカメラ、プリンターの電源を切る
  - ・ ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜く
  - ・ カードカバーを開けたり、カードをビデオカメラから抜く
- ❍ 本機とプリンターを接続しているときに、「処理中...」が長時間表示される場合、接続ケーブルを一度抜き、接続し直してください。

次のページへ

❍ **印刷を中止するとき**

印刷中にSETボタンをまっすぐ押します。確認画面が出ますので、SETボタンで「OK」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

・ キヤノン製プリンター　PIXUS／SELPHY DSシリーズの場合：印刷が中断され、印刷中のペーパーが排紙されます。
・ キヤノン製プリンター　CPシリーズの場合：印刷を開始した静止画は中止できません。次の印刷が中止になり、再生画面に戻ります。

❍ **印刷中に異常が発生したとき**

「インクがありません」、「ペーパーが詰まりました」、「ペーパーがありません」などのお知らせ表示（📖 164）が本機の画面に出ます。

・ キヤノン製プリンター　PIXUS／SELPHY DSシリーズの場合：お知らせ表示の内容を解決します。印刷が自動で再開されないときは、［続行］を選んでSETボタンをまっすぐ押してください。［続行］を選択できないときは、［中止］を選んでSETボタンをまっすぐ押して、印刷し直してください。プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
・ キヤノン製プリンター　CPシリーズの場合：SETボタンで「中止」または「再開」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。「再開」が表示されない場合は、「中止」を選び、印刷し直します。プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

以上の操作をしても印刷が再開できないときは、次の操作をしてください。

① 接続ケーブルを抜く
② ビデオカメラの電源スイッチを一度「切」にしてから「再生（VTR)」にする
③ 接続ケーブルを接続する

❍ **印刷が終了したら**

① 接続ケーブルをビデオカメラとプリンターから抜く
② ビデオカメラの電源を切る

印刷設定を選ぶ

印刷枚数の設定方法は、すべてのプリンター共通です。
その他の項目の設定方法は、接続しているプリンターによって異なります。接続後、ビデオカメラの画面左上に表示されるマークをご確認のうえ、必要なページをご参照ください。



 （📖 138）

 （📖 140）

 （📖 142）

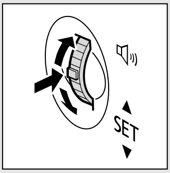
印刷枚数を選ぶ

印刷枚数は、99枚まで設定できます。

1

印刷設定画面

（印刷枚数）を選ぶ

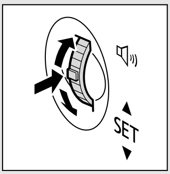




- SETボタンを上／下に押して（印刷枚数）を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

2

枚数を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して、印刷枚数を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

印刷設定の選びかた

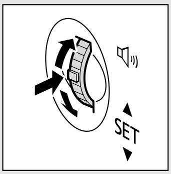
ペーパー設定	ペーパーサイズ	プリンターによって異なります
	ペーパータイプ	フォト、高級フォト、標準設定
	レイアウト	フチなし、フチあり、2／4／8／9／16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）		入、切、VIVID、NR、VIVID+NR、標準設定

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。
- 「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。プリンターの説明書をご覧ください。
- 「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
- VIVID、NR、VIVID＋NRは、キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズをお使いの場合に設定できます。
- 「2／4／8／9／16面配置」は、「ペーパーサイズ」で「はがき」を選んだ後に、「レイアウト」で使用する配置を選んでください。

ペーパー設定を選ぶ（ペーパーサイズ、ペーパータイプ、レイアウト）

1 印刷設定画面

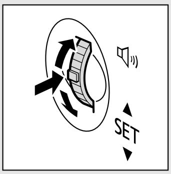
「ペーパー設定」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して「ペーパー設定」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

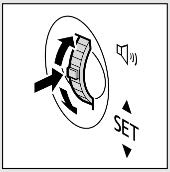
2 **ペーパーサイズを選ぶ**

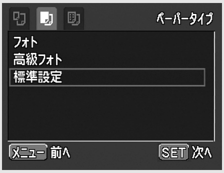




- SETボタンを上／下に押して使用するペーパーサイズを選び、SETボタンをまっすぐ押します。

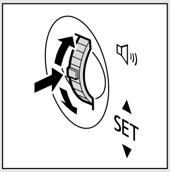
3 ペーパータイプを選ぶ





● SETボタンを上／下に押して使用するペーパータイプを選び、SETボタンをまっすぐ押します。

4 レイアウトの設定を選ぶ





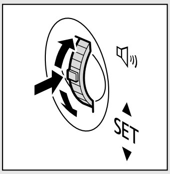
● SETボタンを上／下に押してレイアウトの設定を選び、SETボタンをまっすぐ押します。
● 印刷設定画面に戻ります。

日付を印刷する

1

印刷設定画面

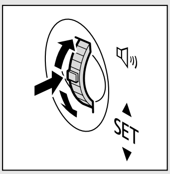
⏲（日付印刷）を選ぶ





● SETボタンを上／下に押して「⏲」を選び、SETボタンをまっすぐ押すと、日付印刷が設定できます。

2 日付印刷の設定を選ぶ





● SETボタンを上／下に押して日付印刷の設定を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

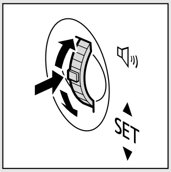
画像を自動補正する（画像補正）

画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターで、画像補正をして印刷したいときに設定します。

1

印刷設定画面

（画像補正）を選ぶ

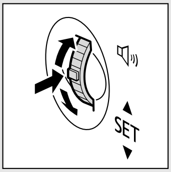




- SETボタンを上／下に押して「 」を選び、SETボタンをまっすぐ押すと、画像補正が設定できます。

2

画像補正の設定を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して画像補正の設定を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

印刷設定の選びかた

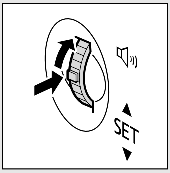
「スタイル」で設定できる内容は、次のとおりです。

ペーパー設定		ペーパーサイズをL判、2L判、はがき、A4、カードから選ぶ。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

- ❍ ペーパーについての詳細は、プリンタの説明書をご覧ください。
- ❍ 静止画の画像サイズにより、次のペーパーサイズをおすすめします。
  1632×1224： 2L判サイズ、はがきサイズ、カードサイズ、L判サイズ
  1280×960： はがきサイズ、カードサイズ、L判サイズ
  640×480： カードサイズ
- ❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。

1 印刷設定画面

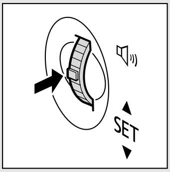
「スタイル」を選ぶ





- SETボタンを上に押して「スタイル」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

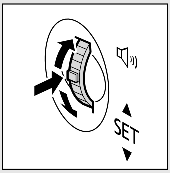
2 「□」を選ぶ





- 「□（ペーパー設定)」が選ばれていることを確認して、SETボタンをまっすぐ押します。

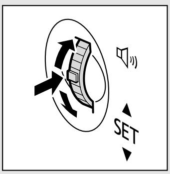
3 ペーパーサイズを選ぶ





- SETボタンを上／下に押して使用するペーパーサイズを選び、SETボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

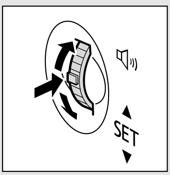
4 「▩」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して、「▩（フチ)」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

5 「フチあり」または「フチなし」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して「▩（フチあり)」または「▩（フチなし)」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

印刷設定の選びかた

「スタイル」で設定できる内容は、次のとおりです。

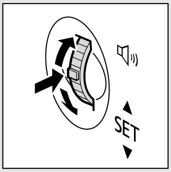
画面設定	1画面	ペーパー1枚に静止画を1枚印刷する。
	分割画面	ペーパー1枚に同じ静止画を8枚印刷する。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。
日付	入	日付を入れて印刷する。
	切	日付を入れずに印刷する。

- ❍「画面設定」で「分割画面」を選ぶと、「フチ」、「日付」の設定はできません。
- ❍「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。「フチなし」／「分割画面」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されることがあります。
- ❍「分割画面」はカードサイズのペーパーに印刷するときのみ、設定できます。
- ❍ CPプリンターCP-10／CP-100は、日付印刷には対応していません。

1

印刷設定画面

「スタイル」を選ぶ

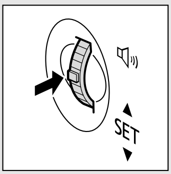




- SETボタンを上／下に押して、「スタイル」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

2

「」を選ぶ

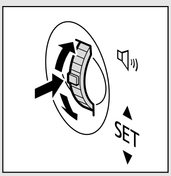




- 「（画面設定）」が選ばれていることを確認して、SETボタンをまっすぐ押します。

3

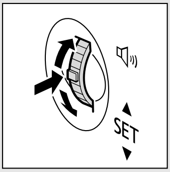
画面設定を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して「（1画面）」または「（分割画面）」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

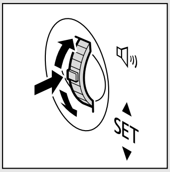
4 「 」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して「 （フチ)」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

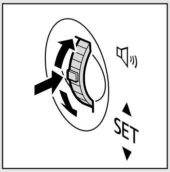
5 「フチあり」または「フチなし」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して「 （フチあり)」または「 （フチなし)」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

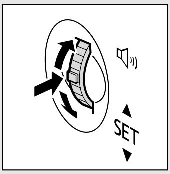
6 「 」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して「 （日付)」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。

7 日付印刷の設定を選ぶ





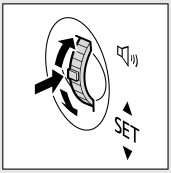
- SETボタンを上／下に押して日付印刷の設定を選び、SETボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

印刷領域を選ぶ（トリミング）

スタイルやペーパー設定などの印刷設定を行った後に、トリミングを設定します。

1 印刷設定画面

「トリミング」を選ぶ



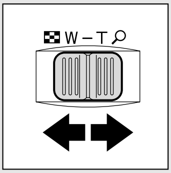


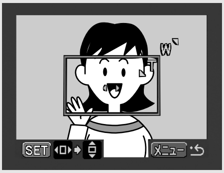
- SETボタンを上／下に押して、「トリミング」を選び、SETボタンをまっすぐ押します。
- トリミング設定画面になります。

2

印刷する範囲を選ぶ

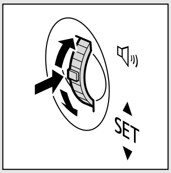
① ズームレバーをW/T側に動かす

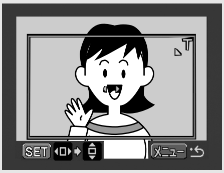




- 画面に表示される枠内が、印刷されます。
- ズームレバーをW側に動かすと、枠は大きくなります。T側に動かすと、枠は小さくなります。
- 枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に動かすと、枠は消えて、トリミングは解除されます。メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

② SETボタンを押す





- SETボタンを上／下に押すと、枠が移動します。SETボタンをまっすぐ押すと、枠の移動する方向（上下または左右）や向き（縦横）を切り替えられます。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

❍ **枠の色について（キヤノン製プリンター　CPシリーズのみ）**

枠は、3色あります。トリミングするときの目安にしてください。

白：トリミングの設定が行われていません。（初期設定）

緑：推奨する印刷領域です。画像サイズやペーパーサイズ、フチの設定によっては出ないことがあります。

赤：印刷は可能ですが、画像が推奨範囲よりも拡大されるため、画質が劣化します。

❍ トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

❍ トリミングの設定は、次の操作をすると解除されます。

・ビデオカメラの電源を切る

・接続ケーブルを抜く

・トリミングの枠を、最大より大きくする

プリント指定して印刷する

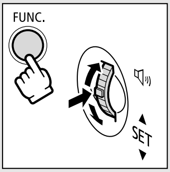
カードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画とその枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（ディーポフ）（Digital Print Order Format）に対応しています。本機で使用できるプリンター（ 133）で自動印刷できます。 プリント指定は、最大998枚の静止画まで設定できます。

①-1 設定のしかた

本機にUSBケーブルとDVケーブルを接続せずに、操作をしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

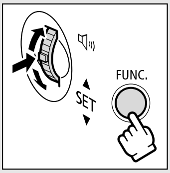
1 「プリント指定」を選ぶ





①FUNC.ボタンを押す
②プリント指定マークを選び、SETボタンをまっすぐ押す

2 プリント指定をする





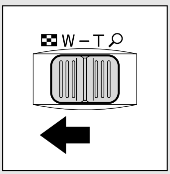
①SETボタンを上／下に押して枚数（1枚以上）を選び、まっすぐ押す
- プリント指定されます。

②FUNC.ボタンを押す
- プリント指定を消去するときは、枚数を「0」にします。

①-2 インデックスを画面を使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 ズームレバーをW側に押す

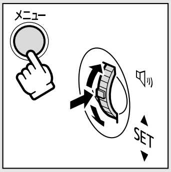


- インデックス画面になります。
- 印刷する静止画を選びます（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2 111）。

印刷する

次のページへ

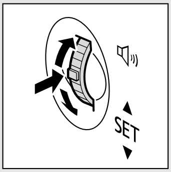
2 「➡ プリント指定」を選ぶ





① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「カード実行」➤「➡ プリント指定」を順に選ぶ

3 プリント指定をする



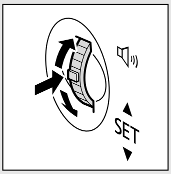


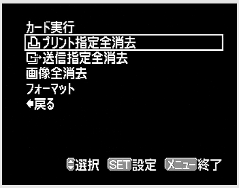
- SETボタンをまっすぐ押すと「 」が付きます。SETボタンを上／下に押して、枚数を選びます。
- SETボタンをまっすぐ押すと、 プリント指定されて次の静止画を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。
- プリント指定を消去するときは、枚数を「0」にします。

①-3 すべての プリント指定を消去する

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | **カード再生モード**

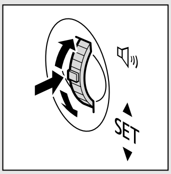
1 「 プリント指定全消去」を選ぶ

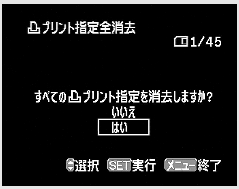




① メニューボタンを押す
② SETボタンを使って、「カード実行」➤「 プリント指定全消去」を順に選ぶ

2 「はい」を選び、 プリント指定を消去する





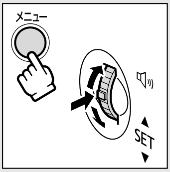
① SETボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押す
- すべての プリント指定が消去されます。

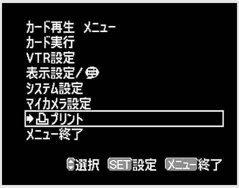
② 印刷する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 本機とプリンターを接続する（📖 133）

2 「➡🖨 プリント」を選ぶ

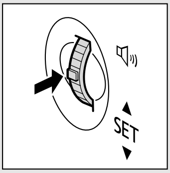


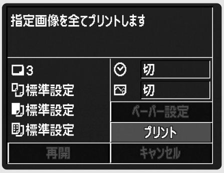


①メニューボタンを押す
②SETボタンを上／下に押して「➡🖨 プリント」を選び、まっすぐ押す

- 🖨 印刷設定画面が出ます。
- 🖨プリント指定をしていないときは、「🖨プリント指定が必要です」が出ます。
- 🖨プリント指定による全印刷枚数が表示されます。

3 「プリント」が選ばれていることを確認して、SETボタンをまっすぐ押す





- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。

印刷する

❍ 接続するプリンターによっては、手順3の前に、スタイルやペーパー設定などの印刷設定ができます（📖 137）。

❍ **印刷を中止するとき／印刷中に異常が発生したとき（📖 136）**

❍ **印刷を再開するとき**

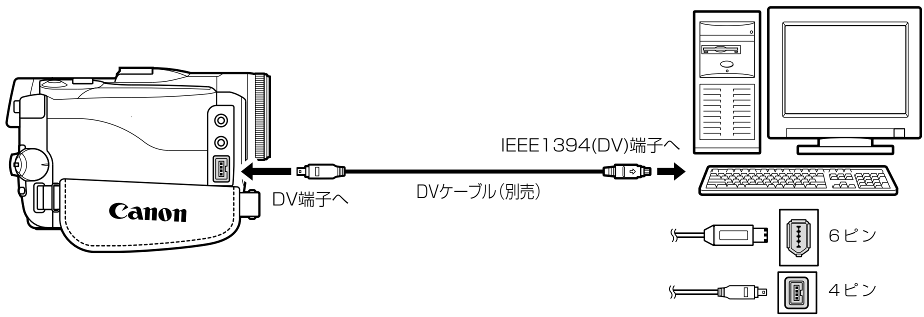
・「カード再生メニュー」を開き、「➡🖨プリント」を選びます。印刷設定画面から「再開」または「続行」を選び、SETボタンをまっすぐ押すと、残りの静止画が印刷できます。

・次の場合は、印刷は再開できません。
再開する前に、🖨プリント指定を変更した場合
再開する前に、🖨プリント指定をした静止画を削除した場合

テープの映像を取り込む

DVケーブルを使ってパソコンに取り込む

本機と、IEEE1394（DV）端子を標準で搭載しているパソコン／IEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で記録した映像をパソコンに取り込めます。テープの映像をパソコンに取り込むためには、パソコン／キャプチャーボードに付属の編集ソフトウェアをご使用ください。ソフトウェアの説明書もあわせてご覧ください。また、ドライバーは、Windows 98 Second Edition以降のWindows OS、またはMac OS 9以降のMacOSに標準で搭載されており、本機をパソコンに接続すると、自動的にインストールされます。



- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 本機とパソコンを接続したときにパソコンで操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
  ① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
  ② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
- 本機とパソコンをDVケーブルで接続するときは、USB端子になにも接続しないでください。また、パソコンに他のIEEE1394機器を接続しないでください。正しく動作しないことがあります。

- コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。

USBケーブルを使ってパソコンに取り込む（Windows XP／Hi-Speed USB2.0のみ）

パソコンのHi-Speed USB2.0端子を使って、テープに記録した映像をパソコンに取り込んで編集したり、編集した映像をテープに記録できます。また、本機に接続したビデオデッキや8ミリビデオカメラのアナログ信号をデジタル信号に変換して、パソコンに取り込めます。テープに記録した映像をパソコンに取り込むためには、Canon USB VideoドライバーとWindows Movie Maker 2 (バージョン2.0.3312.0)が必要です。詳しくは、Digital Video Software 使用説明書をご覧ください。

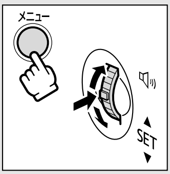
カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード

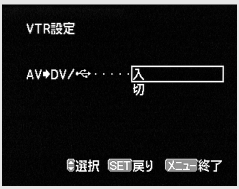
1 パソコンにCanon USB Videoドライバーをインストールする

2 本機にコンパクトパワーアダプターを接続する

3 再生（VTR）モードにする

4 「AV→DV/」の設定を確認する





- テープに記録した画像をパソコンに取り込んだり、パソコンで編集した画像をテープに記録する時は、「切」にします。
  アナログ－デジタル変換をするときは、「入」にします。

5 付属のUSBケーブルを、パソコンとビデオカメラのUSB端子に接続する

- 「AV→DV/ 」の設定により、画面に次の表示が出ます。
  切： 入力
  入：AV→

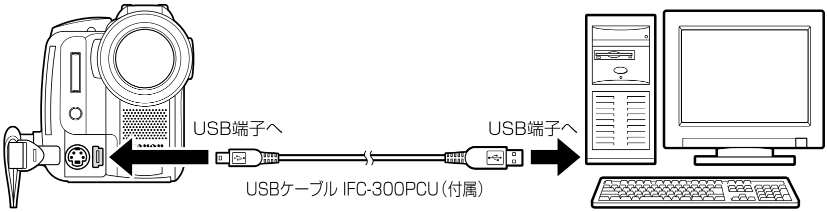
❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。

❍ USBケーブルを接続する前に、DVケーブルを抜いてください。正しく動作しないことがあります。

カードの画像を取り込む

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うとカードに記録した画像をパソコンに取り込んだり、印刷したりできます。詳しくはDigital Video Software使用説明書をご覧ください。
Windowsをお使いの場合：⎙〜（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に画像をパソコンに転送できます。

接続のしかた



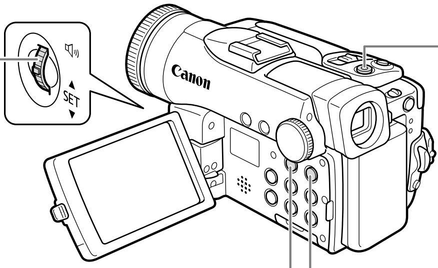
- ❍ カードの画像を読み出したり、カードへ書き込みしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、次のことを必ず守ってください。カードのデータを破壊することがあります。
  - ・カードカバーを開けたり、カードを出したりしない。
  - ・USBケーブルを絶対に抜かない。
  - ・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
  - ・テープ/カード切換スイッチを切り換えない。
- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ カード内およびカードからハードディスクに読み込んで保存した画像は、大切なオリジナルのデータファイルです。画像のファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに、必ずファイルをコピーし、コピーした画像を使用してください。
- ❍ パソコンとDVケーブルで接続しているときは、USB接続する前にDVケーブルを抜いてください。パソコンが正しく動作しないことがあります。

- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ Windows XPとMac OS Xをお使いの場合
  本機は、PTP（Picture Transfer Protocol（ピクチャー トランスファー プロトコル））に対応していますので、ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、静止画（JPEGのみ）をパソコンに取り込めます。

ダイレクト転送をする（Windowsのみ）

（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、カードに記録した画像を簡単にパソコンに転送できます。

全画像…	カードに記録したすべての画像を転送する
未転送画像…	まだ転送していない画像を転送する
送信指定画像…	送信設定した画像を転送する
画像を選んで転送…	画像を選んで転送する
パソコンの背景…	パソコンのデスクトップの背景にする画像を転送する



準備する

初めてビデオカメラをパソコンに接続するときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンに接続するだけで、準備は完了です。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1	**パソコンにDigital Video Softwareをインストールする**	● 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「Digital Video Softwareをインストールする」をご覧ください。
2	**カード再生モードにする**	
3	**付属のUSBケーブルを、パソコンとビデオカメラのUSB端子に接続する**	● 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」をご覧ください。
4	**自動起動を設定する**	● 詳しくは、Digital Video Software使用説明書の「CameraWindowを起動する」をご覧ください。 ● ビデオカメラの画面に、ダイレクト転送メニューが出て、ボタンが点灯します。

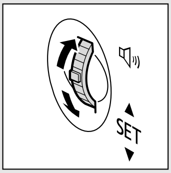
パソコンに接続する

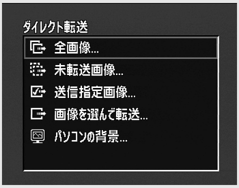
画像を転送する（全画像、未転送画像、送信指定画像）

送信指定画像を転送するときはあらかじめ、送信指定しておきます（□ 154）。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

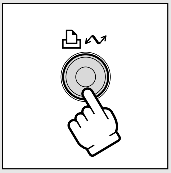
1 「全画像」、「未転送画像」または「送信指定画像」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して項目を選びます。

2 （イージーダイレクト）ボタンを押す

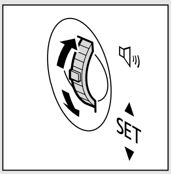


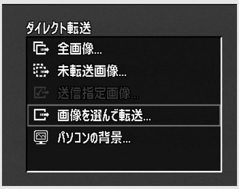
- カードに記録した画像がパソコンに転送され、ZoomBrowser EXのメインウィンドウに表示されます。
- 転送が終わると、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。
- 転送を中止するときは、SETボタン（キャンセル）をまっすぐ押すか、メニューボタンを押します。

画像を転送する（画像を選んで転送、パソコンの背景）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

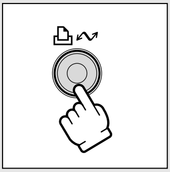
1 「画像を選んで転送」または「パソコンの背景」を選ぶ





- SETボタンを上／下に押して項目を選びます。

2 ボタンを押す



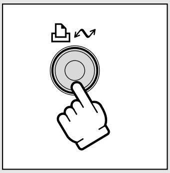
3 カード+／−ボタンを押す





- 転送する画像を選びます。

4 ボタンを押す



- 「画像を選んで転送」：画面に出ている画像がパソコンに転送され、ZoomBrowser EXのメインウィンドウに表示されます。
  次に転送する画像をカード＋／− ボタンで選べます。
- 「パソコンの背景」：画面に出ている画像がパソコンに転送され、パソコンのデスクトップに表示されます。
- 転送中は ボタンが点滅します。
- メニューボタンを押すと、ダイレクト転送メニュー画面に戻ります。

- ❍ ボタンの代わりにSETボタンを押しても、画像を転送できます。「全画像」「未転送画像」「送信指定画像」を選んでSETボタンを押したときは、確認画面が出ます。SETボタンで「OK」を選び、まっすぐ押します。
- ❍ ボタンを使ってダイレクト転送メニューで選んだ項目は、電源スイッチを切り換えても憶えています。
- ❍ ビデオカメラとパソコンを接続したときに画像を選ぶ画面が出た場合は、メニューボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。
- ❍ SDメモリーカードの場合、誤消去防止ツマミが「LOCK」になっていると、画像を転送しても、転送済み画像になりません。

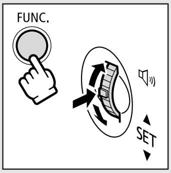
送信指定する

カードに記録した画像の中から、パソコンに転送する画像を指定できます。本機はDPOF(ディーポフ)
（Digital Print Order Format）の機能の1つである送信指定に対応しています。
送信指定は、最大998枚の画像まで設定できます。
本機にUSBケーブルとDVケーブルを接続せずに、操作をしてください。

①-1　設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　**カード再生モード**

1





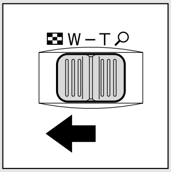
①FUNC.ボタンを押す
②SETボタンを使って、（送信指定）➤「入」を順に選ぶ
- SETボタンをまっすぐ押すと、送信指定されます。

③FUNC.ボタンを押す
- 設定を解除するときは②で「切」を選びます。

①-2　インデックス画面を使う

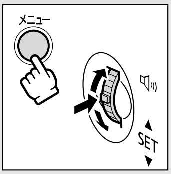
カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　**カード再生モード**

1　ズームレバーをW側に押す



- インデックス画面になります。
- 送信指定する画像を選びます（「インデックス画面で画像を選ぶ」操作2　📖111）。

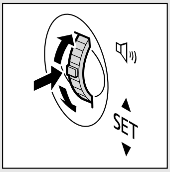
2　「➡ 送信指定」を選ぶ





①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カード実行」➤「➡ 送信指定」を順に選ぶ

3 送信指定する



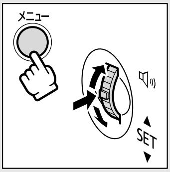


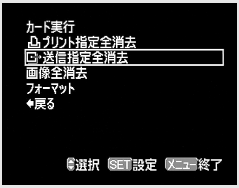
①SETボタンをまっすぐ押す
- 送信指定されます。
- もう一度、SETボタンを押すと、設定は解除されます。
- SETボタンを上／下に押すと、他の画像を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

①-3 すべての送信指定を消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

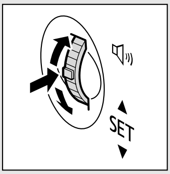
1 「 送信指定全消去」を選ぶ

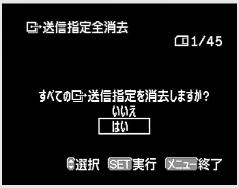




①メニューボタンを押す
②SETボタンを使って、「カード実行」➤「 送信指定全消去」を順に選ぶ

2 「はい」を選び、 送信指定を消去する

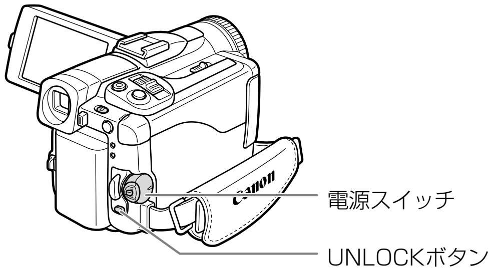




①SETボタンを上／下に押して「はい」を選び、まっすぐ押す
- すべての 送信指定が消去されます。

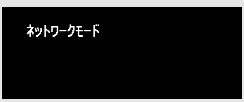
ネットワークモードを使う（DV Messenger Version2）

Windows XP専用のDV Network Software（DV Messenger）を使うと、インターネット経由でパソコンからビデオカメラを操作できます。ビデオカメラを使ってテレビ電話をしたり、リモート留守番機能を使って、外出先からビデオカメラで自宅の映像を確認できます。
下記のアドレスのホームページから、DV MessengerとDV Network Software使用説明書をダウンロードしてください。詳しくは、DV Network Software使用説明書をご覧ください。
http://cweb.canon.jp/dv/dvmessenger/index-j.html



DV Messengerの準備

DV Messengerは、USB端子、DV（IEEE1394）端子のいずれでも使用できます。

1	**パソコンを起動する**	
2	**DV Messengerをインストールする**	● USBケーブルでパソコンに接続するときは、Canon USB Videoドライバーも必要です（📖 149）。
3	**本機にコンパクトパワーアダプターを接続する**	
4	**UNLOCKボタンを押しながら、電源スイッチを「ネットワーク」にする**	
5	**USBケーブルまたはDVケーブルで、本機とパソコンを接続する** 	● 本機の画面に「ネットワークモード」が表示されます。
6	**DV Messengerを起動する**	

本機とパソコンをDVケーブルで接続するときは、USB端子になにも接続しないでください。また、パソコンに他のIEEE1394機器を接続しないでください。正しく動作しないことがあります。

❍ ネットワークモードでは、ビデオカメラをパソコンから操作しますので、一部の機能を除き、ビデオカメラ本体では操作できません。
ビデオカメラ本体で操作できる機能は、以下のとおりです。
DV Messengerでカメラ操作用パネルを表示している場合：
・ ズーム
・ ピント合わせ（DV Messengerで手動ピント合わせを設定しているとき）
DV MessengerでVTR操作用パネルを表示している場合：
・ 内蔵スピーカーの音量調整
以下の機能は、動作しません。
・ 手ぶれ補正
・ デジタルズーム
・ フラッシュ

❍ リモコンでの操作はできません。

故障かな？

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときは	どうするの？	📖
電源	電源が入らない。	• バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。 • バッテリーパックを正しく装着し直してください。	20
電源	途中で電源が切れる。	• バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。 • 何も操作をしない状態が5分以上続きました。もう一度電源を入れてください。	20 30
電源	グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。	• バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。 • グリップカバーを完全に開いてください。	20 23
電源	カセット入れが動作中に止まって動かない。	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。	20
電源	画面がついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。	20
電源	バッテリーパックが充電できない。	• 0℃～40℃の温度で充電してください。 • バッテリーパックを使用直後、バッテリーパックの温度が高くなり、充電温度範囲外になっています。バッテリーパックをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから充電を開始してください。 • バッテリーパックが故障しています。別のバッテリーパックをお使いください。	20
撮影・再生	操作ボタンを押しても動かない。	• 電源を入れてください。 • カセットを入れてください。	30 23
撮影・再生	画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	本機はマイコンを使用した機器です。外部からのノイズや静電気などにより画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。電源を取りはずし、しばらくしてから取り付けて操作してください。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押してください。RESETボタンを押すと、すべての設定が解除されます。	–
撮影・再生	画面で「」が点滅する。	カセットを入れてください。	23

	こんなときは	どうするの？	📖
撮影・再生	画面で「[battery icon]」が点滅する。	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電したバッテリーパックと交換してください。	20
撮影・再生	画面で「[condensation icon]」が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付きました。「結露について」をご覧ください。	162
撮影・再生	画面で「カセットを取り出してください」が点滅する。	カセットを取り出して、入れ直してください。	23
撮影・再生	リモコンが動作しない。	• メニューで「リモコンセンサー」を「入」にしてください。 • リモコンの電池が消耗しました。新しい電池と交換してください。	23
撮影・再生	画面にノイズが出る。	プラズマテレビの近くで本機を使っているときは、テレビから離してください。	–
撮影・再生	テレビの放送画面にノイズが出る。	テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離してください。	–
撮影	「[warning icon]」が赤く点滅する。	本機が故障しています。サービスセンターにご相談ください。	–
撮影	画面に映像が映らない。	カメラモードにしてください。	30
撮影	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	• 世界時計のエリアと日時を設定してください。 • 内蔵のリチウム電池を充電し、日付／時刻を設定し直してください。	28 172
撮影	スタート／ストップボタンを押しても録画しない。	• カメラモードにしてください。 • カセットを入れてください。 • テープが終わっています（画面で「[tape icon] END」が点灯）。テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れてください。 • カセットが録画できない状態です（画面で「[tape icon]」が点滅）。カセットの誤消去防止ツマミを確認してください。	30 23 39 171
撮影	ピントが合わない。	• ピントの自動調整が苦手な被写体です。手動でピントを合わせてください。 • ファインダーの視度調整レバーで、画像がはっきり見えるように調整してください。 • レンズが汚れています。最初にブロアでレンズ表面のゴミ、ホコリを拭き除き、レンズを傷つけないように乾いた柔らかい布で軽く拭いて汚れを取り除いてください。ティッシュペーパーを使わないでください。	56 25 175

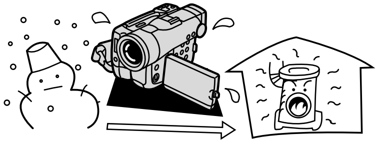
	こんなときは	どうするの？	📖
撮影	音が歪んで聞こえる。	大きな音の近く（打上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んで記録されることがあります。メニューで「マイクATT」を「入」にするか、録音レベルを手動で調整すると適切に録音できることがあります。	87
撮影	音が実際より小さく記録される。	• 大きな音の近く（打上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が実際より小さく記録されることがあります。録音レベルを手動で調整すると適切に録音できることがあります。 • メニューで「マイクATT」を「切」にしてください。	87
撮影	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体（一部に高輝度な部分がある被写体）を撮影すると、縦に帯が出る。	CCDのスミア現象で、故障ではありません。	–
撮影	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整してください。	25
再生	再生ボタンを押しても再生しない。	• カセットを入れてください。 • 再生（VTR）モードにしてください。 • テープが終わっています（画面で「END」が点灯）。テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れてください。	23 39
再生	テレビに映像が出ない。	• メニューで「AV/ヘッドホン」を「AV」にしてください。 • メニューで「AV→DV/」を「切」にしてください。	44 126
再生	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	• テレビのテレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにしてください。 • ビデオヘッドが汚れています。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングしてください。 • コピー制限されたテープを再生またはダビング録画しようとしています。操作を中止してください。	44 174 –
再生	再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量が「切」になっています。SETボタンで調整してください。	42
再生	ヘッドホンから雑音しか聞こえない。	メニューで「AV/ヘッドホン」を「ヘッドホン」にしてください。	43

	こんなときは		どうするの？	📖
再生	テープを再生一時停止している途中で、テープが停止する。	➡	テープを再生したり、アフレコするときなど、再生一時停止の状態が約4分30秒続くと、テープとヘッドの保護のために、テープは停止します。操作を続けるときは、再生し直し、一時停止ボタンを押してください。	39
カード	カードが入らない。	➡	カードの向きを確認して、正しい向きでカードを入れてください。	24
カード	カードに記録できない。	➡	• カードを入れてください。 • カードの容量がいっぱいです。不要な画像を消去してください。 • カードがフォーマットされていません。カードをフォーマットしてください。 • ファイル番号が最大になっていて、ファイル名が作成できません。メニューで「番号リセット」を「する」にし、新しいカードを入れてください。 • SDメモリーカードの場合、カードが記録できる状態になっていることを確認してください。	24 113 116 81 24
カード	カードが再生できない。	➡	• カード再生モードにしてください。 • カードを入れてください。	41 24
カード	画像を消去できない。	➡	• 画像のプロテクト設定を解除してください。 • SDメモリーカードの場合、カードが記録できる状態になっていることを確認してください。	114 24
カード	(カードアイコン)が赤く点滅する。	➡	カードエラーです。電源を切り、カードを出し入れしてください。それでも点滅が続くときは、カードをフォーマットしてください。	116
印刷	本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない。	➡	本機をカード再生モードにして、接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直してください。	–
編集	他のビデオ機器とDV端子で接続して、本機での録画ができない。	➡	• メニューで「AV→DV/(USBアイコン)」を「切」にしてください。 • 信号方式が異なります。アナログ入力では録画できる場合がありますので、接続した機器の説明書をご覧ください。	126 –

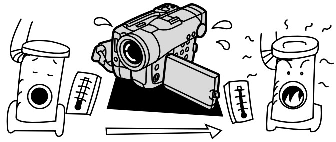
結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

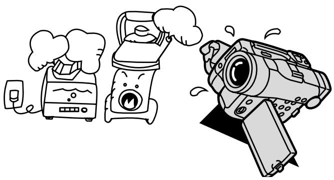
・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき



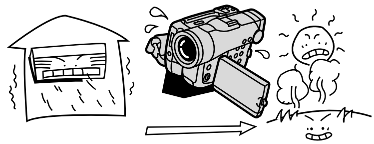
・ 寒い部屋を急に暖房したとき



・ 湿度の高い部屋の中



・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき



結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、「」が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、「」が点滅します。



カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチとカセット取り出しスイッチのみ働きます）。カセットを中に入れたまま放置すると、テープを傷める可能性があります。また、結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面の「」や電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

メッセージが出たら？

お知らせ表示(約4秒間表示されます)

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（📖 28)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（📖 20)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止ツマミをRECに切り換えてください（📖 171)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（📖 23)。
入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子に、またはUSBケーブルがUSB端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（📖 122、149)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（📖 162)。
結露しています カセットを取り出してください	ビデオカメラの内部に水滴がついています（📖 162)。カセットを取り出してください。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻すか、取り出してください（📖 39)。
記録フォーマットが異なります 再生できません	HDV方式で記録されているテープです。再生できません。
記録フォーマットが異なります テープを確認してください	HDV方式で記録されているテープです。アフレコできません。
テープを確認してください [記録モード]	長時間録画モードで記録された部分です。アフレコできません（📖 128)。
テープを確認してください [オーディオモード]	16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません（📖 128)。
テープを確認してください [録画していません]	記録されていない部分のため、アフレコできません（📖128)。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（📖 174)。
カードがありません	カードがビデオカメラ本体に入っていません（📖 24)。
カードカバーがあいています	カバーを閉じてください。
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SDメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SDメモリーカードの誤消去防止のツマミを記録できる状態に切り換えてください。
画像がありません	カードに再生する画像がありません。
カードエラーです	カードにエラーがあり、記録、再生できません。 一時的にカードエラーが起きる場合があります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて□が赤色で点滅するときは、電源を切り、カードを出し入れしてください。□が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがいっぱいです	カードに空き容量がありません。別のカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
ファイル名が作成できません	ファイル番号やフォルダー番号が最大になりました。

この画像は記録できません	アナログ入力した映像をカードに記録するときに、信号の状態によっては記録できないことがあります。
この画像は再生できません	再生できない画像タイプ、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとしました。
起動画面作成中です	起動画面を作成しています。
この画像は起動画面にできません	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を起動画面に設定しようとしました。
送信指定エラー	送信指定の設定可能な画像の枚数（998枚）を超えました（154）。
転送できません	動画は「パソコンの背景」では転送できません。
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	USBケーブルを抜いて、カードの静止画像が1800枚以下になるまで静止画を消去してから、USBケーブルを接続し直してください。パソコンの場合、OSの設定によっては、パソコンのモニターに画面が出ることがあります。このような場合は、画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直してください。

著作権保護信号

コピー制限されています 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されています。再生できません。
コピー制限されています 記録できません	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が含まれています。記録できません。または、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れています（119、126)。

ダイレクトプリント対応プリンターの接続時に出るお知らせ表示

本機とダイレクトプリント対応プリンターを接続時に、本機の画面に次のお知らせ表示が出ることがあります。対処方法については、プリンターの説明書をあわせてご覧ください。
キヤノン製プリンターPIXUS／SELPHY DSシリーズの場合、操作パネルや接続したテレビに表示されるエラー番号やエラーメッセージも、プリンターの説明書でご確認ください。

ペーパーエラー	ペーパーに異常があります。 印刷できないサイズのペーパーがプリンターに取り付けられているか、または指定されたペーパーで印刷できないインクが取り付けられています。 また排紙トレイが閉じているときは、開けてください。
ペーパーがありません	プリンターにペーパーが正しく入っていない、またはペーパーがありません。 カセットに対応しているプリンターの場合、給紙切り替えボタンでペーパーがセットされている給紙先を指定してください。
ペーパーが詰まりました	印刷中にペーパーが詰まりました。 ［中止］を選び印刷を中止します。ペーパーを取り除いた後、ペーパーをセットし、プリンターのリセットボタンを押してください。

ペーパーが変更されています	ペーパーを選んでから印刷を開始するまでの間に、ペーパーサイズが変わりました。
ペーパーの種類が違います	プリンターで使用できないペーパーを選んでいます。使用できるペーパーを選んでください。
指定外のペーパーです	本機で扱えないペーパーがプリンターに取り付けられました。
インクエラー	インクに異常があります。
インクがありません	インクが正しくセットされていない、またはインクがありません。
インクが残りわずかです	インクの交換時期が近づいています。［続行］を選ぶと、印刷を再開します。
インクカセットが異常です	インクカセットに異常があります。
ペーパーとインクが不一致です	指定された用紙で使用できるインクではありません。
廃インクタンクが満杯です	［続行］を選ぶと印刷を再開しますが、お早めにご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、廃インクタンク（廃インク吸収体）の交換を依頼してください。
ファイルエラー	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像です	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像が＊枚ありました	本機以外、または異なる画像タイプで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を＊枚DPOF設定で印刷しようとしました。
🖨 プリント指定が必要です	🖨 プリント指定していない静止画を、カード再生メニューの「➡🖨 プリント」を使って印刷しようとしました。
🖨 プリント指定エラー	🖨 プリント指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えました（📖 145)。
トリミングできない画像です	本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがあります。
トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「スタイル」の設定を変更しました。
プリンタートラブル発生	[中止]を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルを接続してください。プリンターの状態を確認してください。 それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

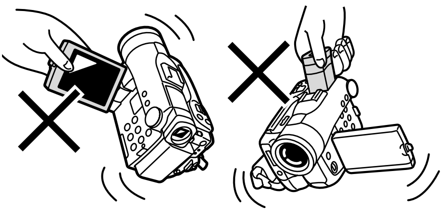
メッセージが出たら？ーつづき

プリントエラー	「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認してください。 プリンターの状態を確認してください。 それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
ハードウェアエラー	[中止]を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。 プリンターの状態を確認してください。 また、バッテリーを使用できる機種でバッテリーが消耗している場合には、いったんプリンターの電源を切り、バッテリーを交換後、電源を入れ直してください。それでもエラーが表示されるときは、ご購入になった販売店または修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。
プリンターバッテリー切れです	プリンターの電池がなくなりました。
通信エラー	通信中にエラーが発生しました。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切ります。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルを接続してください。 ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認してください。 または、大量の画像が記録されたカードを使って印刷しようとしました。画像の枚数を減らしてください。
設定を確認してください	ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっています。
サイズを選びなおしてください	ビデオカメラとプリンターでペーパーサイズの設定が異なっています。
プリンターは使用中です	使用中です。プリンターの状態を確認してください。
プリンターは準備中です	準備中です。しばらくして表示が消えない場合は、プリンターの状態を確認してください。
紙間レバー位置が不正です	紙間レバー位置を正しい位置に直してください。
プリンターカバーが開いています	プリンターのカバーを閉じてください。
プリンターヘッド未装着	プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良です。プリンターの説明書をご覧ください。

取り扱い上のご注意

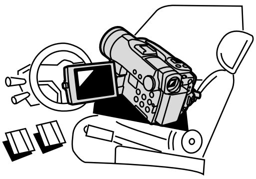
ビデオカメラについて

液晶画面やファインダーをつかんで、本機を持ち上げない



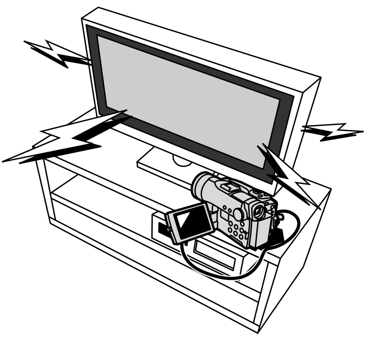
高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。



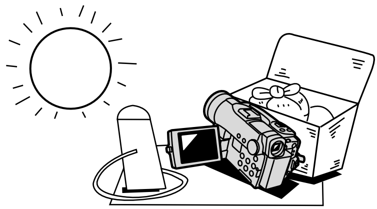
強い磁気の発生する場所で使わない

テレビの上、プラズマテレビ、携帯電話、テレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影や再生、操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。



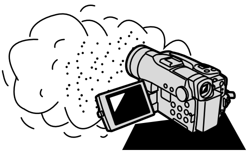
太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。



ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

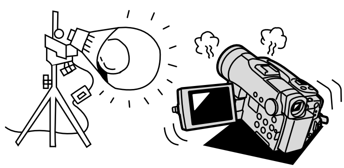


水や泥、塩分に注意する

本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

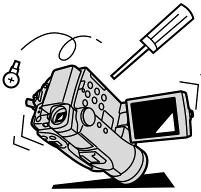
照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。



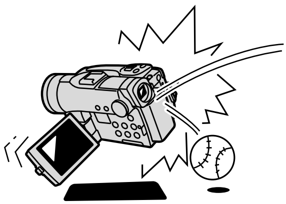
分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。



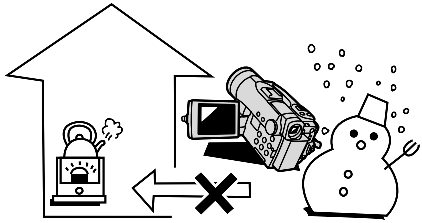
振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。



極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（ 162）の指示に従ってください。

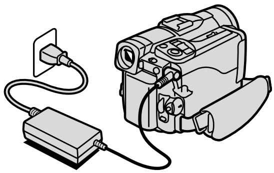


バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

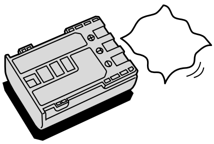
必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。



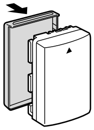
端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

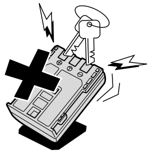


持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。



（図A）



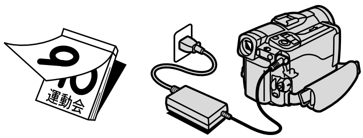
（図B）

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。



充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

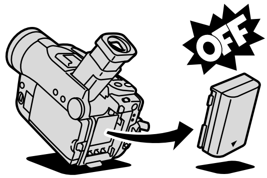
常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

こまめに電源を切って使う

- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

使用しないときは、ビデオカメラからバッテリパックを取りはずす

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。



バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

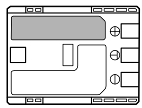
・ 湿度の低い室温で保管する。
・ 1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「 」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「 」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。

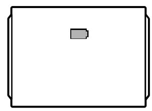
例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーをラベルの青が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

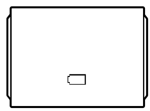


端子カバーの取り付け後

充電した場合



充電していない場合



・ この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
・ リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
　キヤノン サポートページ　http://canon.jp/support
・ 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

Li-ion

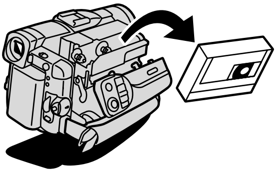
ビデオカセットについて

カセットは使用後、必ず巻戻す

テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

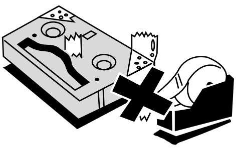
カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない



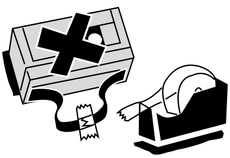
セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。



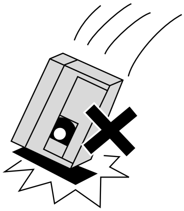
テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。



カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ、故障の原因となります。



カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

ヘッド汚れの原因となります。

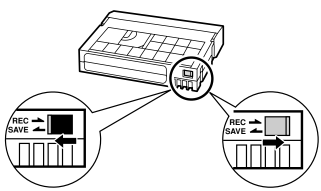
金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEにしてください。誤消去防止ツマミをRECに戻せば、再び録画できます。

・ カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「」が赤く点滅します。



SAVE (録画できない)　　REC (録画できる)

カードについて

新規にカードを購入した際には、本機でフォーマットを行う

パソコンなど本機以外でフォーマットしたカードは、正常に使えないことがあります。

カードに記録した画像などのデータは、パソコンで外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておく

カードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

カード動作ランプが点滅中は絶対にカードを出したり、ビデオカメラなどの電源を切ったり、ビデオカメラの電源を取りはずしたりしない

強い磁気の発生する場所で使わない

高温、多湿の場所に放置しない

分解しない

ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えない

極端な温度差にさらさない

温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。

カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしない

正しくない方向に無理に入れない

カードには表裏、前後の区別があり、破損の恐れがあります。

ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしない



コイン型リチウム電池について

プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れる

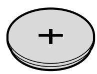
接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れる

金属のピンセットなどでつかまない

ショートします。

分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしない

破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください（地域によって異なります）。

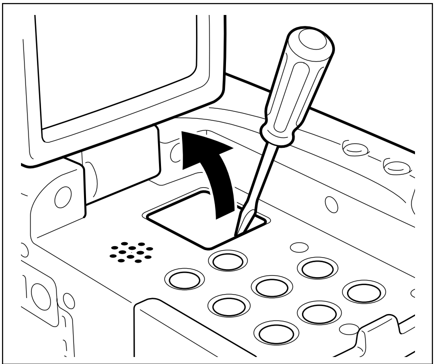


内蔵の充電式リチウム電池について

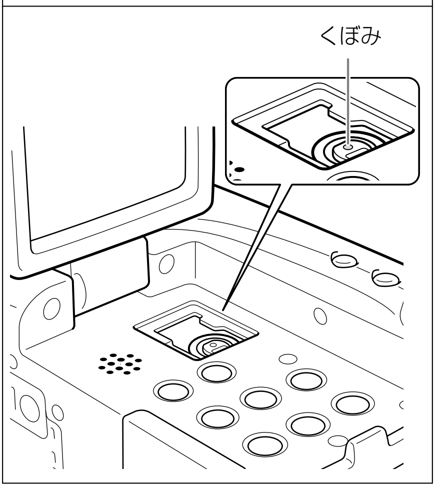
本機は、充電式リチウム電池を内蔵していて、日付などの設定が保持されます。内蔵のリチウム電池は、本機を使っている間に充電されますが、使用時間が短いと少しずつ放電され、本機を使わない期間が3ヶ月くらい過ぎると、完全に放電してしまいます。その場合は、内蔵のリチウム電池を充電してください。充電するときは、本機をコンパクトパワーアダプターに接続し、24時間放置してください（電源スイッチは「切」）。

内蔵の充電式リチウム電池を取りはずす

ビデオカメラを廃棄するときは、内蔵のリチウム電池を取りはずしてください。



❶ ピンセットやマイナスドライバーを使って、カバーをはずす



❷ 先の尖ったものを、リチウム電池の丸いくぼみ部分に置き、左右に揺らしながら押し出す

- ビデオカメラを廃棄するために内蔵のリチウム電池を取り出すとき以外は、カバーをはずさないでください。
- 内蔵のリチウム電池を取り出すときは、本機から電源を取りはずしてください。
- 取り出したリチウム電池の廃棄のしかたについては、170ページをご参照ください。

ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください［ヘッドよごれ］」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像



ビデオヘッドが汚れているときの画像



ヘッドクリーニングするときは

❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

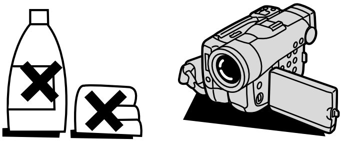
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセット、カードをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

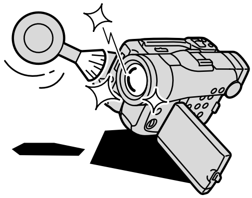
お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。



レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、自動ピント合わせがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

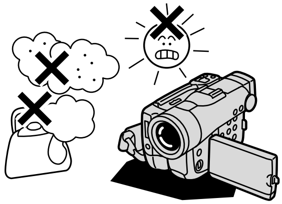


ファインダーが汚れたときは

ブロアーでファインダー表面のゴミやホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

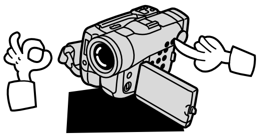
長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



各部のチェック

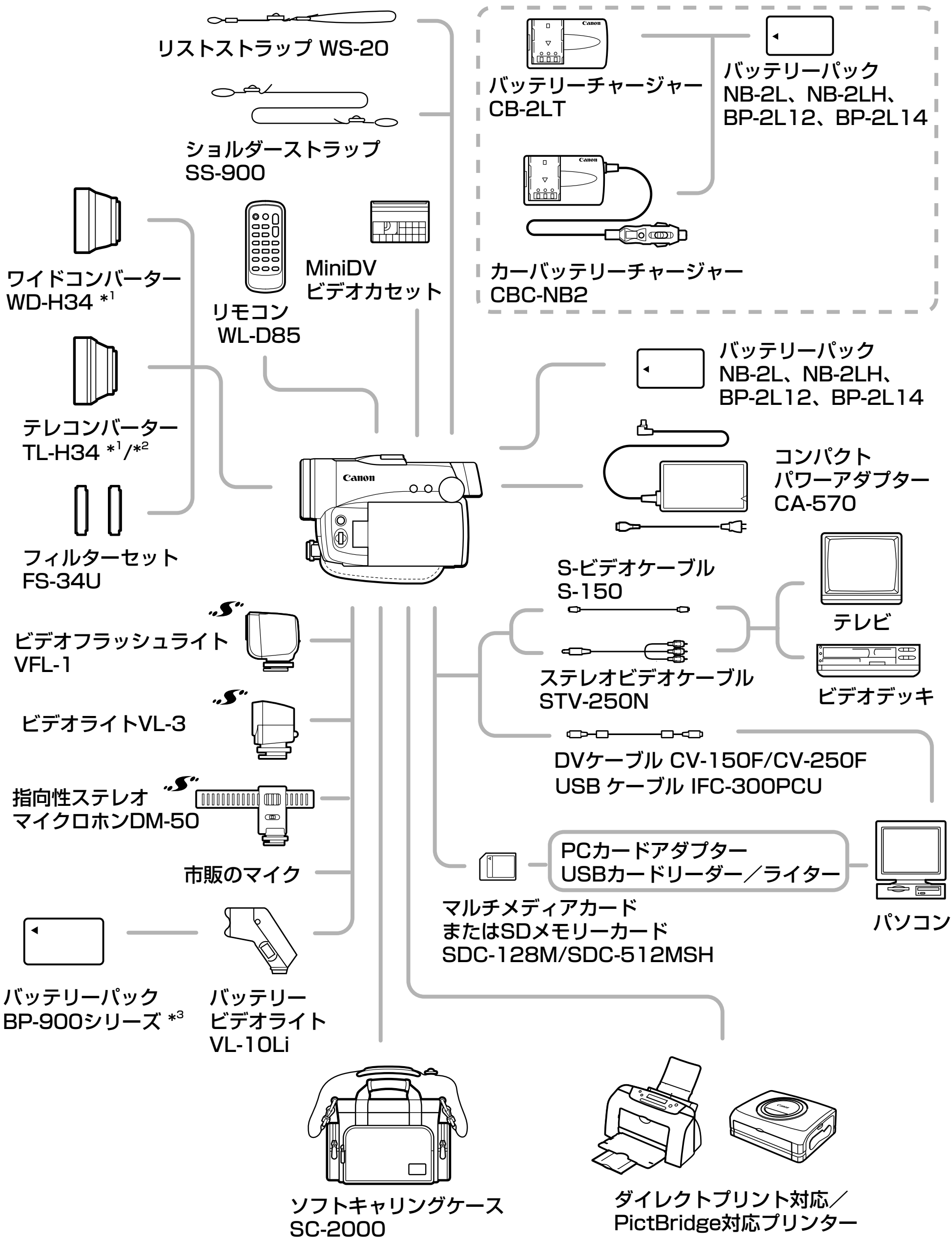
長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。



液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

キヤノンビデオシステム



*[1] 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたとき、ミニビデオライトやフラッシュを使用時に影が出ることがあります。
*[2] テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。
ズームのWの端：約2.5cm、Tの端：約2.5m
*[3] バッテリーパックBP-900シリーズを充電するときは、コンパクトパワーアダプターCA-920（別売）または、デュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910（別売）をお使いください。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので､キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

記載内容は、2005年2月現在のものです。

お知らせ

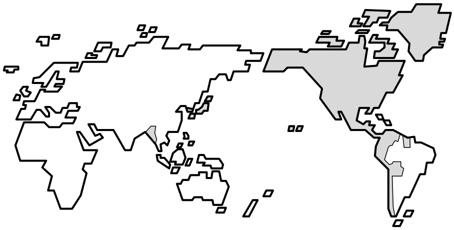
海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれます。

テレビでの再生

録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像/音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



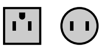
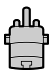
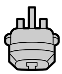
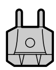
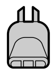
- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトルコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア
- ●ボリビア
- ●グァテマラ
- ●グリーンランド
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●セントルシア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バラバドス
- ●ミャンマー
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

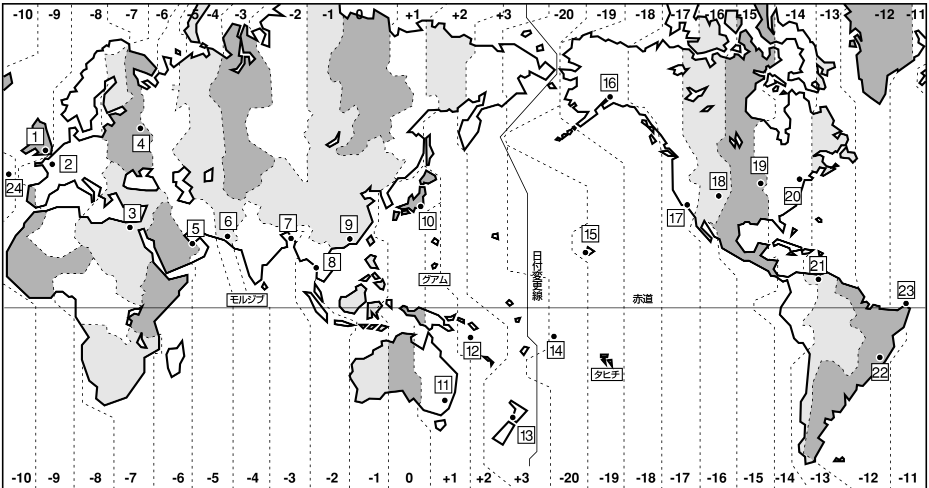
●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

世界時計の都市と代表国

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。28ページの操作4-②で、都市名を選んでください。

サマータイムを設定するときは、都市名の右に ☀ マークの付くものを選んでください。



都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア（モスクワ）
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島、バリ島
10	トウキョウ	日本標準時（JST）	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

FV M30

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch)
信号方式	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット	Mini DVのついたミニDVカセット
テープ速度	約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画/再生時間	80分（80分テープ使用時/SPモード時） 120分（80分テープ使用時/LPモード時）
早送り/巻戻し時間	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子	1/3.4型CCD、総画素数220万画素 有効画素　カード：約200万画素　テープ：約123万画素
液晶画面	2.5型TFTカラー液晶（約12.3万画素）
ファインダー	0.33型　TFTカラー液晶（約11.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.6−64.4mm　F=1.8−3.0　電動14倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 テープ：4:3撮影時：47.8−669mm 16:9撮影時：40.9−573mm カード：37.6−526mm
レンズ構成	9群11枚
フィルター径	34mm
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	1.1ルクス（ナイトモード時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	光学式
記録カード	マルチメディアカード、SDメモリーカード
カード記録画素数	静止画：1632×1224、1280×960、640×480画素（ピクセル） 動画：320×240、160×120画素（ピクセル）（15フレーム/秒）
カード記録フォーマット	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応
画像圧縮方法	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル） 動画：　画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（モノラル）

FV M30は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
FV M30は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

主な仕様一つづき

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声端子*	φ3.5mm　4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω 出力時：-10dBV (47kΩ負荷時)/3ｋΩ以下 入力時：-10dBV /40kΩ以上
S-映像端子	4ピン　DIN 輝度信号：1Vp-p/75Ω　色信号：0.286Vp-p/75Ω
USB端子	mini-B
DV端子	マルチコネクター、IEEE1394準拠
外部マイク端子	φ3.5mm ステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ以上、-37dBV（600Ωマイク使用時）/5ｋΩ以上、マイクATT使用時
ヘッドホン端子*	φ3.5mm ステレオミニジャック

* 映像/音声端子は、ヘッドホン端子と兼用です。

電源その他

電源電圧	DC7.4V
消費電力	ファインダー使用時：約3.5W（録画中、AF合焦時） 液晶画面使用時：約3.6W（録画中、AF合焦時、明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
外形寸法	70×82×133mm （幅×高さ×奥行き）（最大突起部を含まず）
撮影時総質量	約590g （バッテリーパックNB-2LH、レンズキャップ、ビデオカセット30分用、マルチメディアカードMMC-16M含む）
本体質量	約530g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　NB-2LH

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	720mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約33.3×16.2×45.2mm
質量	約43g

マルチメディアカード　MMC-16M

記憶容量	16MB
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法	約32×24×1.4mm
質量	約1.5g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

MEMO

MEMO

修理サービスご相談窓口

故障などについてご相談になるときは、下記の項目をお知らせください。

型名：FV M30

故障の状態：できるだけ詳しく

ご購入年月日：

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札　幌	〒060-8522	札幌市北区北七条西1ー1ー2　SE山京ビル1F	011(728)0665
仙　台	〒980-8560	仙台市青葉区国分町3ー6ー1　仙台パークビル1F	022(217)3210
大　宮	〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町1ー10ー17　シーノ大宮サウスウイング6F	048(649)1450
銀　座	〒104-0061	東京都中央区銀座5ー9ー9	03(3573)7834
新　宿	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2ー1ー1　三井ビル1F	03(3348)4725
横　浜	〒220-0004	横浜市西区北幸2ー6ー26　HI横浜ビル2F	045(312)0211
名古屋	〒461-8511	名古屋市東区東桜2ー2ー1　高岳パークビル1F	052(939)1830
梅　田	〒530-8260	大阪市北区梅田3ー3ー10　梅田ダイビルB1	06(4795)9100
広　島	〒730-0051	広島市中区大手町3ー7ー5　広島パークビル1F	082(240)6712
高　松	〒760-0027	高松市紺屋町4ー10　鹿島紺屋町ビル1F	087(823)4681
福　岡	〒812-0017	福岡市博多区美野島1ー2ー1　キヤノン販売福岡ビル1F	092(411)4173

東日本修理センター

〒261-8711　千葉市美浜区中瀬1ー7ー2　キヤノン販売幕張ビル1F　043(211)9032

西日本修理センター

〒540-0003　大阪市中央区森ノ宮中央2ー5ー3　06(6941)1076

● 休業のご案内

新宿、梅田（日曜日、祝祭日）

その他（土・日曜日、祝祭日）

●営業時間のご案内

銀座、新宿、梅田：10:00 ～ 18:00

その他：9:00 ～ 17:30

● 所在地、電話番号が変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください。（2005年2月1日現在）

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

（2005年2月1日現在）

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

製品名	お問い合わせ
FV M30	**キヤノン販売　お客様相談センター** **（全国共通番号）050-555-90003** 受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00 （1月1日～1月3日を除く） ※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。 ※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報	http://canon.jp/dv
キヤノン サポートページ	http://canon.jp/support
CANON iMAGE GATEWAY	http://www.imagegateway.net/

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-197
0000A/Ni0.0

DY8-9010-144-000

PRINTED IN JAPAN